No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
1	周防吉川家文書	1334002010	建武元年2月10日	尼良海(吉川経茂後家)譲状	『南北朝遺文・中西国』1-2	石見	いわミのくにながやすのへんふ(石見国永安別符)、ますたのしやう(益田庄)、こいやとミ(小弥富)、すつ(寸津)、みまさか(美磨博)、しやうくほ(庄久保)、をうち(永安兼祐)、いや二郎かねかす(三隅兼員)、きかわのまこたろう(吉川経貞)、二らう三らう(吉川経兼)
2	備後浄土寺文書	1334002023	建武元年2月23日	後醍醐天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』1-6	出雲	杵築太郎　No.406の「伯耆守長年一族杵築太郎」と同一人物カ
3	備後浄土寺文書	1334002023	建武元年2月23日	備後国国宣	『南北朝遺文・中西国』1-7	出雲	杵築太郎　No.406の「伯耆守長年一族杵築太郎」と同一人物カ
4	諸家文書纂所収三刀屋文書	1334003028	建武元年3月28日	出雲国国宣	『南北朝遺文・中西国』1-15	出雲	諏方部三郎扶重、出雲国三刀屋郷、隠岐守兼左衛門尉源朝臣(塩冶高貞)
5	出雲土屋家古記録抄所	1334004007	建武元年4月7日	塩冶高貞寄進状写	『南北朝遺文・中西国』1-21	出雲	大原郡一宮加多大明神、、塩冶隠岐守、加多神主
6	隠岐笠置文書	1334005006	建武元年5月6日	沙弥西領僧道賢連署打渡	『南北朝遺文・中西国』1-26	隠岐	隠岐国美多庄大山宮
7	諸家文書纂所収三刀屋文書	1334005013	建武元年5月13日	雑訴決断所牒写	『南北朝遺文・中西国』1-29	出雲	出雲国、三刀屋郷、牛蔵寺、諏方部三郎祐重(扶重カ)
8	出雲千家文書	1334005018	建武元年5月18日	雑訴決断所牒	『南北朝遺文・中西国』1-30	出雲	出雲国、杵築大社
9	出雲朝山系図勘記	1334005027	建武元年5月27日	足利尊氏御教書写	『南北朝遺文・中西国』1-33	出雲	朝山出雲権守(景連)
10	高野山文書又続宝簡集112	1334006024	建武元年6月24日	高野山西塔文書請取状	『南北朝遺文・中西国』1-38	出雲-石見-隠岐	山陰道
11	出雲大社文書	1334007005	建武元年7月5日	後醍醐天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』1-41	出雲	杵築大社国造(出雲孝時)
12	出雲千家文書	1334008010	建武元年8月10日	出雲孝時国造職等譲状	『南北朝遺文・中西国』1-60	出雲	きつき大社(杵築大社)、やすのり(出雲泰孝)、きよのり(出雲清孝)、国造兼大社出雲孝時
13	山城善法寺旧蔵八幡古文書	1334008021	建武元年8月21日	後醍醐天皇綸旨案	『南北朝遺文・中西国』1-62	出雲	出雲国横田庄
14	長門小早川家証文	1334009027	建武元年9月27日	足利尊氏行幸供奉随兵次第写	『南北朝遺文・中西国』1-67	出雲-石見-隠岐	佐々木源三左衛門尉秀綱、佐々木備中前司時綱、佐々木近江前司貞継、隠岐守兼行、富士名判官雅清、吉見三河守頼隆
15	近江朽木文書	1334009027	建武元年9月27日	賀茂社行幸供奉足利尊氏随兵交名	『南北朝遺文・中西国』1-68	出雲-石見-隠岐	佐々木備中前司時綱、佐々木源三左衛門尉秀綱、隠岐守兼行、富士名判官雅清、吉見〔三河守頼隆〕
16	出雲簸川郡三木家旧記	1334010002	建武元年10月2日	後醍醐天皇綸旨写	『南北朝遺文・中西国』1-70	出雲	雲州、佐々木四郎左衛門
17	早稲田大学所蔵出雲佐草文書	1334012008	建武元年12月8日	出雲国国宣	『南北朝遺文・中西国』1-82	出雲	佐草孫六孝信、出雲国猪尾谷村東方、隠岐守源朝臣(塩冶高貞)
18	石見内田文書	1335001019	建武2年1月19日	高津道性手負実検状	『南北朝遺文・中西国』1-101	石見	内田又三郎致義、石見国俣賀村、道性(高津道性)
19	出雲日御崎神社文書	1335001019	建武2年1月19日	足利尊氏御教書	『南北朝遺文・中西国』1-103	出雲	出雲国日御崎政高
20	長門益田家文書4	1335002012	建武2年2月12日	後醍醐天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』1-116	石見	石見国、益田郷、小石見郷、津毛別府、疋見別府
21	出雲鰐淵寺文書	1335003018	建武2年3月18日	後醍醐天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』1-128	出雲	出雲国宇賀庄、鰐淵寺根本薬師堂
22	出雲迎接寺文書	1335005003	建武2年5月3日	沙弥長禅寄進状	『南北朝遺文・中西国』1-137	出雲	(出雲)長禅寺、地頭沙弥長禅
23	出雲千家文書	1335005015	建武2年5月15日	名和義高寄進状写	『南北朝遺文・中西国』1-139	出雲	杵築大社、(名和)左衛門少尉義高
24	出雲大社文書	1335005026	建武2年5月26日	後醍醐天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』1-142	出雲	杵築大社
25	前田家所蔵文書古蹟文徴2	1335005026	建武2年5月26日	吉見頼隆下文	『南北朝遺文・中西国』1-144	石見	石見国吉賀郡志目河村、沙弥宗寂、源頼隆(吉見頼隆)
26	出雲岩屋寺文書	1335006099	建武2年6月日	石清水八幡宮岩屋寺料田寄進状	『南北朝遺文・中西国』1-151	出雲	出雲国横田庄、(横田庄)尾園村、岩屋寺

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
27	長門益田家文書	1335007017	建武2年7月17日	益田兼世文書紛失証状	『南北朝遺文・中西国』1-155	石見	石見国益田庄、宇地村、（益田）兼世、大内豊前権守長
28	出雲忌部総社大宮神宮寺秘事記抄	1335009025	建武2年9月25日	名和長年軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』1-165	出雲	曹泉院、大宮神主日置、菅一族
29	出雲土屋家古記録抄	1335009025	建武2年9月25日	名和長年軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』1-166	出雲	土屋式部、中沢一族
30	諸家文書纂所収三刀屋文書	1335010002	建武2年10月2日	足利直義軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』1-170	出雲	諏訪部三郎（三刀屋扶重）
31	出雲雲樹寺旧記	1335010005	建武2年10月5日	後醍醐天皇徽号勅書写	『南北朝遺文・中西国』1-172	出雲	（出雲雲樹寺）
32	出雲佐草文書	1335010009	建武2年10月9日	塩冶高貞安堵状	『南北朝遺文・中西国』1-173	出雲	出雲国大西庄、猪尾谷村東方、隠岐守兼左衛門尉源朝臣（塩冶高貞）、覚法（飯沼親泰）、星野村
33	出雲北島文書	1335011002	建武2年11月2日	出雲孝時譲状	『南北朝遺文・中西国』1-182	出雲	きつき大しや（杵築大社）、いつものこくそう（出雲国造）、いつものあかこまろ（出雲阿加子丸…貞孝カ）、三らうきよのり（清孝）、ほにかくにち（母覚日）、こくそうかんぬしのりとき、貞孝、孝宗
34	出雲朝山系図勘記	1335011002	建武2年11月2日	足利直義軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』1-183	出雲	朝山出雲権守（景連）
35	諸家文書纂所収三刀屋文書	1335011002	建武2年11月2日	足利直義軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』1-184	出雲	諏訪部三郎（三刀屋扶重）
36	出雲北島文書	1335011015	建武2年11月15日	出雲孝時置文	『南北朝遺文・中西国』1-188	出雲	いつものくにきつきたいしや（出雲国杵築大社）、やすのり（出雲泰孝）、のりとき（出雲孝時）
37	長門都野家文書	1335011029	建武2年11月29日	後醍醐天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』1-196	石見	都野又五郎信保
38	出雲北島文書	1335012003	建武2年12月3日	尼覚日譲状	『南北朝遺文・中西国』1-198	出雲	いつものくにきつきのやしろ（出雲国杵築社）、せきや（関屋）、やのゝむら（矢野村）、さきのうら（鷺浦）、おほみなと（大湊）いつもののりかげ（出雲孝景）、こくさうのりとき（国造出雲孝時）、あまかくにち（尼覚日）
39	出雲鰐淵寺文書	1336001015	建武3年1月15日	後醍醐天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』1-223	出雲	出雲国三所郷、鰐淵寺南院
40	石見久利文書	1336001019	建武3年1月19日	赤波妙行代友房軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-224	石見	石見国久利郷、赤波三郎入道妙行、子息三郎二郎友房（赤波友房）、小笠原孫五郎入道、高津与次
41	出雲日御崎神社文書	1336001099	建武3年1月日	三崎政高軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-233	出雲	出雲国大野庄、加治屋村、三崎三郎次郎日置政高
42	周防吉川家文書	1336001099	建武3年1月日	吉川経明軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-234	石見	吉川二郎三郎経明、高津郷、「小山構城郭」、高津与次長幸、益田弥二郎
43	周防吉川家文書	1336001099	建武3年1月日	吉川経明軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-235	石見	吉川二郎三郎経明、高津郷、「小山構城郭」、高津与次長幸
44	石見久利文書	1336002008	建武3年2月8日	久利赤波三郎入道代朝房軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-241	石見	石見国久里（利）郷、赤波三郎入道妙行、子息三郎次郎朝房（赤波朝房）
45	出雲国鰐淵寺文書	1336002009	建武3年2月9日	名和長年軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』1-243	出雲	出雲国、鰐淵寺南院
46	出雲朝山系図勘記	1336002019	建武3年2月19日	足利尊氏書下写	『南北朝遺文・中西国』1-254	出雲	朝山次郎左衛門尉（景連）
47	古証文	1336002099	建武3年2月日	宇佐輔景軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-264	出雲	出雲国三刀屋太田庄藤巻村、左兵衛尉宇佐輔景
48	萩藩閥閲録121-1	1336002099	建武3年2月日	御神本兼宗軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-265	石見	石見国周布郷、御神本彦次郎藤原兼宗、若党川井十郎家保
49	出雲大社諸社家所蔵古文書	1336003003	建武3年3月3日	塩冶高貞寄進状	『南北朝遺文・中西国』1-270	出雲	塩冶郷八幡宮、神東、左衛門少尉口高貞
50	出雲日御崎神社文書	1336003005	建武3年3月5日	足利尊氏感状	『南北朝遺文・中西国』1-274	出雲	出雲国大野庄、国守名、三崎三郎次郎政高
51	出雲日御崎神社文書	1336003025	建武3年3月25日	足利尊氏下文	『南北朝遺文・中西国』1-299	出雲	日置政高、出雲国大野庄内普河村、国守名

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
52	出雲大社諸社家所蔵古文書	1336004001	建武3年4月1日	塩冶高貞寄進状	『南北朝遺文・中西国』1-308	出雲	出雲国稲頼庄、三分方、右衛門少尉高口(塩冶高貞。正しくは右衛門ではなく左衛門カ。)
53	出雲佐草文書	1336004021	建武3年4月21日	塩冶高貞安堵状	『南北朝遺文・中西国』1-328	出雲	猪尾谷村東方、源千代女、源氏女息女千代、(塩冶)高
54	萩藩閥閲録121-1周布吉兵衛	1336004023	延元元年4月23日	御神本兼宗軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-331	石見	石見国周布郷、御神本彦次郎藤原兼宗
55	出雲朝山系図勘記	1336005004	建武3年5月4日	足利尊氏軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』1-344	出雲	朝山次郎左衛門尉
56	石見内田文書	1336005008	建武3年5月8日	内田熊若丸代致氏着到状	『南北朝遺文・中西国』1-352	石見	石見国俣賀村、内田熊若丸、藤原致氏
57	出雲高田寺根元録	1336005010	建武3年5月10日	頼源寄進状写	『南北朝遺文・中西国』1-356	出雲	三所郷、頼源、高田、郡村、高柴、大領権現、湯野、高田寺
58	石見久利文書	1336005012	建武3年5月12日	久利赤波妙行代公房軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-357	石見	石見国久利郷内赤波村、三郎入道妙行(赤波妙行)、三郎次郎公房(赤波公房。№224、241の三郎次郎友(朝)房と同一人物カ)、上黒谷城郭、吉見七郎、小笠原次郎五郎、清原公房、(上野頼兼花押)
59	石見内田文書	1336005013	建武3年5月13日	足利尊氏軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』1-358	石見	俣賀熊若
60	鈴鹿太郎氏所蔵朝山文	1336005014	建武3年5月14日	足利直義御判御教書	『南北朝遺文・中西国』1-359	出雲	朝山二郎左衛門尉(景連)
61	萩藩閥閲録121-1	1336005016	(延元元年カ)5月16日	新田義宗書状写	『南北朝遺文・中西国』1-361	石見	周布、大谷宮内少輔
62	長門武久文書	1336005018	建武3年5月18日	永富季有軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-362	石見	石見国黒谷城、小笠原二郎五郎、(上野頼兼花押)
63	周防吉川家文書	1336005099	建武3年5月日	吉川恒明軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-369	石見	吉河二郎三郎経明(吉川恒明)、石州黒谷城、(上野頼兼花押)
64	出雲北島文書	1336006002	(建武3カ)6月2日	尼覚日書状	『南北朝遺文・中西国』1-370	出雲	(杵築大社)かんぬし、こくさうしき(国造職)、孝時(出雲孝時)、六ろ(ら)う、たいしやの御もんそ(大社の御文書カ)、たまつくり(玉造)のそうめうせうの御房、ゑんや(塩冶高貞)
65	出雲北島文書	1336006005	建武3年6月5日	塩冶高貞書下	『南北朝遺文・中西国』1-371	出雲	杵築大社、孝時(出雲孝時)、祖母覚日、国造(出雲清孝)、左衛門少尉(塩冶高貞)
66	諸家文書纂所収三刀屋文書	1336006021	建武3年6月21日	諏方部三郎入道信恵軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-379	出雲	出雲国三刀屋郷、諏方部三郎入道信恵(扶重)
67	早稲田大学所蔵出雲佐草文書	1336006025	建武3年6月25日	塩冶高貞安堵状	『南北朝遺文・中西国』1-380	出雲	出雲国猪尾谷東方、隠岐守兼左衛門尉源朝臣(塩冶高貞)
68	出雲朝山系図勘記	1336006099	建武3年6月日	朝山景連軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-392	出雲	朝山出雲次郎左衛門尉景連
69	出雲朝山系図勘記	1336006099	建武3年6月日	朝山景連軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-393	出雲	朝山出雲次郎左衛門尉景連
70	長門平賀家文書	1336007006	建武3年7月6日	平賀共兼軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-406	出雲	伯耆守長年一族杵築太郎　№3、4と同一人物カ
71	長門益田家文書	1336007022	建武3年7月22日	足利尊氏感状	『南北朝遺文・中西国』1-422	石見	福光三郎太郎兼継
72	出雲北島文書	1336007023	建武3年7月23日	塩冶高貞書下	『南北朝遺文・中西国』1-423	出雲	杵築大社、国造清孝(出雲清孝)、左衛門少尉(塩冶高貞)、日野掃部左衛門入道、富田弥六入道
73	萩藩閥閲録121-4	1336007026	建武3年7月26日	藤原兼茂軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-426	石見	石見国周布郷、内村、藤原兼茂、三隅二郎入道信性、河内城、益田二郎太郎兼行、舎弟三郎(益田三郎)、乙吉十郎、益田城、大森代大進房、大将三隅太郎兼知
74	萩藩閥閲録121-1	1336007029	延元元年7月29日	小早川頼重請文写	『南北朝遺文・中西国』1-427	石見	石見国周布彦次郎入道蓮心
75	出雲千家文書	1336007099	建武3年7月日	出雲国造舎弟貞教軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-428	出雲	出雲国造(出雲孝時)、舎弟六郎貞教〔孝〕、若党髙木又次郎、(塩冶高貞花押)
76	諸家文書纂所収三刀屋文書	1336007099	建武3年7月日	諏方部信恵軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-429	出雲	出雲国三刀屋郷、諏方部三郎入道信恵(扶重)、若党原四郎五郎光忠

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
77	萩藩閥閲録121-1	1336007099	延元元年7月日	周布入道蓮心軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-430	石見	石見国周布郷惣領地頭(周布)彦次郎入道蓮心、若党荒木刑部太郎宗澄
78	長門武久文書	1336007099	建武3年7月日	永富季道代同季有軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-431	石見	小笠原蔵人三郎長光 (石見小笠原氏カ)
79	周防吉川家文書	1336007099	建武3年7月日	吉川経明軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-432	石見	吉河二郎三郎恒明(吉川経明)
80	国史考所収	1336007099	建武3年7月日	御神本兼継軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-434	石見	石見国福光上村、御神本三郎太郎藤原兼継、小笠原野三郎、小笠原孫五郎
81	備中信原文書	1336008002	建武3年8月2日	足利直義(カ)書下	『南北朝遺文・中西国』1-438	出雲	雲州仁田(多)郡真木村、信原四郎宗貞
82	出雲鰐淵文書	1336008009	建武3年8月9日	足利尊氏御教書	『南北朝遺文・中西国』1-441	出雲	(出雲鰐淵寺)如意輪寺
83	周防吉川家文書	1336008023	建武3年8月23日	吉川一族等着到状	『南北朝遺文・中西国』1-452	石見	吉河(吉川)吉次郎経明
84	山城九条家文書	1336008024	建武3年8月24日	九条道教家領目録案	『南北朝遺文・中西国』1-453	出雲	出雲国林木庄、美談庄
85	山城九条家文書	1336008024	建武3年8月24日	九条道教家領目録案	『南北朝遺文・中西国』1-454	出雲	出雲国林木庄、美談庄
86	長門武久文書	1336009016	建武3年9月16日	長門守護厚東武実施行状	『南北朝遺文・中西国』1-483	石見	石州凶徒、上野典厩、石州
87	萩藩閥閲録121-1	1336009027	建武3年9月27日	周布蓮心申状写	『南北朝遺文・中西国』1-494	石見	石見国周布郷惣領地頭(周布)彦次郎入道蓮心、家子大弐法橋頼丹、若党荒木刑部太郎宗澄
88	石見久利文書	1336009099	建武3年9月日	久利赤浪妙行代子息朝房軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-500	石見	石見国久利郷、赤浪三郎入道妙行、子息三郎次郎朝房、河上郷地頭孫三郎入道(河上孫三郎)、三隅郷地頭二郎入道(三隅二郎入道)、稲用郷金剛山、太田北郷地頭土屋六郎、河合郷地頭金子孫五郎入道、波禰
89	諸家文書纂所収三刀屋文書	1336009099	建武3年9月日	諏方部信恵扶重軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-503	出雲	諏方部三郎入道信恵(三刀屋扶重)、家人来次彦太郎胤光、多胡弥太郎、片山三郎次郎
90	出雲朝山系図勘記	1336010004	建武3年10月4日	足利尊氏院宣施行状写	『南北朝遺文・中西国』1-507	出雲	朝山次郎左衛門尉 当時は備後守護(内容も備後国関
91	朝山文書〔京都大学影写本〕	1336010004	建武3年10月4日	足利直義御教書	『南北朝遺文・中西国』1-508	出雲	朝山次郎左衛門尉 当時は備後守護(内容も備後国関係)
92	出雲国鰐淵寺文書	1336010005	延元元年10月5日	後醍醐天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』1-509	出雲	出雲国漆治郷、寛芸大法師
93	出雲国鰐淵寺文書	1336010008	建武3年10月8日	足利尊氏御教書	『南北朝遺文・中西国』1-512	出雲	鰐淵寺別当
94	永田秘録所収石見内田家文書	1336010099	建武3年10月日	固阿軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-529	石見	固阿(ママ)(石見内田家文書)
95	山城本国寺文書	1336011026	建武3年11月26日	足利尊氏寄進状	『南北朝遺文・中西国』1-541	石見	石見国永久郷、小石見郷、津毛郷、疋見別府、福屋郷、久利郷、用田郷、太田南方、上出羽郷、下出羽郷
96	永田秘録所収石見内田家文書	1336011099	建武3年11月日	内田某軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-544	石見	(石見内田)
97	萩藩閥閲録121-1	1336012023	建武3年12月23日	足利尊氏軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』1-555	石見	石州、上野左馬(頼兼)、御神本彦次郎入道(周布兼
98	石見内田文書	1337001011	建武4年1月11日	上野頼兼預ヶ状	『南北朝遺文・中西国』1-565	石見	俣賀三郎致義、俣賀熊若丸、左馬助(上野頼兼)
99	出雲朝山系図勘記	1337002005	建武4年2月5日	足利尊氏軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』1-570	出雲	朝山次郎右〔左〕衛門尉
100	萩藩閥閲録遺漏5-1	1337002018	建武4年2月18日	重忠宛行状写	『南北朝遺文・中西国』1-576	石見	(石見美濃郡)とねみやう、よしかこけ(吉賀後家)
101	豊後朝山文書	1337002025	建武4年2月25日	足利直義軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』1-581	出雲	朝山次郎左衛門尉(景連)
102	長門山内首藤家文書	1337003099	建武4年3月日	山内通継子息土用鶴丸通知代官時吉本領安堵申状	『南北朝遺文・中西国』1-595	出雲	朝山次郎左衛門尉(景連)
103	周防吉川家文書	1337004005	建武4年4月5日	上野頼兼軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』1-597	石見	三隅、太郎助(上野頼兼)、辰熊丸(吉川実経)代小林左衛門三郎
104	萩藩閥閲録121-1	1337004019	延元2年4月19日	周布蓮心置文写	『南北朝遺文・中西国』1-601	石見	周布郷、(周布)沙弥蓮心、悦喜殿
105	出雲秋上文書	1337004027	建武4年4月27日	足利直義書下	『南北朝遺文・中西国』1-603	出雲	神主所(意宇郡神魂神社)
106	出雲安国寺文書	1337004027	建武4年4月27日	足利直義書下	『南北朝遺文・中西国』1-604	出雲	園通寺
107	周防吉川家文書	1337004030	建武4年4月30日	足利直義軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』1-605	石見	石州、守護(上野頼兼)、吉河五郎次郎(吉川経盛)

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
108	山口県文書館蔵(吉見)家譜別録一所収	1337005007	建武4年5月7日	足利尊氏軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』1-610	石見	石州、吉見七郎
109	萩藩閥閲録121-4	1337005024	建武4年5月24日	三隅兼雄請文写	『南北朝遺文・中西国』1-612	石見	石見国周布郷一分地頭(内)孫六兼茂、家子内田彦太郎兼家、石見守(三隅兼雄)
110	長門益田家文書82	1337005025	建武4年5月25日	足利尊氏感状	『南北朝遺文・中西国』1-613	石見	(益田)
111	長門益田家文書82	1337005099	建武4年5月日	虫追政国軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-614	石見	石見国長野庄、虫追四郎左衛門尉政国、三隅太郎、高津与次、波多野彦六郎
112	出雲土屋家古記録抄	1337006002	建武4年6月2日	山名時氏寄進状写	『南北朝遺文・中西国』1-616	出雲	(大原郡)一宮、出雲国大東庄清田
113	出雲朝山系図勘記	1337006020	建武4年6月20日	足利尊氏院宣施行状写	『南北朝遺文・中西国』1-625	出雲	朝山次郎左衛門尉(景連)
114	石見庵原家文書	1337007025	建武4年7月25日	小笠原貞宗代桑原家兼軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-638	石見	石見国河本郷、小笠原信濃守貞宗〔宗〕、桑原九郎次郎家兼、河上孫三郎入道、浜手(江川の河原カ。『日本歴史地名体系』による)、小笠原又太郎長氏、(上野頼兼花押)
115	永田秘録所収石見内田家文書	1337007099	建武4年7月日	内田致景軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-642	石見	内田下郷孫八郎致景
116	長門三浦家文書	1337008027	建武4年8月27日	平子親重軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-651	石見	石州黒谷城、(上野頼兼花押)
117	山城仁和寺文書	1337008028	建武4年8月28日	光厳上皇院宣	『南北朝遺文・中西国』1-653	出雲	出雲国広田庄
118	出雲大社諸社家所蔵古文書	1337009009	建武4年9月9日	塩冶高貞寄進状	『南北朝遺文・中西国』1-655	出雲	出雲国塩冶郷内桑日八幡宮、栃島村、左衛門少尉兼隠岐守源朝臣(塩冶高貞)
119	石見内田文書	1337009025	建武4年9月25日	上野頼兼軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』1-659	石見	高津城、左馬助(上野頼兼)、内田掃部左衛門尉(致義)
120	石見内田文書	1337009099	建武4年9月日	内田致義軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-660	石見	石見国俣賀村、内田掃部左衛門尉致義、高津与次長幸、長野庄上黒谷城、(上野頼兼花押)
121	出雲朝山系図勘記	1337010019	建武4年10月19日	足利尊氏下文写	『南北朝遺文・中西国』1-668	出雲	朝山次郎左衛門尉景連、出雲国東長田郷、野中将監
122	萩藩閥閲録121-4	1337010019	建武4年10月19日	足利尊氏下文写	『南北朝遺文・中西国』1-670	石見	石見国白上、金子五郎左衛門尉(清忠)
123	萩藩閥閲録66	1337010023	建武4年10月23日	伊藤義明軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-671	出雲	出雲国小堺(小境)郷、伊藤次郎義明、佐々木隠岐太夫判官(塩冶高貞)、佐々部(佐々布)新左衛門尉、湯
124	出雲朝山系図勘記	1337010028	建武4年10月28日	足利尊氏軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』1-672	出雲	朝山次郎左衛門尉(景連)
125	山城石清水八幡宮文書	1337012012	建武4年12月12日	足利尊氏寄進状	『南北朝遺文・中西国』1-690	出雲	出雲国須佐郷
126	諸家文書纂所収三刀屋文書	1338001099	建武5年1月日	諏方部時蓮代同時行軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-715	出雲	出雲国三刀屋郷萱原村、諏方部孫太郎入道時蓮、(諏方部)子息九郎時行、上郷、当津(安来津を指すカ)
127	永田秘録所収石見内田家文書	1338001099	建武5年1月日	内田致景軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-716	石見	内田孫八郎致景、内田六郎入道西妙
128	長門山内首藤家文書	1338002005	建武5年2月5日	高師直施行状案	『南北朝遺文・中西国』1-720	出雲	朝山出雲次郎左衛門尉(景連)　当時朝山氏は備後国守護
129	出雲朝山系図勘記	1338002017	建武5年2月17日	足利尊氏御教書写	『南北朝遺文・中西国』1-727	出雲	朝山次郎左衛門尉(景連)　当時朝山氏は備後国守護
130	諸家文書纂所収三刀屋文書	1338003003	建武5年3月3日	諏方部信恵軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-736	出雲	諏方部三郎入道信恵(三刀屋扶重)
131	朝山文書〔京都大学影写本〕	1338003020	建武5年3月20日	足利直義感状	『南北朝遺文・中西国』1-739	出雲	朝山次郎左衛門尉(景連)　当時朝山氏は備後国守護
132	長門毛利家文書	1338003025	建武5年3月25日	三戸頼覚軍忠状案	『南北朝遺文・中西国』1-740	石見	石州、福屋弥太郎左衛門尉、桜井庄領家増賀法眼
133	周防吉川家文書	1338003027	建武5年3月27日	周防親重軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-743	石見	石見国福屋城、桜井
134	周防吉川家文書	1338003029	建武5年3月29日	吉川辰熊丸実経代官須藤景成軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-744	石見	石州
135	周防国司文書	1338004008	(建武5年)4月8日	足利尊氏軍勢催促状※	『南北朝遺文・中西国』1-748	石見	石州

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
136	出雲晋叟寺文書	1338007018	建武5年7月18日	塩冶高貞吹挙状	『南北朝遺文・中西国』1-768	出雲	出雲国鰐淵寺北院、左衛門尉(塩冶)高貞
137	諸家文書纂所収三刀屋文書	1338007018	建武5年7月18日	諏方部信恵軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』1-769	出雲	諏方部三郎入道信恵(三刀屋扶重)
138	南山巡狩録所収	1338007915	建武5年閏7月15日	柳田左衛門尉書下写	『南北朝遺文・中西国』1-779	出雲	出雲国大原郡内香折新宮、十郎三郎為家、由木六郎、出雲国守護代
139	石清水八幡宮記録当宮縁事抄所収	1338008027	建武5年8月27日	足利直義裁許状写	『南北朝遺文・中西国』1-787	出雲	出雲国安田庄雑掌行宗、当庄北方地頭江戸孫次郎清重、同(江戸)小三郎重長、嚢祖(江戸)重茂、南方、北
140	隠岐笠置文書	1338008099	暦応元年8月日	沙弥某補任状	『南北朝遺文・中西国』1-790	隠岐	美多庄一分方、能賢
141	萩藩閥閲録121-4	1338010007	建武5年10月7日	上野頼兼施行状写	『南北朝遺文・中西国』1-803	石見	石見国白上郷、金子五郎左衛門尉清忠、新村、左馬助(上野頼兼)、松田五郎左衛門(宗重)
142	萩藩閥閲録121-4	1338010026	建武5年10月26日	松田宗重打渡状写	『南北朝遺文・中西国』1-807	石見	石見国白上本新、金子五郎左衛門尉清忠、(松田)左衛門尉宗重
143	出雲迎接寺文書	1338011027	暦応元年11月27日	沙弥長禅置文	『南北朝遺文・中西国』1-816	出雲	長禅寺
144	諸家文書纂所収三刀屋文書	1338012004	暦応元年12月4日	高師泰施行状写	『南北朝遺文・中西国』1-819	出雲	諏方部三郎入道信恵(三刀屋扶重)、出雲国三刀屋郷、大雲寺雑掌、諏方部五郎左衛門尉跡、目黒太郎左衛門尉、多禰兵庫允(清頼)
145	長門益田家文書82	1338012006	暦応元年12月6日	上野頼兼書下	『南北朝遺文・中西国』1-820	石見	(石見益田)、馬場孫次郎、左馬助(上野頼兼)
146	石見内田文書	1339002018	暦応2年2月18日	上野頼兼感状	『南北朝遺文・中西国』1-840	石見	高津城、左馬助(上野頼兼)、俣賀掃部左衛門尉
147	出雲千家文書	1339002027	暦応2年2月27日	塩冶高貞書状	『南北朝遺文・中西国』1-841	出雲	杵築大社、御親父(出雲)孝時、(出雲)清孝、(塩冶)高貞、杵築弘乗御房
148	出雲熊野神社文書	1339003015	暦応2年3月15日	某寄進状写	『南北朝遺文・中西国』1-848	出雲	出雲国一宮(熊野社)、意宇郡、熊野庄　本史料は検討を要する
149	石見岡本文書	1339003029	延元4年3月29日	さいとう間人名預り状	『南北朝遺文・中西国』1-851	石見	まうとミやう(石見那賀郡)、せい三殿、さいたう
150	山城高山城蔵東寺文書	1339005002	(暦応2年)5月2日	二条良忠御教書	『南北朝遺文・中西国』1-889	出雲	出雲国井尻保　年未詳だが№887文書(暦応2年)と関係すると思われるので、同年に掲げる。
151	東寺百合文書ヱ函52	1339005099	暦応2年5月日	二条殿僧正坊道承雑掌幸承申状	『南北朝遺文・中西国』1-863	出雲	雲州井尻保
152	長門毛利家文書	1339006028	暦応2年6月28日	足利尊氏下文	『南北朝遺文・中西国』1-871	出雲	出雲国来次庄、長井出羽守貞頼
153	山城二尊院文書	1339006028	暦応2年6月28日	足利尊氏寄進状	『南北朝遺文・中西国』1-872	出雲	出雲国淀新庄、太田小四郎入道
154	山城二尊院文書	1339007010	暦応2年7月10日	高師直施行状案	『南北朝遺文・中西国』1-875	出雲	出雲国新淀庄、太田小四郎入道、佐々木隠岐太夫判官(塩冶高貞)
155	山城二尊院文書	1339007020	暦応2年7月20日	塩冶高貞遵行状	『南北朝遺文・中西国』1-877	出雲	淀新庄、太田小四郎入道、左衛門少尉(塩冶高貞)、出雲国守護代
156	石見庵原文書	1339008020	暦応2年8月20日	小笠原貞宗代武田弥三郎入道軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-881	石見	石見国河本郷、小笠原信濃守(貞宗)、武田弥三郎入道、市山城、福屋孫太郎、高津余二(長幸)、津野(都野)神主、長瀬八郎、小笠原又太郎(長氏)、木村山、土屋彦太郎
157	東寺百合文書み函20	1339008030	暦応2年8月30日	東寺供僧評定事書案	『南北朝遺文・中西国』1-884	出雲	出雲国井尻保、二条僧正房当知行、彼庄(井尻保)三分一地頭鶴見刑部左衛
158	東寺百合文書ほ函25	1339009005	暦応2年9月5日	宝光院了賢意見状	『南北朝遺文・中西国』1-887	出雲	井尻保
159	石見内田文書	1339009014	暦応2年9月14日	上野頼兼軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』1-893	石見	黒谷城、左馬助(上野頼兼)、俣賀掃部左衛門尉
160	諸家文書纂所収三刀屋文書	1339010020	暦応2年1月20日	兵庫助清頼請文写	『南北朝遺文・中西国』1-835	出雲	諏方部三郎入道信恵、出雲国三刀屋郷、目黒太郎左衛門尉、(多禰)兵庫允清頼

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
161	周防吉川家文書	1339010099	暦応2年10月日	吉川経明軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-903	石見	吉河(吉川)次郎三郎経明、石見国豊田城、内田工藤三郎、上野四郎、(上野頼兼花押)
162	出雲千家文書	1339012018	暦応2年12月18日	国造出雲清孝書状	『南北朝遺文・中西国』1-913	出雲	塩冶殿(高貞)、(出雲)五郎孝宗、国造清孝、山城殿
163	讃岐三木家大野文書	1339012021	暦応2年12月21日	足利尊氏下文	『南北朝遺文・中西国』1-914	出雲	大野次郎左衛門尉光成
164	東寺百合文書レ函359	1339099099	(暦応2年カ)月日	二条殿僧正坊代権少僧都承賢申状	『南北朝遺文・中西国』1-864	出雲	出雲国井尻保　年未詳だがNo.863文書(暦応2年)と関係すると思われるので、同年に掲げる。
165	東寺百合文書と函138	1339099099	(暦応2年)月日	二条僧正坊道承代承賢申條々事書案	『南北朝遺文・中西国』1-888	出雲	出雲国井尻保　年未詳だがNo.887文書(暦応2年)と関係すると思われるので、同年に掲げる。
166	山城石清水八幡宮蔵石清水臨時祭記所収	1340002023	暦応3年2月23日	二條資兼奉書写	『南北朝遺文・中西国』1-942	出雲	出雲
167	出雲千家文書	1340004020	暦応3年4月20日	出雲清孝書状	『南北朝遺文・中西国』1-957	出雲	稲岡郷、千家五郎、(出雲)清孝
168	根津嘉一郎氏所蔵文書	1340006011	暦応3年6月11日	上野頼兼挙状	『南北朝遺文・中西国』1-971		(上野)右馬助頼兼
169	伯耆名和文書	1340006021	興国元年6月21日	後村上天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』1-974	出雲	出雲国利弘保、村上兵庫允(顕長カ)
170	出雲鰐淵寺文書	1340006025	興国元年6月25日	後村上天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』1-975	出雲	出雲国比知新宮、(鰐淵寺)、得勝寺播磨房歓全
171	出雲内神社文書	1340006025	興国元年6月25日	後村上天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』1-976	出雲	出雲国淀本庄、菅孫三郎義綱
172	長門熊谷家文書	1340007010	暦応3年7月10日	足利直義御教書	『南北朝遺文・中西国』1-977	石見	石見安芸両国使節
173	長門熊谷家文書	1340008002	暦応3年8月2日	幕府奉行連署過所	『南北朝遺文・中西国』1-982	石見	石見
174	出雲鰐淵寺文書	1340008023	興国元年8月23日	後村上天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』1-993	出雲	出雲国三所郷、鰐淵寺根本南院
175	萩藩閥閲録65	1340008025	暦応3年8月25日	三井資基軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-994	石見	石州円嶽、豊田郷、(豊田城)、工藤三郎、日野宰相、新田左馬助、吉見八郎、高津与次、都野神社、周怖(布)、福屋、三隅入道、高津城
176	長門益田家文書	1340008027	暦応3年8月27日	益田兼見軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-995	石見	石見国御神本益田孫次郎藤原兼見、豊□〔田カ〕藤三郎致□〔員カ〕、日野左兵衛佐国〔邦〕光、高津与次長幸、高津城、松田左近将監、丸竹山、(上野頼兼花押)
177	長門三浦家文書	1340010099	暦応3年10月日	平子親重軍忠状	『南北朝遺文・中西国』1-1021	石見	石州豊田城、日野左兵衛佐、高津与次、豊田公藤三郎、豊田原、小山
178	長門益田家文書5	1340011002	暦応3年11月2日	僧覚乗裁許状	『南北朝遺文・中西国』1-1022	石見	石見国益田庄内納田郷、覚乗
179	吉見家譜所収	1340011024	暦応3年11月24日	足利尊氏安堵状写	『南北朝遺文・中西国』1-1024	出雲ー石見	出雲国安井(阿井)郷、来海庄、大田庄、石見国吉賀郡、吉見右兵衛権佐
180	長門三浦家文書	1340012012	暦応3年12月12日	鷲頭弘員注進状	『南北朝遺文・中西国』1-1031	石見	石州、左馬助(上野頼兼)、円瀧、豊田公藤三郎、日野左兵衛佐、新田左馬助、高津与次、豊田原、隅河(澄川)、高津、須子原、高津次郎三郎
181	出雲長谷家文書	1341001028	暦応4年1月28日	国造出雲清孝宛行状	『南北朝遺文・中西国』2-1040	出雲	大社領遥勘郷、神官小南采女佑入道導乗、長谷雲七郎房孝、国造出雲宿禰清孝
182	長門益田家文書	1341002099	暦応4年2月日	益田兼躬軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1047	石見	石見国御神本孫次郎藤原兼躬、上野左馬助(頼兼)、高津(城)、稲積(城)、須古(須子)、高津余次長幸、松田左近将監、(上野頼兼花押)
183	出雲大社諸社家所蔵古文書	1341003024	暦応4年3月24日	足利直義軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』2-1049	出雲	佐々木近江守高貞(塩冶高貞)
184	出雲鰐淵寺文書	1341003024	暦応4年3月24日	足利直義軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』2-1050	出雲	佐々木近江守高貞(塩冶高貞)、鰐淵寺北谷
185	出雲中澤文書	1341003024	暦応4年3月24日	足利直義軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』2-1051	出雲	佐々木近江守高貞(塩冶高貞)、諏訪中沢孫神次
186	萩藩閥閲録66	1341003024	暦応4年3月24日	足利直義軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』2-1052	出雲	佐々木近江守高貞(塩冶高貞)、伊藤又次郎(頼明)
187	山城本法寺文書	1341003027	暦応4年3月27日	足利尊氏御教書	『南北朝遺文・中西国』2-1053	出雲	佐々木近江守高貞(塩冶高貞)、諏訪中□(澤カ)孫神

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
188	長門益田家文書	1341003099	暦応4年3月日	益田兼躬軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1056	石見	石見国御神本孫次郎藤原兼躬、日野左兵衛権佐邦光、稲積城、三隅次郎入道信性、袴田、松田左近将監、(上野頼兼花押)
189	出雲鰐淵寺文書	1341004002	暦応4年4月2日	朝山景連軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』2-1057	出雲	佐々木近江守高貞(塩冶高貞)、(朝山)肥前守景連、鰐淵寺南北、旅臥城
190	出雲小野文書	1341004099	暦応4年4月日	北垣光昌申状	『南北朝遺文・中西国』2-1066	出雲	出雲国大野庄祢宇村、佐々木近江守高貞(塩冶高貞)、紀(北垣)光昌、(押紙)「出雲国守也山名伊豆守
191	永田秘録所収石見内田家文書	1341005019	暦応4年5月19日	室町幕府引付頭人奉書写	『南北朝遺文・中西国』2-1079	石見	内田孫八郎致景、石見国長野庄内豊田郷、土屋平三
192	長門内藤家文書	1341006006	暦応4年6月6日	足利直義軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』2-1085	石見	石見国
193	萩藩閥閲録児玉主計広	1341006006	暦応4年6月6日	足利直義軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』2-1086	石見	石見国
194	出雲千家文書	1341006009	暦応4年6月9日	沙弥禅光起請文	『南北朝遺文・中西国』2-1087	出雲	杵築大明神、(佐草)禅光、東三兵郎
195	周防吉川家文書	1341007012	暦応4年7月12日	上野頼兼軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』2-1090	石見	石州、永安、左馬助(上野頼兼)、吉河(吉川)次郎三郎(経明)
196	長門益田家文書	1341007024	暦応4年7月24日	室町幕府引付頭人奉書	『南北朝遺文・中西国』2-1094	石見	(石見益田)馬場四郎次郎
197	思文閣古書目録百十一号	1341007099	暦応4年7月日	内田熊若丸代藤原兼家軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1095	石見	石見国長野庄内俣賀村、内田熊若丸、豊田城、吉田宮尾城、稲積城、日野兵衛佐、吉見六郎、藤原兼家、(上野頼兼)
198	長門安富家文書	1341008005	暦応4年8月5日	安富彦三郎入道教元軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1097	石見	石見国安富彦三郎入道教元、三隅、板屋河、三浦弥七、同(三浦)与一、吉見左近将監、上野四郎(頼兼)
199	出雲鰐淵寺文書	1341008021	暦応4年8月21日	後村上天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』2-1100	出雲	鰐淵寺別当
200	山城二尊院文書	1341009007	暦応4年9月7日	山名時氏請文	『南北朝遺文・中西国』2-1107	出雲	出雲国淀新庄、太田小四郎入道、前伊豆守(山名)時
201	周防吉川家文書	1341010013	暦応4年10月13日	上野頼兼軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』2-1116	石見	小石見城、左馬助(上野頼兼)、吉河(吉川)次郎三郎(経明)
202	永田秘録所収石見内田家文書	1341011024	暦応4年11月24日	室町幕府引付頭人奉書写	『南北朝遺文・中西国』2-1125	石見	内田孫八郎致景、石見国豊田郷、土屋平三、吉見七郎
203	摂津水無瀬宮文書	1341011027	暦応4年11月27日	足利直義裁許状	『南北朝遺文・中西国』2-1126	出雲	出雲国加賀庄内柏尾村、鹿園寺治部次郎、(朝山)肥前守景連
204	出雲雲樹寺文書	1341012018	興国2年12月18日	後村上天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』2-1130	出雲	覚明上人、雲州雲樹禅寺
205	山城九条家文書	1342001099	暦応5年1月日	摂籙渡庄目録	『南北朝遺文・中西国』2-1138	出雲一隠岐	出雲国宇賀庄、隠岐国重栖庄、出雲国冨田庄
206	石見久利文書	1342002009	暦応5年2月9日	上野頼兼感状	『南北朝遺文・中西国』2-1140	石見	福屋城、左馬助(上野頼兼)、久利赤波三郎二郎
207	周防吉川家文書	1342002026	暦応5年2月26日	上野頼兼軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』2-1143	石見	井村、左馬助(上野頼兼)、吉河(吉川)次郎三郎(経
208	出雲大社諸社家所蔵古文書写	1342002028	暦応5年2月28日	国造出雲清孝証文写	『南北朝遺文・中西国』2-1144	出雲	高浜、景孝、国造清孝、嶋小三郎
209	石見益田家文書	1342002099	暦応5年2月日	御神本兼躬軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1145	石見	石見国御神本孫次郎藤原兼躬、福屋城、土屋平三、三和田、松田左近将監、(上野頼兼花押)
210	石見久利文書	1342002099	暦応5年2月日	赤波公房軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1146	石見	石見国久利郷、赤波三郎次郎清原公房、福屋城、三渡切、(上野頼兼花押)
211	萩藩閥閲録121-4	1342002099	暦応5年2月日	越生光氏軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』2-1147	石見	石見国有福、越生七郎光氏、福屋城、三和田、弥太郎、『上野左馬助頼兼判也』
212	萩藩閥閲録121-4	1342003015	暦応5年3月15日	上野頼兼軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』2-1153	石見	鳥屋尾城、左馬助(上野頼兼)、井尻四郎太郎
213	出雲揖夜神社文書	1342004013	暦応5年4月13日	揖屋大社別火職補任状	『南北朝遺文・中西国』2-1163	出雲	揖屋大社、大宅頼澄

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
214	長門小早川家証文	1342006018	暦応5年6月18日	逸見大阿代子息有朝軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』2-1173	石見	石州、宇津木、多和、河上城、大多和城、邑知備後介宗連、都野左近将監保通、福屋城、福屋弥太郎左衛門尉兼景、(福屋兼景)舎弟修理亮、小石見城、新田左馬助義氏、周布城、井村石見権守兼氏、大多和外城、鳥屋尾城、矢原城、高津原孫三郎、波多野彦三郎、河越安芸守、徳屋(得屋)彦三郎
215	周防吉川家文書	1342006023	康永元年6月23日	吉川辰熊丸実経代須藤景成軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1175	石見	石州、宇津々木、多和、河上城、大和田城、邑知備後介宗連、都野左近将監、福屋城、福屋弥太郎左衛門尉、(福屋兼景)舎弟修理亮、小石見城、新田左馬助義氏、周布城、井村石見権守兼雄、大多和外城、鳥屋尾城、矢原城、高津孫三郎、波多野彦三郎、河越安芸守、徳屋(得屋)彦三郎
216	長門益田家文書	1342006099	暦応5年6月日	御神本兼躬軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1177	石見	石見国御神本孫次郎藤原兼躬、三隅次郎入道信性、折居、納田、松田左近将監、(上野頼兼花押)
217	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1342011010	康永元年11月10日	岩屋寺院主祐円目安状案	『南北朝遺文・中西国』2-1206	出雲	出雲国横田庄、岩屋堂禅尼妙音(関東最明寺禅門後室式部大夫時輔母儀)、山本、吉田岩屋寺、下中村、
218	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1342011021	康永元年11月11日	日野資明奉書案	『南北朝遺文・中西国』2-1209	出雲	出雲国横田庄、岩屋寺院主祐円
219	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1342011099	康永元年11月日	某申状案	『南北朝遺文・中西国』2-1213	出雲	出雲国横田庄、岩屋寺、〔尼妙〕音、関東鶴岡八幡宮仮殿造営料所、六波羅〔北方〕造営料所、北山殿御管領、御雑掌越中左衛門尉行季、新三位(刑部卿)、御代官肥後入道良円、当庄御給主民部少輔殿御代官
220	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1342011099	康永元年11月日	雑掌良円請文案	『南北朝遺文・中西国』2-1214	出雲	出雲国横田庄、岩屋寺院主祐円、権俗名、当国平均杵築社頭役、岩屋堂禅尼、雑掌良円
221	正閏史料2-1	1342012003	康永元年12月3日	足利尊氏充行状写	『南北朝遺文・中西国』2-1215	出雲	湯原越中守頼綱
222	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1342012012	康永元年12月12日	日野資明奉書案	『南北朝遺文・中西国』2-1217	出雲	祐円、岩屋寺、前民部少輔
223	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1342012019	康永元年12月19日	日野基種請文案	『南北朝遺文・中西国』2-1219	出雲	横田庄内権俗名
224	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1342012025	康永元年12月25日	岩屋寺院主祐円重申状案	『南北朝遺文・中西国』2-1221	出雲	出雲国横田庄、岩屋寺院主祐円、岩屋堂禅尼
225	石見岡本文書	1342012099	興国3年12月日	某充行状写	『南北朝遺文・中西国』2-1222	石見	山頭所職、山頭五郎次郎、(石見三宮関係文書)
226	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1342999999	(康永元年カ)月日	岩屋寺田地等目録案※	『南北朝遺文・中西国』2-1207	出雲	出雲国横田庄、岩屋寺住持弘円、下中村、山本、尾薗村内権俗名、吉田作在山本 (年未詳だが、同様の文書目録案(№1206)が康永元年に作成されているので、しばらく同年に掲げる)
227	長門益田家文書	1343001009	康永2年1月9日	益田兼見軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1223	石見	石見国御神本益田孫次郎藤原兼見、小石見城、松田左近将監、(上野頼兼花押)
228	石見岡本文書	1343001099	康永2年1月日	西志譲状写	『南北朝遺文・中西国』2-1225	石見	吉高
229	長門安富家文書	1343002020	康永2年2月20日	丸毛彦三郎入道某軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1230	石見	石見国安富郷、丸毛彦三郎入道□元、三浦与一、(三浦)九郎、(三浦)与三、丸毛城、(丸毛□元子息)彦九郎兼弘、(上野頼兼花押)

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
230	永田秘録所収石見内田家文書	1343002099	康永2年2月日	内田致景軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』2-1232	石見	石見国豊田郷、内田孫八郎致景、木束、永安、周布、福屋、高津、井村、小石見城、松田左近将監、『上野左馬助頼兼判也』
231	出雲千家文書	1343003003	康永2年3月3日	左衛門尉義政同親清連署注進状	『南北朝遺文・中西国』2-1233	出雲	出雲国杵築大社国造(出雲)孝宗代宗高、十二郷、多禰郷内口木村
232	出雲北島貴教氏所蔵	1343003015	康永2年3月15日	崛狗九条袈裟裏書	『南北朝遺文・中西国』2-1236	出雲	出雲氏国造、雲樹(寺)、宿禰清教、月海覚明
233	出雲千家文書	1343003016	康永2年3月16日	出雲孝景申状	『南北朝遺文・中西国』2-1237	出雲	(出雲)泰孝、(出雲)孝時、(杵築大社)、守護人(安達)親長、(佐々木)貞清、いつもの(孝景)
234	出雲千家文書	1343003016	康永2年3月16日	出雲某和与状	『南北朝遺文・中西国』2-1238	出雲	出雲国大庭田尻、国造、(出雲)清孝、(出雲)泰孝、(出雲)孝時
235	出雲千家文書	1343003016	康永2年3月16日	出雲泰孝譲状案并出雲孝宗裏封	『南北朝遺文・中西国』2-1239	出雲	きつきの大しや(杵築大社)、かもしゐ(神魂)、大はたしり(大庭田尻)、をゝいしたに(大石谷)、そうりやう(出雲)孝時、ゆやのしやう(揖屋庄)、(出雲)五郎貞孝、国造兼大社司出雲泰孝、(出雲)孝宗
236	出雲神門寺文書	1343003025	康永2年3月25日	吉田貞景打渡状	『南北朝遺文・中西国』2-1240	出雲	出雲国岡本保、笠間小法師丸、神門寺
237	出雲千家文書	1343003028	康永2年3月28日	出雲清孝譲状	『南北朝遺文・中西国』2-1242	出雲	杵築大社、出雲国造大社、出雲孝宗、出雲宿禰清孝、五郎孝宗
238	永田秘録所収石見内田家文書	1343003099	康永2年3月日	内田致景軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』2-1244	石見	石見国豊田郷、内田孫八郎致景、都野城、都野孫三郎、(上野頼兼花押影)、『石州守護上野左馬助頼兼』
239	出雲千家文書	1343005013	康永2年5月13日	沙弥浄覚書状	『南北朝遺文・中西国』2-1264	出雲	(杵築)大社、大方殿、(出雲)清孝、(出雲)孝宗、多禰、朝山、杵築一族、沙弥浄覚、千家殿(清孝カ)
240	出雲千家文書	1343005014	康永2年5月14日	めうせん書状	『南北朝遺文・中西国』2-1265	出雲	いつものこくさう(出雲国造)、きつき(杵築)、こきよのり(故出雲清孝)、、こくさふ五郎(出雲孝宗カ)、妙善、(出雲)孝宗、(出雲)貞孝、(諏訪)円忠、(雑賀)貞倫
241	出雲鰐淵寺文書	1343006001	康永2年6月1日	高岡高重願文	『南北朝遺文・中西国』2-1269	出雲	雲州鰐淵寺、左衛門少尉源(高岡)高重
242	出雲千家文書	1343006008	康永2年6月9日	国造千家清孝所領配分状	『南北朝遺文・中西国』2-1270	出雲	杵築、中村、宮内、市庭、越峠、(大土地)、吉野川、亀山、北島貞孝、(出雲)国造清孝
243	出雲小野家文書	1343006011	康永2年6月11日	日置政高譲状写	『南北朝遺文・中西国』2-1272	出雲	出雲国御崎社、日置清政、日置政高
244	長門益田家文書	1343008019	康永2年8月19日	上野頼兼軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』2-1284	石見	木束城、左馬助(上野頼兼)、得屋三郎兵衛尉
245	長門佐々木文書	1343008020	康永2年8月20日	足利尊氏御教書写	『南北朝遺文・中西国』2-1285	出雲	出雲国、佐々木佐渡大夫判官入道(高氏、道誉)
246	周防吉川家文書	1343008020	康永2年8月20日	上野頼兼感状	『南北朝遺文・中西国』2-1286	石見	黒谷城、左馬助(上野頼兼)、吉河(吉川)次郎三郎(経
247	長門益田家文書	1343008021	康永2年8月21日	益田兼見軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1287	石見	石見国御神本益田孫次郎兼見、都野城、繻巻、三隅、岡見、上野四郎、三隅次郎入道信性、(上野頼兼花押)
248	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1343008022	康永2年8月22日	日野資明書状案	『南北朝遺文・中西国』2-1288	出雲	岩屋寺々僧祐円、権俗名
249	周防吉川家文書	1343008099	康永2年8月日	吉河経明軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1289	石見	石見国津淵村、吉河(吉川)二郎三郎恒明、黒沢、三隅与一、松田雅楽助、(上野頼兼花押)
250	周防吉川家文書	1343010015	康永2年10月25日	上野頼兼軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』2-1300	石見	井村城、左馬助(上野頼兼)、吉河(吉川)次郎三郎(経明)
251	永田秘録所収石見内田家文書	1343011099	康永2年11月日	内田致景軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』2-1308	石見	石見国豊田郷、内田孫八郎致景、三隅城、(上野頼兼花押影)
252	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1343011099	康永2年11月日	岩屋寺院主僧祐源重申状案	『南北朝遺文・中西国』2-1309	出雲	出雲国横田庄、岩屋寺院主祐源、(横田庄内)山本山野、権俗名、民部少輔

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
253	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1343012012	康永2年12月12日	光厳上皇院宣案	『南北朝遺文・中西国』2-1311	出雲	横田庄、岩屋寺院主祐源、権俗名
254	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1343012014	康永2年12月14日	日野基種請文案	『南北朝遺文・中西国』2-1312	出雲	横田庄、権俗名、(岩屋寺)
255	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1343012099	康永2年12月日	横田庄雑掌目安状案	『南北朝遺文・中西国』2-1316	出雲	出雲国横田庄、岩屋寺院主祐円、権俗名
256	出雲北島家文書	1344002009	康永3年2月9日	某書状	『南北朝遺文・中西国』2-1322	出雲	出雲国きつき(杵築)大社、伯父のりとき(出雲孝時)、舎弟ときのり、杵築東三郎
257	石見俣賀文書	1344002025	康永3年2月25日	上野頼兼書下写	『南北朝遺文・中西国』2-1326	石見	内田熊若丸、須古(須子)村(尼光阿跡)、覚融庵主、左馬助(上野頼兼)、大森左衛門二郎
258	出雲千家文書	1344006005	康永3年6月5日	千家孝宗北島貞孝和与状	『南北朝遺文・中西国』2-1337	出雲	出雲(千家)孝宗、出雲(北島)貞孝、杵築大社、大庭田尻、揖屋庄坂本村、杵築宮内、院内、市場、塩屋浜
259	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1344006009	康永3年6月9日	岩屋寺院主僧祐源申状案	『南北朝遺文・中西国』2-1341	出雲	出雲国横田庄、岩屋寺、権俗名、御給主民部少輔、雑掌良円、「祐円去九月廿六日令他界」、祐源
260	出雲千家文書	1344006015	康永3年6月15日	僧厳覚書状写	『南北朝遺文・中西国』2-1343	出雲	出雲国杵築大社国造職、(出雲)孝宗、(北島)貞孝、(吉田)厳覚、隠岐彦左衛門尉
261	石見岡本文書	1344006906	康永3年閏2月6日	平時恒譲状	『南北朝遺文・中西国』2-1331	石見	黒河大明神、河内、山とう(頭)五郎二郎、母めう阿、平時恒
262	長門益田家文書	1344007002	康永3年7月2日	益田兼見軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1347	石見	石見国御神本益田孫次郎兼見、鳥尾城、横山、木束城、松田左近将監、若党佐々木七郎、(上野頼兼承判)
263	周防吉川家文書	1344008015	康永3年8月15日	吉川経貞譲状案	『南北朝遺文・中西国』2-1356	石見	きかわのまこ大郎、いわミのくにふくやのくらミつミやう(石見国福屋蔵光名)、によしほうしゆ御せん(女子法寿御前)、つねさた(吉川経貞)
264	長門益田家文書	1344008017	康永3年8月17日	某安堵状	『南北朝遺文・中西国』2-1358	石見	長野庄内飯多(飯田)、市原、高津郷、覚入、(虫追)政国
265	出雲秋上文書	1344010003	康永3年10月3日	足利直義充行状	『南北朝遺文・中西国』2-1367	出雲	出雲国神魂大社、神主秋上処
266	石見俣賀文書	1344011013	(康永3年カ)11月13日	益田兼世書状	『南北朝遺文・中西国』2-1327	石見	俣賀熊若丸、須子、かくい〔う脱カ〕(覚融)、(益田)兼世、松田将監 (年未詳だが、康永3年の資料(№1326)に俣賀(内田)熊若丸が記載されているので、しばらく同年に掲げる)
267	周防吉川家文書	1344999999	(康永3年カ)月日	吉川経貞譲状案	『南北朝遺文・中西国』2-1357	石見	いわミのくになかやすのへんふ(石見国永安別符)、すつ(寸津)、ミまさか(美磨博)、しやうのくほ(庄久保)、ほうしゅこせん(法寿御前)、二郎三郎、(吉川)経貞 (年未詳だが、吉川経貞は同年に別に法寿御前宛の譲状(№1356)を作成しており、しばらく同年に掲げる)
268	諸家文書纂所収三刀屋文書	1345003099	康永4年3月日	諏方部貞扶軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』2-1399	出雲	出雲国三刀屋郷内粟谷村、諏方部彦十郎源貞扶、佐々木次郎左衛門尉貞家、屋根山城、佐々木五郎左
269	出雲安国寺文書	1345004009	康永4年4月9日	足利直義御教書	『南北朝遺文・中西国』2-1403	出雲	出雲国竹矢郷円通寺、安国寺
270	山城二尊院文書	1345005009	康永4年5月9日	佐々木導誉請文	『南北朝遺文・中西国』2-1405	出雲	出雲国淀新庄、(吉田)厳覚、中沢神四郎季景、沙弥導誉(佐々木高氏)
271	萩藩閥閲録121-1	1345005010	康永4年5月10日	沙弥導量書状写	『南北朝遺文・中西国』2-1407	石見	石見国周布郷地頭故蓮心、沙弥導量

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
272	山城二尊院文書	1345006017	康永4年6月17日	足利直義裁許状	『南北朝遺文・中西国』2-1411	出雲	出雲国淀新庄、中沢神四郎季景、佐々木佐渡大夫判官入道導誉、(吉田)厳覚
273	萩藩閥閲録121-1	1345008022	康永4年8月22日	周布兼長紛失状写	『南北朝遺文・中西国』2-1421	石見	石見国周布郷地頭(周布)弥次郎兼長、親父兼宗、上野左馬助頼兼(承判)
274	萩藩閥閲録121-1	1345008022	康永4年8月22日	周布兼長紛失状写	『南北朝遺文・中西国』2-1422	石見	石見国周布郷地頭(周布)弥次郎兼長、親父兼宗、藤原(益田)兼世(承判)
275	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1345011007	康永4年11月7日	奉行某書状案	『南北朝遺文・中西国』2-1433	出雲	出雲国横田庄、岩屋寺、前民部少輔
276	永田秘録所収石見内田家文書	1345012013	康永4年12月13日	上野頼兼遵行状写	『南北朝遺文・中西国』2-1440	石見	内田孫八致景、石見国豊田郷内道野辺村、貞松名、内田工藤三郎致員
277	大和密井文書	1346002027	貞和2年2月27日	足利直義裁許状	『南北朝遺文・中西国』2-1452	石見	石見国久利村郷、一原(市原)孫次郎、逸見弥四郎入道、笠間但馬権守朝清、吉川孫太郎経貞
278	出雲高田寺根源録所収	1346003010	正平元年3月10日	高田寺鐘銘写	『南北朝遺文・中西国』2-1456	出雲	出雲国仁田郡高田庄、大領権現
279	周防吉川家文書	1346007099	貞和2年7月日	吉川経明軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1473	石見	吉川二郎三郎恒明(経明)、石見国三隅城、都野郷、富部隼人佐、(上野頼兼花押)
280	肥後阿蘇家文書	1346008008	正平元年8月8日	四条隆資書状写	『南北朝遺文・中西国』2-1476	石見	石州
281	永田秘録所収石見内田家文書	1346008099	貞和2年8月日	内田致景代内田致世軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』2-1478	石見	石見国豊田郷地頭内田孫八郎致景、子息(内田)左衛門三郎致世、木束城、松田五郎左衛門尉宗重、(上野頼兼花押)
282	出雲千家文書謄写本丙1-5	1346009999	貞和2年閏9月日	山代郷半分地頭源氏代宗道申状	『南北朝遺文・中西国』2-1491	出雲	出雲国山代郷半分地頭源氏代宗道、国造(出雲)孝宗、舎弟貞孝
283	出雲平浜八幡宮文書	1346011099	貞和2年11月日	出雲国目代・田所連署寄進	『南北朝遺文・中西国』2-1502	出雲	出雲国平浜別宮、出雲里(卿弁房跡)
284	出雲国北島家文書	1346012003	貞和2年12月3日	佐々木導誉高氏注進状	『南北朝遺文・中西国』2-1503	出雲	出雲国杵築大社、国造(貞孝)、(吉田)厳覚、(佐々木)沙弥導誉
285	備後浄土寺文書	1346012021	貞和2年12月21日	高師泰書下案	『南北朝遺文・中西国』2-1508	出雲	佐々布次郎左衛門尉 (№2160により、佐々布次郎左衛門尉が出雲国薗村を領していたことが分かる)
286	賀茂社古代庄園御厨	1346099099	(貞和2年カ)月日未詳	賀茂御祖社社領目録	『南北朝遺文・中西国』2-1487	出雲	出雲国安来庄、筑陽庄 (年未詳だが南北朝遺文の掲載順に従い、しばらく貞和2年に掲げる)
287	萩藩閥閲録121-1	1347002005	貞和3年2月5日	周布兼長譲状案	『南北朝遺文・中西国』2-1514	石見	すふのかう(周布郷)、(周布)兼長、「あにゝて候かねうち」(周布兼氏)
288	出雲大社文書	1347003019	貞和3年3月19日	室町幕府御教書	『南北朝遺文・中西国』2-1523	出雲	出雲国杵築大社、須佐郷、生馬郷、安来庄、佐渡大夫判官入道(導誉)
289	摂津水無瀬神社文書	1347004017	貞和3年4月17日	足利直義裁許状	『南北朝遺文・中西国』2-1532	出雲	出雲国加賀庄(領家水無瀬三位)、雑掌有喜、大加賀村一分地頭尼空仙、守護人佐々木佐渡大夫判官入道導誉、代官(吉田)厳覚
290	永田秘録所収石見内田家文書	1347005007	(貞和3年カ)5月7日	源義長挙状写	『南北朝遺文・中西国』2-1570	石見	内田孫八郎致景 (年未詳だが南北朝遺文の掲載順に従い、ひとまず貞和3年に掲げる)
291	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1347005008	貞和3年5月8日	日野資明奉書案	『南北朝遺文・中西国』2-1536	出雲	出雲国横田庄内岩屋寺、前民部少輔
292	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1347005008	貞和3年5月8日	日野資明奉書	『南北朝遺文・中西国』2-1537	出雲	横田庄内岩屋寺、恵鎮上人
293	近江園城寺文書	1347005099	貞和3年5月日	園城寺堂社造営料所支配注進状	『南北朝遺文・中西国』2-1544	石見	石見国久利郷、上羽出郷、下出羽郷

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
294	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1347005099	貞和3年5月日	岩屋寺雑掌道源申状	『南北朝遺文・中西国』2-1545	出雲	出雲国横田庄内岩屋寺雑掌道源、当庄給主前民部少輔、権俗名、山本山野、肥後前司入道父子
295	山城東福寺文書	1347007099	貞和3年7月日	東福寺領諸庄園文書目録	『南北朝遺文・中西国』2-1563	出雲-石見	石見国都野郷、出雲国末次庄
296	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1347008010	貞和3年8月10日	雑掌某請文案	『南北朝遺文・中西国』2-1567	出雲	出雲国横田庄内岩屋寺僧弘円、権俗名
297	永田秘録所収石見内田家文書	1347008018	貞和3年8月18日	上野頼兼挙状写	『南北朝遺文・中西国』2-1569	石見	内田孫八郎致景、(上野)左馬助頼兼
298	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1347008027	貞和3年8月27日	日野基種書状案	『南北朝遺文・中西国』2-1572	出雲	岩屋寺々僧弘円、横田庄内権俗名
299	出雲北島文書	1347008028	貞和3年8月28日	山名時氏遵行状	『南北朝遺文・中西国』2-1573	隠岐	隠岐国雑掌春増、山田別符、古志次郎左衛門尉
300	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1347009004	貞和3年9月4日	僧恵鎮書状案	『南北朝遺文・中西国』2-1578	出雲	横田庄内権俗名、岩屋寺、沙門恵鎮
301	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1347009017	貞和3年9月17日	日野基種書状案	『南北朝遺文・中西国』2-1580	出雲	横田庄内岩屋寺
302	讃岐三木家大野文書	1347011028	貞和3年11月28日	佐々木導誉高氏軍勢催促	『南北朝遺文・中西国』2-1598	出雲	沙弥(佐々木導誉)、大野次郎左衛門入道(光成)
303	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1347012007	貞和3年12月7日	雑訴沙汰目録案	『南北朝遺文・中西国』2-1602	出雲	出雲国横田庄内岩屋寺院主弘円、恵鎮上人
304	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1347012009	貞和3年12月9日	光厳上皇院宣案	『南北朝遺文・中西国』2-1603	出雲	出雲国横田庄内岩屋寺住僧弘円、権俗名、恵鎮上人
305	出雲北島文書	1347012022	貞和3年12月22日	僧厳覚書状	『南北朝遺文・中西国』2-1606	出雲	僧厳覚、国造
306	諸家文書纂所収三刀屋文書	1348002013	貞和4年2月13日	諏訪部信恵代子息扶直軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』2-1615	出雲	出雲国三刀屋郷惣領地頭諏方部三郎入道信恵、代子息弥三郎扶直、(佐々木高氏花押)
307	諸家文書纂所収三刀屋文書	1348002013	貞和4年2月13日	諏方部貞助軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』2-1616	出雲	出雲国三刀屋郷粟谷村一分地頭諏方部彦十郎貞助、(佐々木高氏花押)
308	出雲北島文書	1348002018	貞和4年2月18日	僧厳覚書状	『南北朝遺文・中西国』2-1618	出雲	僧厳覚、北嶋
309	永田秘録所収石見内田家文書	1348004099	貞和4年4月日	内田致世軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』2-1633	石見	石見国豊田郷、内田三郎致世、三隅城、岡見切所、郎従与一、栄山、山田切所、郎従藤三郎、松田左近将監
310	永田秘録所収石見内田家文書	1348004099	貞和4年4月日	内田致世軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』2-1634	石見	石見国豊田郷、内田左衛門三郎致世、三隅、岡見、中間与三、山田、中間藤三郎、土橋切所、「三隅城麓焼払候了」、松田左近将監、『上野左馬助頼兼判也』
311	永田秘録所収石見内田家文書	1348004099	貞和4年4月日	内田致世軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』2-1635	石見	石見国豊田郷、(内田)左衛門三郎致世、三隅城、土橋切所、松田左近将監、『上野左馬助頼兼判アリ』
312	周防吉川家文書	1348004099	貞和4年4月日	吉川経明軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1637	石見	吉川二郎三郎経明、三隅城、赤松尾、(上野頼兼花押)
313	永田秘録所収石見内田家文書	1348005002	貞和4年5月2日	上野頼兼感状写	『南北朝遺文・中西国』2-1639	石見	石州三隅城、左馬助(上野頼兼)、内田左衛門三郎(致世)
314	古證文	1348005004	貞和4年5月8日	益田左馬助感状写	『南北朝遺文・中西国』2-1640	石見	石州赤松山、益田左馬助(上野頼兼カ)、永安二郎太郎 (古今消息集に同文の写あり。但し日付を五月十四日とせり。)
315	出雲北島文書	1348006007	貞和4年6月7日	足利直冬御教書	『南北朝遺文・中西国』2-1645	出雲	杵築大社国造
316	尊経閣文庫所蔵東福寺文書	1348008028	貞和4年8月28日	上野頼兼書状	『南北朝遺文・中西国』2-1664	石見	都野郷、(上野)左馬助頼兼

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
317	永田秘録所収石見内田家文書	1348008099	貞和4年8月日	内田致世軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』2-1665	石見	石見国豊田郷、内田左衛門三郎致世、三隅城、上野四郎、(『上野左馬助頼兼判也』)
318	萩藩閥閲録43	1348009099	貞和4年9月日	君谷実祐軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』2-1669	石見	石見国君谷三郎二郎実祐、三隅城、若党馬五郎、若党清七、郎従清源太、(上野左馬助頼兼ノ承了判)
319	萩藩閥閲録43	1348009099	貞和4年9月日	君谷実祐軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』2-1670	石見	石見国君谷三郎二郎実祐、鳥屋尾城、親類津志見彦七実縄、(津志見)次〔脱アルカ〕実弘、賀先城、富部河隼人祐、村田八郎左衛門尉、(上野左馬助頼兼ノ承了判)
320	周防吉川家文書	1348009099	貞和4年9月日	吉川経明軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1671	石見	石見国津淵村、吉河(吉川)次郎三郎恒明、若党熊谷七郎経重、鳥屋尾城、(上野頼兼花押)
321	出雲迎接寺文書	1348010008	貞和4年10月8日	吉田厳覚安堵状	『南北朝遺文・中西国』2-1674	出雲	出雲国平浜八幡、下見谷宝光寺、(吉田)厳覚
322	萩藩閥閲録121-1	1348010009	貞和4年10月9日	足利直義感状写	『南北朝遺文・中西国』2-1675	石見	石見国鳥屋尾(城)、高木城、上野左馬助頼兼、周布弥次郎
323	山城東福寺文書	1348010009	貞和4年10月9日	足利直義裁許状	『南北朝遺文・中西国』2-1676	石見	石見国都野郷、上総入道省観、波禰五郎左衛門尉時継
324	出雲三木文書	1348012002	(貞和4年カ)12月2日	足利尊氏感状写	『南北朝遺文・中西国』2-1685	出雲	三木三郎左衛門(同人物はNo.1695で出雲国渡橋村を勲功賞として与えられている)
325	東京大学史料編纂所所蔵	1348012009	貞和4年12月9日	堀河基俊遺領裁許状	『南北朝遺文・中西国』2-1689	出雲	佐々木出雲四郎、出雲介入道円忍、佐渡大夫判官入道々誉
326	出雲三木文書	1349001010	貞和5年1月10日	佐渡判官感状写	『南北朝遺文・中西国』2-1695	出雲	渡橋村、佐渡判官、三木三郎左衛門
327	萩藩閥閲録121-4	1349001018	貞和5年1月18日	上野頼兼軍忠注進状写	『南北朝遺文・中西国』2-1696	石見	「田村四郎盛泰ハ(周布)兼定弟(周布)兼政ニ四代孫也」、来原郷、宇屋賀浜、若党岡田九郎入道円道、波佐谷、若堂(党)林清三郎行俊、一族孫四郎貞盛、布原次郎三郎為氏、一族四郎太郎景盛、若党緒方孫九郎盛経、同(緒方)彦五郎盛種、都野、繆巻、郎従新藤三、紀藤二、郎従下村藤九郎、郎従新三郎、三隅石田、一族今田祖覚房、三隅藁谷、一族三郎四郎盛直、若党賀井田彦五郎盛行、(賀井田)彦三郎行政、同(若党)布原次郎三郎為氏、扶持舎弟又四郎盛俊、同(舎弟力)二郎四郎盛資、三隅城、左馬助頼兼
328	出雲雲樹寺文書	1349006001	貞和5年6月1日	小野高実寄進状写	『南北朝遺文・中西国』2-1710	出雲	出雲国宇賀庄南方花園名、雲樹興聖禅寺
329	永田秘録所収石見内田家文書	1349006023	貞和5年6月23日	足利直冬感状	『南北朝遺文・中西国』2-1718	石見	石見国津毛郷、内田孫八郎
330	長門益田家文書	1349007013	貞和5年7月13日	源某感状	『南北朝遺文・中西国』2-1736	石見	岡見城
331	永田秘録所収石見内田家文書	1349007019	貞和5年7月19日	内田致景譲状写	『南北朝遺文・中西国』2-1737	石見	ちやくし(内田)左衛門三郎致世、藤原(内田)致景
332	永田秘録所収石見内田家文書	1349007019	貞和5年7月19日	内田致景譲状写	『南北朝遺文・中西国』2-1738	石見	石見国長野庄豊田郷道野辺村、すうのさたまつ(周布貞松)、致景のちやくし(内田)左衛門三郎致世、藤原(内田)致景
333	出雲安国寺文書	1349008009	貞和5年8月9日	足利直冬御教書	『南北朝遺文・中西国』2-1741	出雲	出雲安国寺

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
334	周防吉川家文書	1349008015	貞和5年8月15日	尼良海吉川経茂後家譲状案	『南北朝遺文・中西国』2-1742	石見	いわミのくになかやすのへんふ(石見国永安別符)、ますたのしやう(益田庄)、すつ(寸津)、みまさか(美磨博)、しやうのくほ(庄久保)、あまりやうかい(尼良海)、ちやくし(嫡子)まこ(孫)太郎つねさた(吉川経貞)、しなん(次男)二郎三郎つねかね(吉川経兼)、「つなさた(経貞)においては、なかくふきやう(不孝)の子たるなり」
335	周防吉川家文書	1349008015	貞和5年8月15日	尼良海吉川経茂後家譲状案	『南北朝遺文・中西国』2-1743	石見	なかやすのへんふ(永安別符)、いしいたに(石井谷)、あまりやうかい(尼良海)、二郎三郎つねかね(吉川経兼)、まこ(孫)きんかわの三郎ひやうゑつねつら(吉川経連)
336	長門福原家文書	1349008025	貞和5年8月25日	長井貞頼譲状案	『南北朝遺文・中西国』2-1745	出雲	孫太郎頼元惣領として知行すへき所:出雲国来次庄地頭職半分、ちやく女御この御方ちきやうあるへき所りやう:いつもの国来次庄半分の地頭職
337	思文閣古書目録百十一	1349008028	貞和5年8月28日	足利直冬軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』2-1746	石見	内田俣賀三郎
338	長門益田家文書	1349008028	貞和5年8月28日	足利直冬軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』2-1747	石見	(石見)国中物忽
339	出雲秋上文書	1349009008	貞和5年9月8日	足利直冬御教書	『南北朝遺文・中西国』2-1749	出雲	秋上処
340	永田秘録所収石見内田家文書	1349010001	貞和5年10月1日	足利直冬御教書写	『南北朝遺文・中西国』2-1756	石見	長野庄、内田左衛門三郎
341	長門安富家文書	1349010001	貞和5年10月1日	足利直冬御教書写	『南北朝遺文・中西国』2-1757	石見	長野庄、丸毛彦三郎入道
342	周防吉川家文書	1349011009	貞和5年11月9日	足利直冬軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』2-1765	石見	吉川次郎三郎(経兼)
343	出雲鰐淵寺文書	1349011025	貞和5年11月25日	光厳上皇院宣	『南北朝遺文・中西国』2-1767	出雲	出雲国漆治郷、根本千手堂修造料所、鰐淵寺
344	出雲千家文書	1349012024	貞和5年12月24日	室町幕府引付頭人奉書	『南北朝遺文・中西国』2-1774	出雲	長江弥六兵衛入道道覚、出雲国巨曽石郷内成永名、長江孫六郎重房、杵築孫三郎
345	周防吉川家文書	1350002010	貞和6年2月10日	少弐頼尚書状	『南北朝遺文・中西国』2-1784	石見	吉川次郎三郎(経兼)
346	出雲岩屋寺文書	1350002011	貞和6年2月11日	足利尊氏御教書	『南北朝遺文・中西国』2-1791	出雲	岩屋寺
347	出雲鰐淵寺文書	1350003027	(観応元年カ)3月27日	兵部卿律師御教書	『南北朝遺文・中西国』2-1801	出雲	鰐淵寺、伊予阿闍梨御房 (年未詳だが、貞和5年11月に鰐淵寺根本千手堂修造に係る資料(№1767)と関係すると思われるので、しばらく翌観応元年に掲げる)
348	石見国安国寺所蔵国花掌鑑	1350004017	観応元年4月17日	室町幕府御教書写	『南北朝遺文・中西国』2-1809	石見	石見国安国寺、小笠原左近将監、善四郎左衛門尉、源照
349	長門益田家文書	1350004021	観応元年4月21日	足利直冬充行状	『南北朝遺文・中西国』2-1810	石見	石見国長野庄内白上郷、金子五郎左衛門尉、田村四郎盛家
350	周防吉川家文書	1350004022	観応元年4月22日	足利尊氏感状写	『南北朝遺文・中西国』2-1812	石見	石見国、吉河次郎三郎(吉川経兼)
351	横田町誌所収岩屋寺文	1350006010	観応元年6月10日	光厳上皇院宣写	『南北朝遺文・中西国』2-1820	出雲	横田庄内岩屋寺
352	長門熊谷家文書	1350006019	観応元年6月19日	武田氏信預ヶ状	『南北朝遺文・中西国』2-1830	石見	三隅野彦三郎入道　石見三隅氏と断定できないが、参考までに掲げる。
353	出雲三木文書	1350006020	(正平5年カ)6月20日	足利尊氏書状案	『南北朝遺文・中西国』2-1831	出雲	三角(三隅)入道、石見国、太田新九郎、吉田肥前(厳覚)、三木三郎左衛門
354	永田秘録所収石見内田家文書	1350007001	貞和6年7月1日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』2-1837	石見	内田左衛門三郎(致世)

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
355	防長風土注進案当島宰判末岡庄左衛門所蔵文	1350007001	貞和6年7月1日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』2-1838	石見	高津幡〔播〕磨権守
356	永田秘録所収石見内田家文書	1350007005	貞和6年7月5日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』2-1839	石見	内田三郎(致世力)
357	防長風土注進状案当島宰判末岡庄左衛門所蔵	1350007013	貞和6年7月13日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』2-1840	石見	高津二郎左衛門尉
358	周防吉川家文書	1350007017	貞和6年7月17日	桃井左京亮軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』2-1841	石見	中国、石州三隅郷、左京亮(桃井義郷力)、吉川二郎三郎(経兼)
359	肥前深江文書	1350007017	貞和6年7月17日	足利直冬充行状	『南北朝遺文・中西国』2-1843	石見	安富民部丞泰重
360	出雲鰐淵寺文書	1350007020	貞和6年7月20日	足利直冬御教書	『南北朝遺文・中西国』2-1844	出雲	鰐淵寺
361	周防吉川家文書	1350007027	観応元年7月17日	吉川実経軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1847	石見	石州、市木、藤原(吉川)実経
362	出雲国岩屋寺文書	1350007028	(観応元年カ)7月28日	足利尊氏御教書	『南北朝遺文・中西国』2-1848	出雲	岩屋寺
363	萩藩閥閲録121-4	1350007029	貞和6年7月29日	桃井左京亮軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』2-1850	石見	石州、井尻四郎太郎
364	周防吉川家文書	1350008021	貞和6年8月21日	足利直冬感状	『南北朝遺文・中西国』2-1865	石見	吉河次郎左衛門尉(光経) (同人物は貞和7年に三隅城にいたことが確認できる(No.1929))
365	周防吉川家文書	1350008023	貞和6年8月23日	足利直冬充行状	『南北朝遺文・中西国』2-1867	石見	吉河次郎左衛門尉光経 (同人物は貞和7年に三隅城にいたことが確認できる(No.1929))
366	出雲小野文書	1350008099	観応元年8月日	北垣光政軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1871	出雲	出雲国大野庄内禰宇村、北垣三郎五郎光政、土屋四郎左衛門尉、(土屋)修理亮、佐々木近江六郎左衛門尉、佐陀次郎左衛門尉、玖潭彦四郎、小堺(小境)次郎左衛門尉(元智)、佐陀城、白潟橋上、佐々木三川守、朝山右衛門尉、八幡津、守山、(吉田厳覚花押)
367	諸家文書纂所収三刀屋文書	1350008099	観応元年8月日	諏訪部貞助軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』2-1872	出雲-石見	諏訪部彦十郎貞助、土屋四郎左衛門尉、伊藤弾正左衛門尉、出雲国阿用庄、蓮花寺城、来島蔵人三郎入道、来島庄内由木城、佐々木近江次郎左衛門尉貞宗、下子城、野萱、安来津、雲州、佐々木信濃五郎左衛門尉、高野山、富田関所、吉田兵衛次郎、平浜八幡、(吉田厳覚花押)
368	出雲鰐淵寺文書	1350009008	(観応元年カ)9月8日	兵部卿律師御教書※	『南北朝遺文・中西国』2-1802	出雲	(鰐淵寺)、千手堂、伊予阿闍梨御房 (年未詳だが、貞和4年11月に鰐淵寺根本千手堂修造に係る資料(No.1767)があるので、しばらく翌観応元年に掲げる)
369	諸家文書纂所収三刀屋文書	1350010010	観応元年10月10日	僧厳覚軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』2-1877	石見	石見国、院原宿、諏方部彦十郎(貞助)、僧厳覚
370	諸家文書纂所収三刀屋文書	1350010020	観応元年10月20日	足利直冬軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』2-1879	石見	三戸屋(三刀屋)三郎(諏訪部信恵力)
371	諸家文書纂所収三刀屋文書	1350011007	観応元年11月7日	足利直冬軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』2-1889	石見	陬防部三郎入道(諏訪部信恵)
372	長門益田家文書	1350011010	貞和6年11月10日	岩田胤時軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1891	石見	岩田彦三郎胤時、岡田又次郎
373	長門益田家文書	1350011015	貞和6年11月15日	岩田胤時軍忠状	『南北朝遺文・中西国』2-1894	石見	岩田彦三郎胤時、岡田又次郎
374	肥後阿蘇家文書	1350011016	(貞和6年)11月16日	少弐頼尚書状案	『南北朝遺文・中西国』2-1895	石見	岩見(石見)

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
375	永田秘録所収石見内田家文書	1350011019	貞和6年11月19日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』2-1898	石見	内田左衛門三郎(致世力)
376	出雲千家文書	1350011021	観応元年11月21日	足利尊氏御教書	『南北朝遺文・中西国』2-1900	出雲	出雲大社、杵築五郎(千家孝宗)
377	出雲岩屋寺文書	1350011021	観応元年11月21日	足利尊氏御教書	『南北朝遺文・中西国』2-1901	出雲	岩屋寺
378	出雲鰐淵寺文書	1350011025	観応元年11月25日	足利義詮御教書	『南北朝遺文・中西国』2-1904	出雲	鰐淵寺
379	周防吉川家文書	1350011030	貞和6年11月30日	吉川経盛申状	『南北朝遺文・中西国』2-1905	石見	三角入道、市村掃部助
380	石見内田文書	1350012003	貞和6年12月3日	内田致国申状写	『南北朝遺文・中西国』2-1908	石見	石見国長野庄豊田郷、内田三郎五郎致国
381	思文閣古書目録百十一	1350012007	観応元年12月7日	高師泰感状	『南北朝遺文・中西国』2-1911	石見	内田左衛門三郎(致世力)
382	伊藤清久氏所蔵内田家文書	1350012013	観応元年12月13日	内田女子代増円申状写	『南北朝遺文・中西国』2-1913	石見	石見国長野庄豊田郷、内田女子、増円、横田上郷、女子妙順
383	防長寺社證文巻9萬倉別府八幡	1350012020	観応元年12月20日	房綱奉裁許状写	『南北朝遺文・中西国』2-1917	石見	三隅次郎太郎入道
384	周防照円寺文書	1350012026	貞和6年12月23日	足利直冬充行状写	『南北朝遺文・中西国』2-1922	出雲	隈三郎盛種、出雲国々富郷、狩野肥後守
385	桧垣元吉氏所蔵文書	1350012099	貞和6年12月日	石見国乙吉土田両村地頭長益女代兼綱言上状	『南北朝遺文・中西国』3-月報	石見	石見国乙吉土田両村、長益女代兼綱
386	周防吉川家文書	1351001010	貞和7年1月10日	足利直冬感状	『南北朝遺文・中西国』3-1929	石見	三隅城、吉河次郎左衛門尉(吉川光経)
387	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351001014	観応2年1月14日	足利直義軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-1932	石見	諏方部孫三郎
388	長府毛利家所蔵文書	1351001014	観応2年1月14日	足利直義軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』3-1933	石見	飯嶋四郎三郎
389	萩藩閥閲録37-1	1351001018	貞和7年1月18日	佐波顕清申状写	『南北朝遺文・中西国』3-1937	出雲-石見	(佐波)善四郎顕清、出雲国赤穴庄内東方
390	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351001028	観応2年1月28日	足利尊氏軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-1944	出雲	諏方部弥三郎(扶直)
391	出雲土屋家古記録所収	1351001099	観応2年1月	諏訪部信恵充行状写	『南北朝遺文・中西国』3-1946	出雲	土屋四郎左衛門尉、出雲国三刀屋郷菅原、安来津、諏訪部信恵
392	石見仁井屋文書	1351001099	貞和7年1月日	都野時保申状	『南北朝遺文・中西国』3-1948	石見	石見都野次郎五郎時保、都野郷内上村、佐乃目村、塩屋海、塩屋海、(都野)親父実円
393	長門益田家文書82	1351001099	貞和7年1月日	岩田胤時軍忠状	『南北朝遺文・中西国』3-1949	石見	石見国長野庄得屋郷、岩田彦三郎胤時、黒谷城、波多野彦七義秀、三隅城、江河(江川)、河上城、石見、兼
394	萩藩閥閲録121－4	1351002001	観応2年2月1日	足利尊氏充行状写	『南北朝遺文・中西国』3-1950	石見	来原四郎遠盛、石見国白上郷
395	出雲小野家文書	1351002004	観応2年2月4日	佐々木高氏補任状	『南北朝遺文・中西国』3-1955	出雲	出雲国三奇〔崎〕、日置清政
396	出雲鰐淵寺文書	1351002005	観応2年2月5日	僧通円譲状案	『南北朝遺文・中西国』3-1957	出雲	出雲国鰐淵寺、和田〔多〕坊、国富、通円、舎弟宮内卿重円
397	阿波国徴古雑抄巻二祖谷山渡邊氏所蔵文書	1351002005	正平6年2月5日	出雲守時有奉安堵状写	『南北朝遺文・中西国』3-1958		出雲守時□(有力)
398	忌部大宮濫觴記抄	1351002010	正平6年2月10日	常陸親王令旨写	『南北朝遺文・中西国』3-1959	出雲	曹泉寺、忌部総社
399	吉川家什書13	1351002010	観応2年2月10日	少弐頼尚書状案	『南北朝遺文・中西国』3-1959B	石見	吉川次郎三郎(経兼)
400	出雲千家文書	1351002011	貞和7年2月11日	左近大夫将監義継寄進状	『南北朝遺文・中西国』3-1960	出雲	十弐郷、千家村、北島村、稲岡村、伊志見村、杵築御領、国造、左近大夫将監義継
401	出雲日御崎神社文書	1351002014	貞和7年2月14日	足利直冬安堵状写	『南北朝遺文・中西国』3-1963	出雲	出雲国三崎検校職
402	萩藩閥閲録121－4	1351002014	貞和7年2月14日	越生義氏申状写	『南北朝遺文・中西国』3-1964	石見	石見国加志岐別府、越生七郎次郎義氏

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
403	出雲千家古文書写	1351002015	観応2年2月15日	国造孝宗置文写	『南北朝遺文・中西国』3-1965	出雲	国造(出雲)孝宗、貞孝、国造、別火、櫛八玉命、出雲郡富村、国造大社司出雲宿禰孝宗
404	讃岐三木家大野文書	1351002018	観応2年2月18日	足利直義感状	『南北朝遺文・中西国』3-1969	出雲	大野又次郎(光盛)
405	永田秘録所収石見内田家文書	1351002025	貞和7年2月25日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』3-1974	石見	内田左衛門三郎
406	萩藩閥閲録66	1351002099	貞和7年2月日	小境元智軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』3-1976	出雲	出雲国小境伊藤平五郎入道元智、佐々木六郎左衛門尉(高久)、白潟、土屋弁房、多久中太郎入道
407	萩藩閥閲録66	1351002099	貞和7年2月日	小境元智軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』3-1977	出雲	出雲国小境平五郎入道元智、伊藤弾正(元実)、白潟、土屋弁房、多久中太郎入道、塩冶郷、宍道八幡
408	萩藩閥閲録121-4	1351002099	貞和7年2月日	西鳥居兼元軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』3-1978	石見	石見国西鳥居小五郎兼元、土屋又次郎宣時、武田弥太郎、蓮田十郎、雲州田儀、古荘二郎左衛門尉、波禰荘、鳥居次郎左衛門尉、鳥越弥二郎、田儀次郎左衛門
409	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351002099	正平6年2月日	常陸親王令旨写	『南北朝遺文・中西国』3-1979	出雲	諏方部弥三郎(助直)
410	石見原屋文書	1351002099	貞和7年2月日	六郎次郎入道々教申状	『南北朝遺文・中西国』3-1980	石見	石見国益田庄内乙吉村一分地頭六郎入道々教
411	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351003002	正平6年3月2日	常陸親王令旨写	『南北朝遺文・中西国』3-1982	出雲	須方部三郎入道(諏訪部信恵)
412	出雲鰐淵寺文書	1351003015	貞和7年3月15日	土与田修理亮某巻数返事	『南北朝遺文・中西国』3-1990	出雲	鰐淵寺
413	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351003015	貞和7年3月15日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』3-1991	出雲	諏方部三郎入道(信恵)
414	出雲鰐淵寺文書	1351003021	貞和7年3月21日	足利直冬御教書	『南北朝遺文・中西国』3-1995	出雲	鰐淵寺
415	長門益田家文書82	1351003022	貞和7年3月22日	兼忠去渡状	『南北朝遺文・中西国』3-2000	石見	石見国宅野別符、兼忠
416	出雲忌部大宮濫觴記抄	1351003025	正平6年3月25日	常陸親王令旨写	『南北朝遺文・中西国』3-2002	出雲	中沢三郎一族、神主日置一族
417	山城二尊院文書	1351003025	観応2年3月25日	室町幕府引付頭人奉書	『南北朝遺文・中西国』3-2003	出雲	禅林院聖衆来迎院、出雲国淀新庄、土屋左衛門太郎、多胡孫四郎、山名伊豆前司(時氏)
418	萩藩閥閲録121-4	1351003025	貞和7年3月25日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2004	石見	井尻八郎太郎
419	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351003099	貞和7年3月日	諏訪部信恵代彦十郎著到軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』3-2006	出雲	出雲国諏訪部三郎入道信恵、子息彦十郎(諏訪部扶貞)
420	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351003099	貞和7年3月日	諏方部来行著到軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』3-2007	出雲	出雲諏方部四郎五郎来行
421	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351003099	観応2年3月日	諏方部信恵代助直軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』3-2008	出雲	出雲国三刀屋郷、諏方部三郎入道信恵、子息(諏方部)弥三郎助直
422	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351003099	観応2年3月日	諏方部信恵代扶直軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』3-2009	出雲	出雲国三刀屋郷、諏方部三郎入道信恵、子息(諏方部)弥三郎扶直
423	山城二尊院文書	1351004003	観応2年4月3日	山名時氏遵行状案	『南北朝遺文・中西国』3-2013	出雲	禅林院聖衆来迎院、出雲国淀新庄、土屋左衛門太郎、多胡孫四郎、山名伊豆前司(時氏)、山名彦三郎、(端裏書)「出雲国守護施行」
424	出雲秋上文書	1351004005	観応2年4月5日	足利義詮御教書	『南北朝遺文・中西国』3-2014	出雲	神主処(出雲神魂社)
425	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351004021	正平6年4月21日	常陸親王令旨写	『南北朝遺文・中西国』3-2021	出雲	諏方部三郎入道(信恵)

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
426	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351004021	正平6年4月21日	常陸親王令旨写	『南北朝遺文・中西国』3-2022	出雲	諏方部弥三郎（助直）
427	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351004021	正平6年4月21日	常陸親王令旨写	『南北朝遺文・中西国』3-2023	出雲	諏方部弥四郎
428	山城二尊院文書	1351004023	観応2年4月23日	実経渡状	『南北朝遺文・中西国』3-2024	出雲	禅林院聖衆来迎院、出雲国淀新庄、寺家雑掌信性
429	出雲勝田神社蔵勝田濫觴録	1351004025	正平6年4月25日	常陸親王令旨写	『南北朝遺文・中西国』3-2025	出雲	土屋神社館、錦織一族
430	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351004099	貞和7年4月日	諏方部扶貞著到軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』3-2030	出雲	出雲国、諏方部彦十郎扶貞
431	萩藩閥閲録121-4	1351005012	貞和7年5月12日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2031	石見	井尻三郎五郎
432	八束郡誌文学編所収出雲迎接寺文書	1351005018	観応2年5月18日	僧長円寄進状写	『南北朝遺文・中西国』3-2033	出雲	平浜別宮、下見、槻下、長円
433	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351005028	貞和7年5月28日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2035	出雲	須和部三郎入道（諏訪部信恵）
434	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351005028	貞和7年5月28日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2036	出雲	須和部彦十郎（諏訪部扶貞）
435	出雲千家文書	1351006007	観応2年6月7日	桃井義郷安堵状	『南北朝遺文・中西国』3-2040	出雲	出雲大社、社領十二郷、杵築国造
436	周防吉川家文書	1351006011	貞和7年6月11日	尼良海吉川経茂後家置文	『南北朝遺文・中西国』3-2045	石見	ちゃやくし（嫡子）まこたらうつねさた（孫太郎吉川経貞）、二なん（次男）二らう三らうつねかぬ（二郎三郎吉川経兼）、きつかわさへもん三らうひやうへ（吉川左衛門三郎兵衛）、ほうしゆ御せん、ミすみのにうたうしんしやう（三隅入道信性）、なかやす（永安）、あまりやうか
437	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351006013	観応2年6月13日	山名時氏奉行人奉書写	『南北朝遺文・中西国』3-2047	出雲	磯武（五十猛）三郎五郎公武、出雲国岡本郷（笠間長門守跡）、（山名時氏）、（山名時氏家老歟）忠孝、道哲、諏方部彦十郎（扶貞）
438	周防吉川家文書	1351006019	貞和7年6月19日	三隅信性請文	『南北朝遺文・中西国』3-2053	石見	石見国納田郷内弥富、小弥富、庄窪（庄久保）、永安別符、吉河次郎三郎（吉川経兼）、沙弥信性（三隅兼連）
439	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351007003	正平6年7月3日	常陸親王令旨写	『南北朝遺文・中西国』3-2062	出雲	須和部三郎入道（諏訪部信恵）
440	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351007004	正平6年7月4日	左馬権頭某添状写	『南北朝遺文・中西国』3-2063	出雲	諏方部三郎入道（信恵）
441	出雲高田寺根元録	1351007010	正平6年7月10日	後村上天皇臨時写	『南北朝遺文・中西国』3-2071	出雲	高田寺大領権現社
442	出雲高田寺根元録	1351007010	正平6年7月10日	左馬権頭某禁制写	『南北朝遺文・中西国』3-2072	出雲	大領権現、高田寺
443	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351007017	正平6年7月17日	後村上天皇綸旨写	『南北朝遺文・中西国』3-2076	出雲	須和部（諏訪部）一族
444	出雲鰐淵寺文書	1351007025	正平6年7月25日	富田秀貞寄進状	『南北朝遺文・中西国』3-2080	出雲	出雲国阿井郷、鰐淵寺、前美作守（富田秀貞）
445	石見俣賀文書	1351008006	観応2年8月6日	足利尊氏軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2089	石見	内田左衛門三郎（致世力）
446	肥後佐方文書	1351008006	観応2年8月6日	足利尊氏軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』3-2090	出雲	諏方部長松丸
447	出雲千家文書	1351008007	観応2年8月7日	足利義詮御教書	『南北朝遺文・中西国』3-2094	出雲	杵築大社
448	出雲鰐淵寺文書	1351008009	観応2年8月9日	足利義詮御教書	『南北朝遺文・中西国』3-2100	出雲	鰐淵寺
449	石見俣賀文書	1351008010	正平6年8月10日	常陸親王令旨写	『南北朝遺文・中西国』3-2102	石見	内田左衛門三郎（致世力）
450	石見俣賀文書	1351008010	正平6年8月10日	常陸親王令旨写	『南北朝遺文・中西国』3-2103	石見	伊藤次郎六郎
451	石見俣賀文書	1351008010	正平6年8月10日	治部権少輔某軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』3-2104	石見	内田左衛門三郎（致世力）
452	石見俣賀文書	1351008010	正平6年8月10日	治部権少輔某軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』3-2105	石見	伊藤次郎六郎

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
453	萩藩閥閲録121-4	1351008011	正平6年8月11日	左中将某感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2109	石見	井尻八郎太郎
454	思文閣古書目録百十一	1351008013	正平6年8月13日	某宮将軍令旨	『南北朝遺文・中西国』3-2111	石見	内田左衛門三郎
455	永田秘録所収石見内田家文書	1351008015	観応2年8月15日	足利直冬軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2114	石見	石見国、吉見助四郎頼口〔平カ〕、内田左衛門三郎(致世カ)
456	石見俣賀文書	1351008016	観応2年8月16日(カ)	足利尊氏軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2117	石見	内田左衛門三郎(致世カ)
457	萩藩閥閲録121-4	1351008019	正平6年8月19日	左中将某安堵状写	『南北朝遺文・中西国』3-2119	石見	石見国大家庄内井尻村、井尻八郎太郎
458	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351008021	観応2年8月21日	山名時氏軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2121	出雲	諏方部三郎(信恵)、前伊豆守(山名時氏)
459	萩藩閥閲録121-4	1351008021	正平6年8月21日	律師某打渡状写	『南北朝遺文・中西国』3-2122	石見	石見国大家庄内井尻村、井尻八郎太郎
460	讃岐三木家大野文書	1351008099	観応2年8月日	大野禅覚著到状	『南北朝遺文・中西国』3-2127	出雲	大野次郎左衛門入道禅覚(光成)
461	出雲鰐淵寺文書	1351009008	正平6年9月8日	後村上天皇宸筆願文	『南北朝遺文・中西国』3-2130	出雲	鰐淵寺
462	讃岐三木家大野文書	1351009008	観応2年9月8日	足利尊氏軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』3-2131	出雲	大野次郎左衛門入道(光成、禅覚)
463	長門佐々木文書	1351009010	観応2年9月10日	足利義詮充行状案	『南北朝遺文・中西国』3-2132	出雲	佐々木近江守秀綱、出雲国日登郷、佐藤二郎左衛門
464	石見俣賀文書	1351009014	正平6年9月14日	常陸親王令旨	『南北朝遺文・中西国』3-2134	石見	俣賀左衛門三郎
465	石見俣賀文書	1351009015	正平6年9月15日	常陸親王令旨	『南北朝遺文・中西国』3-2137	石見	藤原(俣賀)景光治部允
466	石見俣賀文書	1351009015	正平6年9月15日	常陸親王令旨	『南北朝遺文・中西国』3-2138	石見	伊藤次郎六郎
467	出雲小野文書	1351009018	正平6年9月18日	後村上天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』3-2139	出雲	出雲国楯東郷、同西郷、加賀庄
468	諸家文書纂所収三刀屋文書	1351009022	観応2年9月22日	須和部信恵軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』3-2140	出雲	須和部(諏訪部)三郎入道信恵、出雲国三刀屋郷、石丸城、桑原神五、若槻源蔵人、片山平次郎、仁田彦四郎、若槻孫四郎、(山名時氏花押影)
469	讃岐三木家大野文書	1351009099	観応2年9月日	大野禅覚代子息光盛著到	『南北朝遺文・中西国』3-2147	出雲	大野次郎左衛門入道禅覚(光成)、代子息大野次郎光
470	石見俣賀文書	1351010008	正平6年10月8日	常陸親王令旨	『南北朝遺文・中西国』3-2154	石見	俣賀兵庫允
471	出雲北嶋文書	1351010015	観応2年10月15日	山名時氏寄進状	『南北朝遺文・中西国』3-2160	出雲	出雲大社、出雲国薗村、佐々布次郎左衛門尉、前伊豆守(山名)時氏
472	出雲北嶋文書	1351010020	年不詳(観応2年頃カ)10月20日	山名道静巻数返事	『南北朝遺文・中西国』3-2161	出雲	道静(山名時氏)、出雲国国造(貞孝) (年未詳だが南北朝遺文の年次比定に従い、しばらく観応2年・正平6年に掲げる)
473	出雲鰐淵寺文書	1351010099	正平6年10月日	僧頼源目安状案	『南北朝遺文・中西国』3-2168	出雲一隠岐	出雲国鰐淵寺、長吏讃岐律師頼源、三所郷、隠岐、根本南院
474	長門益田家文書6	1351012003	観応2年12月3日	足利直冬軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』3-2177	石見	(益田家文書)※島根関係の地名等なし
475	永田秘録所収内田家文	1351012003	観応2年12月3日	足利直冬軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2178	石見	内田右衛門三郎
476	萩藩閥閲録121-1	1351012003	観応2年12月3日	足利直冬安堵状写	『南北朝遺文・中西国』3-2179	石見	石見国周布郷、周布左近将監(兼氏)
477	出雲中家文書	1351012018	観応2年12月18日	杵築大社供神所補任状	『南北朝遺文・中西国』3-2185	出雲	杵築大社、大仲臣直行、国造大社惣検校出雲宿禰
478	出雲千家文書	1352001010	正平7年1月10日	杵築景春譲状	『南北朝遺文・中西国』3-2197	出雲	出雲国杵築大社、松木別所南北、刑部権大輔(杵築)景春、讃岐房律師(頼源)
479	永田秘録所収内田家文	1352002013	観応3年2月13日	讃岐守某奉軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2200	石見	内田左衛門三郎(致世カ)
480	永田秘録所収内田家文	1352002017	正平7年2月17日	常陸親王令旨写	『南北朝遺文・中西国』3-2203	石見	内田三郎五郎
481	永田秘録所収内田家文書	1352002021	(観応3年カ)2月17日	讃岐守某書状写	『南北朝遺文・中西国』3-2204	石見	内田三郎 (年未詳だが南北朝遺文注釈に従い、しばらく観応3年に掲げる)
482	永田秘録所収内田家文	1352002027	正平7年2月27日	常陸親王令旨写	『南北朝遺文・中西国』3-2212	石見	内田左衛門三郎(致世カ)

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
483	出雲大社諸社家所蔵古文書富家所蔵古文書写	1352002904	正平7年閏2月4日	源高義寄進状写	『南北朝遺文・中西国』3-2219	出雲	（塩冶郷）新八幡宮、大津村、右衛門尉源義高、向殿
484	周防吉川家文書	1352002909	観応2年閏2月9日	足利直冬充行状	『南北朝遺文・中西国』3-2222	石見	吉川次郎三郎経兼
485	周防吉川家文書	1352002910	（観応3年）閏2月10日	仁科盛宗書状	『南北朝遺文・中西国』3-2223	石見	三隅前司入道（兼連）、吉河（吉川）次郎三郎（経兼）
486	石見岡本文書	1352002915	観応3年閏2月15日	五とう二譲状	『南北朝遺文・中西国』3-2224	石見	さいまつ母、五とう二、（岡本文書は石見国三宮（大祭天石門彦神社）神主家である岡本家の相伝文書）
487	諸家文書纂所収三刀屋文書	1352003008	観応3年3月8日	山名時氏軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2230	出雲	諏方部三郎（信恵カ）、前伊豆守（山名時氏）
488	諸家文書纂所収三刀屋文書	1352003012	観応3年3月12日	山名時氏軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2236	出雲	須和部三郎入道（諏訪部信恵）、前伊豆守（山名時氏）
489	萩藩閥閲録121-1	1352003099	観応3年3月日	周布内兼成申状写	『南北朝遺文・中西国』3-2247	石見	周布内六郎太郎兼成、亡父（周布内）孫六郎兼茂、石見国周布郷内内村、伯父内田工藤三郎致員、貞松名
490	出雲安国寺文書	1352004005	観応3年4月5日	足利義詮御教書	『南北朝遺文・中西国』3-2252	出雲	雲州安国寺
491	永田秘録所収内田家文	1352004015	観応3年4月15日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2256	石見	内田左衛門三郎
492	石見吉川家文書	1352004022	観応3年4年22日	足利直冬感状	『南北朝遺文・中西国』3-2267	石見	石見国、吉河（吉川）次郎三郎（経兼）
493	石見岡本家文書	1352005005	観応3年5月5日	三隅重兼堺定帳	『南北朝遺文・中西国』3-2270	石見	（三隅）重兼
494	石見岡本家文書	1352005005	観応3年5月5日	三隅重兼石見三宮神領山境定書写	『南北朝遺文・中西国』3-2271	石見	（石見）三宮、（三隅）重兼
495	築山本河野家譜	1352005013	観応3年5月13日	足利義詮軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2274	石見	石見宮
496	出雲勝田神社蔵勝田濫觴録	1352005028	正平7年5月28日	名和長重感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2281	出雲	錦織鴻之介
497	讃岐三木家大野文書	1352005099	観応3年5月日	大野禅覚光成軍忠状	『南北朝遺文・中西国』3-2283	出雲	大野次郎左衛門入道禅覚（光成）
498	長門益田家文書	1352006020	観応3年6月20日	足利直冬軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』3-2290	石見	（石見益田）
499	永田秘録所収内田家文	1352006020	観応3年6月20日	足利直冬軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2291	石見	内田右衛門三郎
500	萩藩閥閲録121-4	1352007014	貞和8年7月14日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2308	石見	井尻八郎太郎
501	出雲朝山系図勘記	1352008003	観応3年8月3日	足利義詮充行状写	『南北朝遺文・中西国』3-2319	出雲	朝山右衛門尉、出雲国多久郷、佐々布次郎左衛門入道、長田東郷
502	山城二尊院文書	1352008005	観応3年8月5日	足利義詮御教書	『南北朝遺文・中西国』3-2321	出雲	出雲国淀新庄、佐々木美作守、佐渡大夫判官入道（佐々木高氏）
503	石見俣賀文書	1352008012	観応3年8月12日	足利義詮感状	『南北朝遺文・中西国』3-2328	石見	石見国、吉見三郎範直、内田左衛門三郎
504	九条家文書	1352008023	観応3年8月23日	源公俊渡状	『南北朝遺文・中西国』3-2334	石見	前石見守代源公俊
505	諸家文書纂所収三刀屋文書	1352009015	観応3年9月15日	山名時氏軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2343	石見	須和部三郎入道（諏訪部助重）
506	諸家文書纂所収三刀屋文書	1352009024	観応3年9月24日	山名時氏軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2352	出雲	雲州、諏方部三郎入道（助重）、前伊豆守（山名時氏）
507	出雲宍道文書	1352010004	文和元年10月4日	宇野頼季施行状	『南北朝遺文・中西国』3-2365	出雲	竹中律師、平野法橋、平野北条（出雲神門郡カ）、口〔平カ〕河入道
508	近江園城寺文書	1352010006	文和元年10月6日	足利義詮安堵状	『南北朝遺文・中西国』3-2367	石見	石見国永久郷、福屋郷、久利郷、用田郷
509	近江園城寺文書	1352010006	文和元年10月6日	足利義詮寄進状	『南北朝遺文・中西国』3-2368	石見	石見国小石見郷、上出羽郷、下出羽郷
510	出雲岩屋寺文書	1352010007	観応3年10月7日	山名師義禁制	『南北朝遺文・中西国』3-2370	出雲	（出雲横田）岩屋寺、左馬権頭（山名師義）
511	肥後佐方文書	1352010011	文和元年10月11日	足利義詮感状	『南北朝遺文・中西国』3-2372	出雲	出雲国、（佐々木）導誉、諏方部彦五郎（重信）
512	萩藩閥閲録43	1352010017	文和元年10月17日	沙弥某預ヶ状写	『南北朝遺文・中西国』3-2383	石見	石見国出羽郷、君谷弾正忠（出羽実祐）
513	石見安国寺蔵国苑掌鑑所収	1352010018	文和元年10月18日	足利義詮御教書写	『南北朝遺文・中西国』3-2384	石見	石州安国寺、福園寺、河合南村、金子孫五郎入道、小笠原左近将監

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
514	石見安国寺蔵国苑掌鑑所収	1352010018	文和元年10月18日	足利義詮御教書写	『南北朝遺文・中西国』3-2385	石見	石州安国寺、福園寺、河合南村、金子孫五郎入道、土屋備前守
515	萩藩閥閲録121-4	1352010030	観応3年10月30日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2387	石見	石見国野城、周布六郎太郎
516	東京国立博物館所蔵文	1352011013	文和元年11月13日	僧実有書状	『南北朝遺文・中西国』3-2395	出雲	雲州、山名豆州(時氏)
517	萩藩閥閲録121-1	1352011025	文和元年11月25日	足利義詮軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2402	石見	石見国、周布左近将監
518	萩藩閥閲録121-1	1352011025	文和元年11月25日	足利義詮軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2403	石見	石見国、周布左近将監
519	周防吉川家文書	1352011099	観応3年11月日	吉川経兼軍忠状	『南北朝遺文・中西国』3-2405	石見	吉河次郎三郎経兼、(今川直貞花押)
520	周防吉川家文書	1352012005	観応3年12月5日	今川直貞打渡状	『南北朝遺文・中西国』3-2407	石見	吉河次郎三郎経兼、刑部太輔(今川直貞)
521	周防吉川家文書	1352012006	観応3年12月6日	今川直貞感状	『南北朝遺文・中西国』3-2408	石見	吉河次郎三郎(経兼)、刑部太輔(今川直貞)
522	周防吉川家文書	1352012006	観応3年12月6日	今川直貞預ヶ状	『南北朝遺文・中西国』3-2409	石見	吉川次郎三郎(経兼)、刑部太輔(今川直貞)
523	周防吉川家文書	1352012006	観応3年12月6日	今川直貞預ヶ状	『南北朝遺文・中西国』3-2410	石見	吉河左衛門尉、刑部太輔(今川直貞)
524	周防吉川家文書	1352012012	(観応3年)12月12日	足利直冬軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』3-2413	石見	吉河次郎三郎(経兼)
525	肥後佐方文書	1352012015	観応3年12月15日	足利義詮感状	『南北朝遺文・中西国』3-2415	出雲	諏方部彦五郎(重信)
526	前田家所蔵文書古蹟文徴3	1352012022	文和元年12月22日	足利義詮寄進状	『南北朝遺文・中西国』3-2419	出雲	出雲国加賀庄
527	周防吉川家文書	1352012030	(正平7年力)12月30日	足利直冬軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』3-2427	石見	吉河二郎三郎(経兼)
528	石見俣賀文書	1353001010	文和2年1月10日	吉見範直書下	『南北朝遺文・中西国』3-2428	石見	(吉見)範直、俣賀兵庫助
529	出雲鰐淵寺文書	1353002003	正平8年2月3日	維弁譲状	『南北朝遺文・中西国』3-2435	出雲	鰐淵寺北院、和多坊、維弁、栄印阿闍梨
530	石見庵原文書	1353002010	文和2年2月10日	荒川詮頼預ヶ状	『南北朝遺文・中西国』3-2437	石見	石見国波禰郷、朝倉孫五郎、(朝倉)七郎、遠江守(荒川詮頼)、武田伊豆乙
531	長門益田家文書7	1353002018	文和2年2月18日	足利義詮感状	『南北朝遺文・中西国』3-2444	石見	石州、荒河遠江守詮頼、口〔益力〕田孫三郎(兼見)
532	永田秘録所収内田家文書	1353002030	文和2年2月30日	範直(?)感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2446	石見	内田左衛門三郎致世、三和彦次郎、西黒谷城、(吉見力)範直
533	出雲千家文書	1353003002	正平8年3月2日	日御崎社検校契約状	『南北朝遺文・中西国』3-2447	出雲	こくさう、(出雲日御崎社)けんけう(検校)、(小野)清政
534	永田秘録所収内田家文	1353003006	(正平8年力)3月6日	足利直冬軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2453	石見	内田左衛門三郎(致世)
535	出雲千家文書	1353003013	文和2年3月13日	大社前別火某請文	『南北朝遺文・中西国』3-2454	出雲	(出雲力)孝宗、大社前別火財国口、千家殿御代官
536	周防吉川家文書	1353003022	文和2年3月22日	吉川実経軍忠状	『南北朝遺文・中西国』3-2455	石見	石州
537	萩藩閥閲録43	1353004005	文和2年4月5日	足利義詮充行状写	『南北朝遺文・中西国』3-2464	石見	君谷弾正左衛門尉実祐、石見国出羽上下郷
538	萩藩閥閲録43	1353004008	文和2年4月8日	沙弥某施行状写	『南北朝遺文・中西国』3-2465	石見	石見国出羽上下郷、君谷弾正左衛門尉実祐、荒河遠江守(詮頼)
539	石見俣賀文書	1353004022	文和2年4月22日	足利義詮感状	『南北朝遺文・中西国』3-2468	石見	石見国、吉見三河三郎範直、内田左衛門三郎(致世)
540	諸家文書纂所収三刀屋文書	1353004025	正平8年4月25日	常陸親王令旨写	『南北朝遺文・中西国』3-2469	出雲	須和部三郎入道(助重)
541	周防久利文書	1353004099	文和2年4月日	久利赤波重房軍忠状	『南北朝遺文・中西国』3-2471	石見	赤波次郎太郎重房、仁万弥太郎、仁万郷、山名刑部少輔、佐波善四郎左衛門尉、久利次郎左衛門尉、土屋備前守、河合城、高山修理亮(行家)、(高山)新兵衛尉、(荒河詮頼花押)
542	出雲忌部大宮濫觴記抄	1353005001	正平8年5月1日	菅近江守寄進状写	『南北朝遺文・中西国』3-2473	出雲	淀新庄、忌部総社、久多美明神、東忌部村、菅近江守、曹泉寺老法師智嶽
543	出雲雲樹寺文書	1353005022	正平8年5月22日	後村上天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』3-2480	出雲	雲樹寺
544	長門益田家文書6	1353005025	正平8年5月25日	足利直冬感状	『南北朝遺文・中西国』3-2481	石見	石見国白上
545	萩藩閥閲録121-4	1353005025	文和2年5月25日	荒川詮頼安堵状写	『南北朝遺文・中西国』3-2482	石見	石見国大家庄内井尻村、小笠原左近将監、福光又太郎入道、遠江守(荒河詮頼)、井尻八郎太郎

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
546	萩藩閥閲録43	1353006005	文和2年6月5日	荒河詮頼遵行状写	『南北朝遺文・中西国』3-2485	石見	君谷弾正左衛門尉実祐、石見国出羽上下郷、遠江守（荒河詮頼）、高山修理亮（行家）
547	諸家文書纂所収三刀屋文書	1353006018	正平8年6月17日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2488	出雲	出雲国、須和部（諏訪部）三郎入道（助重）
548	萩藩閥閲録43	1353006020	文和2年6月20日	高山行家渡状写	『南北朝遺文・中西国』3-2490	石見	君谷弾正左衛門尉実祐、石見国出羽上下郷、（高山）修理亮行家
549	長門益田家文書52	1353006023	正平8年6月23日	足利直冬軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』3-2491	石見	口〔岩カ〕田彦三郎
550	永田秘録所収内田家文	1353006025	正平8年6月25日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2493	石見	石見豊田城、内田左衛門三郎（致世）
551	萩藩閥閲録93	1353007002	正平8年7月2日	足利直冬御教書写	『南北朝遺文・中西国』3-2496	石見	三角（三隅）入道
552	諸家文書纂所収三刀屋文書	1353007018	文和2年7月18日	山名師義預ヶ状写	『南北朝遺文・中西国』3-2499	出雲	出雲国三刀屋郷、須和部（諏訪部）三郎入道信恵、右衛門尉（山名師義）
553	出雲忌部総社大宮神宮寺秘事記	1353009001	正平8年9月1日	山名時氏寄進状写	『南北朝遺文・中西国』3-2510	出雲	出雲国忌部郷、大成村、神宮寺、前伊豆守（山名時氏）
554	長門益田家文書6	1353009025	正平8年9月25日	足利直冬感状	『南北朝遺文・中西国』3-2518	石見	石見国白上
555	石見原屋家文書	1353010005	文和2年10月5日	乙吉土田村内検目録	『南北朝遺文・中西国』3-2521	石見	乙吉村、土田村
556	出雲朝山系図勘記	1353010007	文和2年10月7日	足利義詮軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2522	出雲	朝山安芸守
557	島根県史神社資料所収東赤江八幡宮文書	1353011015	正平8年11月15日	赤江庄八幡宮神主職補任状写	『南北朝遺文・中西国』3-2536	出雲	赤江庄八幡宮
558	永田秘録所収内田家文書	1353012027	正平8年12月27日	仁科盛宗奉書写	『南北朝遺文・中西国』3-2547	石見	内田左衛門三郎致世、石見国貞松村、（周布）内六郎太郎兼成、周布左近将監（兼氏）、三隅石見前司入道
559	永田秘録所収内田家文	1354001020	正平9年1月20日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2557	石見	石見国、内藤工藤左衛門三郎
560	周防吉川家文書	1354001020	正平9年1月20日	足利直冬感状	『南北朝遺文・中西国』3-2558	石見	石見国、吉川次郎左衛門尉（光経）
561	周防吉川家文書	1354001020	正平9年1月20日	足利直冬感状	『南北朝遺文・中西国』3-2559	石見	石見国、吉河次郎三郎（経兼）
562	薩藩旧記24所収	1354002006	文和3年2月6日	足利尊氏感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2565	出雲-石見-隠岐	中国
563	薩藩旧記24所収	1354002006	文和3年2月6日	足利尊氏感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2566	出雲-石見-隠岐	中国
564	薩藩旧記24所収	1354002012	文和3年2月12日	足利尊氏感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2570	出雲-石見-隠岐	中国
565	石見俣賀文書	1354002022	文和3年2月22日	荒川詮頼軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』3-2572	石見	中国、遠江守（荒川詮頼）、内田左衛門三郎（致世）
566	出雲千家文書	1354003028	文和3年3月28日	国造貞孝同孝宗譲状写	『南北朝遺文・中西国』3-2589	出雲	出雲国朝酌郷、亡父（出雲）孝時、（出雲）子息孫太郎景孝、国造貞孝、国造孝宗　日付は二つあり、文和3年3月28日に貞孝が、応安5年4月19日に孝宗が署名し
567	周防佐々木文書	1354004008	文和3年4月8日	足利尊氏（？）充行状案	『南北朝遺文・中西国』3-2596	出雲	佐渡大夫判官法師（佐々木導誉）、出雲国富田庄
568	長門益田家文書82	1354004013	正平9年4月13日	仁科盛宗預ヶ状	『南北朝遺文・中西国』3-2598	石見-出雲	石見国角井村、松武名、出雲国高良村、佐々木美多見（美談）彦三郎、河原太郎右衛門尉
569	石見俣賀文書	1354004017	文和3年4月17日	荒川詮頼感状	『南北朝遺文・中西国』3-2600	石見	遠江守（荒川詮頼）、内田伊賀左衛門三郎
570	諸家文書纂所収三刀屋文書	1354004021	正平9年4月21日	足利直冬軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2602	出雲	須和部（諏訪部）三郎入道（助重）
571	諸家文書纂所収三刀屋文書	1354004021	正平9年4月21日	足利直冬軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2603	出雲	須和部（諏訪部）弥三郎（助直）
572	長門益田家文書82	1354005002	正平9年5月2日	足利直冬安堵状	『南北朝遺文・中西国』3-2606	石見	岩田彦三郎（胤時）
573	永田秘録所収内田家文書	1354005020	正平9年5月20日	三隅信性兼連挙状写	『南北朝遺文・中西国』3-2609	石見	石見国豊田郷、内田左衛門三郎致世、沙弥信性（三隅入道）
574	諸家文書纂所収三刀屋文書	1354005022	正平9年5月22日	前伊予守某軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2612	出雲	前伊予守（山名時義〇誤リカ）、須和部三郎入道（助重）

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
575	諸家文書纂所収三刀屋文書	1354005022	正平9年5月22日	沙弥実照書状写	『南北朝遺文・中西国』3-2613	石見	石州、須和部(諏訪部)三郎入道(助重)
576	諸家文書纂所収三刀屋文書	1354006001	正平9年6月1日	山名師義軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2614	出雲	右衛門佐(山名師義)、諏方部三郎左衛門入道
577	長門益田家文書82	1354006014	正平9年6月14日	三隅信性兼連書下	『南北朝遺文・中西国』3-2616	石見	石見国、沙弥(三隅信性)
578	出雲鰐淵寺文書	1354006016	正平9年6月16日	土与田修理亮巻数返事	『南北朝遺文・中西国』3-2617	出雲	(土与田)修理亮、鰐淵寺
579	周防吉川家文書	1354006099	正平9年6月日	吉川経兼軍忠状	『南北朝遺文・中西国』3-2621	石見	吉河次郎三郎経兼、荒川参河三郎(頼直)、小笠原左近将監、温泉郷
580	諸家文書纂所収三刀屋文書	1354007019	正平9年7月19日	足利直冬軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2625	出雲	出雲国野老原、今河刑部大輔直貞、須和部四郎五郎(来行)
581	萩藩閥閲録121-1	1354007022	正平9年7月22日	三隅信性兼連譲状写	『南北朝遺文・中西国』3-2626	石見	千福女四郎次郎兼覧息女、石見国小石見郷内安田福井両村、葛原畑、惣領掃部助直連、三隅沙弥信性(兼
582	薩藩旧記24所収	1354007028	文和3年7月28日	足利義詮御教書写	『南北朝遺文・中西国』3-2627		中国
583	九条家文書	1354008009	正平9年8月9日	土屋秀遠請文	『南北朝遺文・中西国』3-2630	出雲	出雲国、法吉庄、末次庄、土屋五郎左衛門尉秀遠
584	出雲雲樹寺文書	1354008013	(正平9年)8月13日	惣持寺韶碩書状	『南北朝遺文・中西国』3-2631	出雲	雲樹寺方丈
585	周防吉川家文書	1354008013	正平9年8月13日	足利直冬御教書	『南北朝遺文・中西国』3-2632	石見	石見国、吉河(吉川)次郎三郎(経兼)
586	九条家文書	1354008023	正平9年8月23日	松田秀貞請文	『南北朝遺文・中西国』3-2637	出雲	出雲国、法喜庄、末次庄、大社、松田駿河守秀貞
587	九条家文書	1354008025	正平9年8月25日	松田秀貞請文	『南北朝遺文・中西国』3-2638	出雲	出雲国、法喜庄、末次庄、佐々木前伊予守秀貞
588	肥後細川家文書	1354008025	文和3年8月25日	足利義詮軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』3-2639	出雲-石見-隠岐	中国
589	忌部総社大宮神宮寺秘事記	1354009001	正平9年9月1日	山名時氏寄進状写	『南北朝遺文・中西国』3-2643	出雲	出雲国忌部郷中大成村、神宮寺、前伊豆守(山名時氏)
590	周防吉川家文書	1354009002	正平9年9月2日	足利直冬軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』3-2644	石見	吉河(吉川)次郎三郎(経兼)
591	周防吉川家文書	1354009002	正平9年9月2日	足利直冬軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』3-2645	石見	永安太郎左衛門尉
592	出雲北島文書	1354009010	正平9年9月10日	足利直冬感状	『南北朝遺文・中西国』3-2646	出雲	出雲国、北嶋神六(貞孝)
593	肥後佐方文書	1354009017	正平9年9月17日	佐々木秀貞挙状	『南北朝遺文・中西国』3-2648	出雲	須和部(諏訪部)彦五郎重信、三刀屋郷内伊賀屋村、(佐々木)前伊予守秀貞
594	鈴鹿太郎氏所蔵朝山文	1354009026	文和3年9月26日	貞景預ヶ状	『南北朝遺文・中西国』3-2652	出雲	多禰郷、朝山安芸守
595	八坂神社文書	1354009026	正平9年9月26日	足利直冬御教書	『南北朝遺文・中西国』3-2653	出雲	出雲国安来
596	出雲神門寺文書	1354010002	文和3年10月2日	足利義詮袖判寄進状	『南北朝遺文・中西国』3-2655	出雲	出雲国岡本保、神門寺
597	周防佐々木家文書	1354010014	文和3年10月14日	足利尊氏充行状案	『南北朝遺文・中西国』3-2660	出雲	佐々木近江守秀綱、出雲国安来庄
598	長門中川四郎氏所蔵文書	1354010019	正平9年10月19日	佐波実連譲状	『南北朝遺文・中西国』3-2665	石見	(佐波)善四郎常連、石見国佐波郷、くほ(久保)村、お原(小原)村、(佐波)隼人正実連
599	出雲朝山系図勘記	1354010023	文和3年10月23日	足利義詮充行状写	『南北朝遺文・中西国』3-2667	出雲	朝山安芸守義景、出雲国安田庄、長田東郷、朝山郷
600	出雲朝山系図勘記	1354010023	文和3年10月23日	足利義詮充行状写	『南北朝遺文・中西国』3-2668	出雲	朝山彦八郎義—(元)、出雲国俊広(俊弘)庄
601	出雲朝山系図勘記	1354010023	文和3年10月23日	足利義詮充行状写	『南北朝遺文・中西国』3-2669	出雲	朝山孫次郎貞景、出雲国俊広(俊弘)庄
602	諸家文書纂所収三刀屋文書	1354011004	正平9年11月4日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2678	出雲	出雲国野老原、須和部(諏訪部)四郎五郎(来行)
603	石見岡本家文書	1354012025	正平9年12月25日	三隅重兼充行状写	『南北朝遺文・中西国』3-2690	石見	石見国黒河三宮、(三隅)重兼、神主九郎兵衛尉
604	出雲千家文書	1355001011	正平10年1月11日	小野清政起請文	『南北朝遺文・中西国』3-2699	出雲	政とも、ミさき(御崎)、国さう(国造)、きつき大明神、三崎十らせち(羅刹)、(小野)清政
605	長門須佐安富文書	1355001016	正平10年3月16日	沙弥道元譲状	『南北朝遺文・中西国』3-2717	石見	石見国長野庄安富郷、祖母連阿、彦三郎兼幸法名道元、助九郎直世、大中蔵、湯屋谷梁瀬、金地古河、虫

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
606	東寺蔵南狩遺文4	1355001029	正平10年1月29日	足利直冬願文写	『南北朝遺文・中西国』3-2704	出雲~石見~隠岐	山陰
607	出雲鰐淵寺文書	1355003010	文和4年3月10日	山名氏冬安堵状	『南北朝遺文・中西国』3-2713	出雲	若槻小法師丸、右衛門尉(山名氏冬)
608	出雲鰐淵寺文書	1355003099	正平10年3月日	鰐淵寺大衆条々連署起請文案	『南北朝遺文・中西国』3-2722	出雲	鰐淵寺、本堂、常行堂、塔婆、宝崛大社、温室、政所、智春上人、権大僧都隆静、月蔵房法印御房宗舜、鰐淵寺南北長吏之御房、南北両院、大檀那高岡禅尼念智、泰覚彦孫高岡金吾、寺中大門、坂本大路、東西別所、当山鎮守金剛蔵王権現、大社大明神、(以下連署者氏名)阿闍梨澄成、権律師宗任、長吏権律師源円、権律師覚鎮、法眼和尚位唯景、性円大徳、権律師重恵、榮雲大徳、直澄大徳、長吏権少僧都澄尭、有算大徳、澄弁大徳、阿闍梨榮印、学頭大法師円有、湛秀大徳、阿闍梨頼有、考増大徳、阿闍梨成俊、堅有大徳、阿闍梨円性、玄秀大徳、円快大徳、忠円大徳、綱政大徳、阿闍梨有海、宗円大徳、別当権律師高円、阿闍梨盛円、権律師維舜、広心大徳、良俊大徳、榮尊大徳、性鎮大徳、範景大徳、重雅大徳、経鎮大徳、貞重大徳、円範大徳、正順大徳、快円大徳、宗舜大徳、円詮大徳、有善大徳、重賢大徳、貞俊大徳、有俊大徳、賢俊大徳、宗兼大徳、維円大徳、良鎮大徳、寛円大徳、有珍大徳、重詮大徳、重円大徳、義円大徳、頼鎮大徳、円順大徳、清円大徳、慶俊大徳、円喜大徳、頼村大徳、維鎮大徳、円俊大徳、貞鎮大徳、澄村大徳、宗盛大徳、泰有大徳、重印大徳、行澄大徳、円印大徳、宗俊大徳、円鎮大徳、澄有大徳、円信大徳、綱円大徳、榮鎮大徳、高有大徳、有円大徳、維玄大徳、時俊大徳、永鎮大徳、寛俊大徳、景尊大徳、重心大徳、長舜大徳、慶應大徳、高鎮大徳、財俊大徳、祐鎮大徳、尭蓮、碩論、菊陳、観密、楽万、鏡円、乗楽、円勝、知法、得熊〔能カ〕、善力、万徳、能真、大谷、得一、西得、得妙、円実、尭得、妙善、万福、大妙、了達、智法、随万、得力、現当、随円、得行、浄行、福万、定蔵、十行、北政所竹瓦〔尾カ〕、円尋、竹本房
609	出雲揖屋神社文書	1355006007	正平10年6月7日	某揖屋社別火職補任状	『南北朝遺文・中西国』3-2735	出雲	揖屋社、大宅綱澄、沙弥道宣
610	永田秘録所収内田家文	1355009018	(正平10カ)9月18日	仁科盛宗軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2763	石見	石見国、三隅、誉田、内田三郎
611	長門益田家文書52	1355010005	正平10年10月5日	足利直冬感状	『南北朝遺文・中西国』3-2771	石見	石見国、高津城、口〔岩カ〕田彦三郎
612	周防吉川家文書	1355010005	正平10年10月5日	足利直冬感状	『南北朝遺文・中西国』3-2772	石見	石見国、高津城、吉河(吉川)次郎左衛門尉(光経)、(折封ウハ書)「吉川三郎左衛門尉」
613	周防吉川家文書	1355010005	正平10年10月5日	足利直冬感状	『南北朝遺文・中西国』3-2773	石見	石見国、高津城、永安太郎左衛門尉
614	周防吉川家文書	1355010005	正平10年10月5日	足利直冬感状	『南北朝遺文・中西国』3-2774	石見	石見国、高津城、永安三郎
615	萩藩閥閲録121-4	1355010005	正平10年10月5日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2775	石見	石見国、高津城、内六郎太郎(周布兼成)
616	萩藩閥閲録121-4	1355010007	正平10年10月7日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2776	石見	石見国、高津城、内六郎太郎
617	出雲北島文書	1355012001	文和4年12月1日	後光厳天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』3-2782	出雲	杵築大社国造(貞孝)

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
618	出雲忌部大宮濫觴記抄	1355012021	正平10年12月21日	蔵人平某奉口宣案写	『南北朝遺文・中西国』3-2784	出雲	（忌部神社）、左衛門尉神時実
619	出雲鰐淵寺文書	1356002006	延文元年2月6日	佐々木導誉書下	『南北朝遺文・中西国』3-2797	出雲	出雲国漆治郷、円宗院菊童子、沙弥（佐々木導誉）、吉田肥前房（厳覚）
620	永田秘録所収内田家文	1356002006	正平11年2月6日	足利直冬軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2798	石見	内田三郎
621	永田秘録所収内田家文	1356003004	正平11年3月４日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2806	石見	石見国、内田三郎
622	永田秘録所収内田家文	1356004029	正平11年4月29日	足利直冬軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2813	石見	内田左衛門三郎
623	出雲朝山系図勘記	1356006026	延文元年6月26日	足利義詮軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-2818	出雲	中国、朝山安芸守
624	薩藩旧記25所収市来崎文書	1356007010	延文元年7月10日	足利尊氏御教書写	『南北朝遺文・中西国』3-2820	出雲-石見-隠岐	中国
625	永田秘録所収内田家文	1356010006	正平11年10月6日	修理権大夫某感状写	『南北朝遺文・中西国』3-2840	石見	石州温泉城、修理権大夫（直信）、内田左衛門三郎
626	出雲北島文書	1356010022	正平11年10月22日	杵築大社遷宮注進目録	『南北朝遺文・中西国』3-2851	出雲	国造兼神主兼忠、国造兼神主宗孝、国造兼神主孝房、国造兼神主政孝、国造兼神主義孝、国造兼神主孝時
627	石見岡本文書	1356012005	正平11年12月5日	足利直冬充行状	『南北朝遺文・中西国』3-2859	石見	黒河大明神
628	出雲北島文書	1357001099	正平12年1月日	国造出雲貞孝申状案	『南北朝遺文・中西国』3-2871	出雲	出雲国造兼杵築大社神主出雲貞孝、舎兄（出雲）孝宗、吉田肥前房厳覚（秀仲）、安来津
629	出雲千家文書	1357005005	正平12年5月5日	小野清政起請文	『南北朝遺文・中西国』3-2890	出雲	御りやう（御領）のうれう（宇龍）、九郎兵へ、身の□へおうあミ、きつき（杵築）、みさき（御崎）、くろた（黒田）、下人十郎ひやうへ、やない御ふち、（小野）清政
630	諸家文書纂所収三刀屋文書	1357005013	正平12年5月13日	某官途吹挙状写	『南北朝遺文・中西国』3-2891	出雲	左衛門大夫源（諏訪部）扶行
631	出雲千家文書	1357005099	正平12年5月日	沙弥某書下案	『南北朝遺文・中西国』3-2894	出雲	杵築大社、黒田浦、国造、左衛門尉
632	出雲鰐淵寺文書	1357006008	正平12年6月8日	後村上天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』3-2897	出雲	出雲国三所郷、鰐淵寺長吏頼源僧都房
633	出雲北島家文書	1357006017	正平12年6月17日	後村上天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』3-2900	出雲	杵築大社、但馬守（北島貞孝）
634	萩藩閥閲録121-1	1357007013	正平12年7月13日	山名義理充行状写	『南北朝遺文・中西国』3-2907	石見	石見国白上、小坂孫四郎、周布因幡守（兼氏）
635	福井県敦賀市色ヶ浜本隆寺蔵	1357007099	正平12年7月13日	鰐口銘	『南北朝遺文・中西国』3-2914	隠岐	隠州村庄八王寺
636	萩藩閥閲録43	1357008015	延文2年8月15日	蔵人藤原伊実奉口宣案写	『南北朝遺文・中西国』3-2921	石見	富永出羽実祐
637	出雲北島文書	1357009018	（正平12年）9月18日	後村上天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』3-2930	出雲	杵築大社、国造、貞孝、出雲国守護
638	出雲北島文書	1357009018	正平12年9月18日	後村上天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』3-2931	出雲	杵築大社、北島六郎（貞孝）
639	出雲雲樹寺文書	1357011007	（延文2年）11月7日	光厳上皇宸翰御消息	『南北朝遺文・中西国』3-2944	出雲	雲樹寺
640	周防吉川家文書	1358003002	正平13年3月2日	蔵人藤原経高奉口宣案	『南北朝遺文・中西国』3-2956	石見	藤原（吉川）経見
641	長門中川四郎所有文書	1358003012	正平13年3月12日	山名師義預ヶ状	『南北朝遺文・中西国』3-2959	出雲	出雲国阿賀那（赤穴）庄、右衛門佐（山名師義）、佐波隼人正（実連）
642	周防吉川家文書	1358005013	正平13年5月13日	蔵人藤原経高奉口宣案	『南北朝遺文・中西国』3-2970	石見	左衛門少尉藤原（吉川）経兼
643	周防久利文書	1358006013	正平13年6月13日	大路谷某軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』3-2971	石見	久利左衛門三郎
644	石見岡本家文書	1358011025	正平13年11月25日	太郎三郎兵譲状	『南北朝遺文・中西国』3-2985	石見	やないかつほ、くろかの太郎三郎兵、かわちのまつほうし （岡本家は石見国三宮神主家）
645	出雲千家文書	1358012021	正平13年12月21日	後村上天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』3-2992	出雲	杵築千家五郎（孝宗）
646	出雲千家文書千家所蔵古文書写	1359002008	正平14年2月8日	揖屋庄惣田数注文写	『南北朝遺文・中西国』3-2997	出雲	【手偏に音】〔揖〕屋之庄、大庭聖林寺

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
647	萩藩閥閲録121-1	1359002012	延文4年2月12日	足利義詮御教書写	『南北朝遺文・中西国』3-2998	石見	周布因幡守(兼氏)
648	萩藩閥閲録121-1	1359002012	延文4年2月12日	足利義詮御教書写	『南北朝遺文・中西国』3-2999	石見	周布因幡権守
649	島根県安来市清水町清水寺	1359002099	正平14年2月日	清水寺板碑刻銘	『南北朝遺文・中西国』3-3000	出雲	法円、禅尼
650	萩藩閥閲録121-1	1359003012	正平14年3月12日	足利直冬預ヶ状	『南北朝遺文・中西国』3-3003	石見	石見国白上郷、周布因幡守(兼氏)
651	永田秘録所収石見内田家文書	1359003027	正平14年3月27日	足利直冬推挙状写	『南北朝遺文・中西国』3-3007	石見	内田三郎左衛門尉
652	島根県能義郡伯太町井尻一乗寺	1359003099	正平14年3月	五輪石塔銘	『南北朝遺文・中西国』3-3008	出雲	(出雲国井尻一乗寺に所在する五輪塔刻銘)
653	島根県安来市清水町清水寺蔵	1359004013	(正平14年)4月13日	石造地蔵菩薩刻銘	『南北朝遺文・中西国』3-3011	出雲	(出雲国清水寺に所在する地蔵刻銘)
654	長門益田家文書5	1359005002	正平14年5月2日	足利直冬御教書	『南北朝遺文・中西国』3-3016	石見	石見国、益田越中守(兼見カ)
655	永田秘録所収石見内田家文書	1359005003	正平14年5月3日	足利直冬安堵状写	『南北朝遺文・中西国』3-3017	石見	内田肥前権守(致行)
656	長門益田家文書82	1359005003	正平14年5月3日	中務大輔某預ヶ状	『南北朝遺文・中西国』3-3018	出雲-石見	出雲国完道〔宍道〕郷南方、成田七郎左衛門尉、(石見益田氏)
657	石見仁井屋文書	1359005016	延文4年5月16日	右馬頭某軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』3-3019	石見	津野(都野)上村二郎五郎
658	萩藩閥閲録121-1	1359006003	正平14年6月3日	足利直冬安堵状写	『南北朝遺文・中西国』3-3020	石見	周布因幡守(兼氏)、妻藤原氏女千福、石見国小石見郷、安田・福井両村、葛原畑、(三隅)掃部助直連
659	長門益田家文書82	1359008021	延文4年8月21日	荒川詮頼奉書	『南北朝遺文・中西国』3-3026	石見	遠江守(荒川詮頼)、田村孫四郎入道
660	出雲迎接寺文書	1359010028	正平14年10月28日	前筑前守某安堵状	『南北朝遺文・中西国』3-3037	出雲	出雲国平浜別宮、下見谷、宝光寺、大田
661	萩藩閥閲録121-4	1359012005	延文4年12月5日	細川頼之感状写	『南北朝遺文・中西国』3-3043	石見	井尻又次郎
662	出雲大社諸家所蔵古文書平岡家	1360002015	正平15年2月15日	国造出雲孝宗請文	『南北朝遺文・中西国』3-3050	出雲	宇賀郡内日久間、故検校高孝、高野九郎、国造(出雲)孝宗、平岡彦三郎
663	萩藩閥閲録121-1	1360006018	正平15年6月18日	足利直冬御教書写	『南北朝遺文・中西国』3-3066	石見	石見国周布郷、周布因幡守(兼氏)
664	石見原屋家文書	1360008017	正平15年8月17日	宇地兼里譲状	『南北朝遺文・中西国』3-3080	石見	うちのむら(宇地村)、宇地兼里、しそく(宇地)ひこ三郎かねなか(兼永)
665	石見岡本文書	1361002009	正平16年2月9日	さいあみ渡状	『南北朝遺文・中西国』4-3098	石見	二郎五郎、さいあみ
666	出雲雲樹寺文書	1361002099	正平16年2月日	孤峯覚明法語	『南北朝遺文・中西国』4-3099	出雲	(雲樹寺)、孤峯覚明
667	萩藩閥閲録121-4	1361003011	正平16年3月11日	足利直冬安堵状	『南北朝遺文・中西国』4-3100	石見	石見国久佐郷、波佐、鳥居小五郎(兼元)
668	出雲鰐淵寺文書	1361011006	正平16年11月6日	足利直冬御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3128	出雲	鰐淵寺
669	萩藩閥閲録43	1361011020	(康安元年)11月20日	治部少輔遵行状写	『南北朝遺文・中西国』4-3133	石見	九郎左衛門尉光明、出羽、出羽弾正左衛門尉実祐、出羽左衛門尉(祐忠)、治部少輔(荒川詮頼カ)
670	永田秘録所収石見内田家文書	1361011025	正平16年11月25日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』4-3134	石見	石州高津、内田肥前守(致行カ)
671	永田秘録所収石見内田家文書	1362001010	正平17年1月10日	足利直冬軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』4-3143	石見	内田肥前守(致行カ)
672	石見俣賀文書	1362001026	正平17年1月26日	蔵人頭源具氏奉口宣案	『南北朝遺文・中西国』4-3147	石見	兵庫允藤原(俣賀)致弘
673	出雲大社諸社家所蔵古文書写富家	1362003008	正平17年3月8日	前近江守冬貞寄進状写	『南北朝遺文・中西国』4-3151	出雲	出雲国塩冶郷八幡宮、神東
674	西園寺文書	1362006027	康安2年6月27日	後光厳天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』4-3164	石見	石見国大家庄内福光稲富両名
675	永田秘録所収石見内田家文書	1362012017	正平17年12月17日	足利直冬感状写	『南北朝遺文・中西国』4-3191	石見	内田肥前守代
676	萩藩閥閲録121-1	1362012017	正平17年12月17日	足利直冬充行状写	『南北朝遺文・中西国』4-3192	石見	石見国白上郷、周布因幡守(兼氏)

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
677	下野茂木文書	1362012023	貞治元年12月23日	足利基氏軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』4-3193	出雲~石見~隠岐	中国
678	長門須佐安富文書	1362012030	正平17日12月晦日	某充行状案	『南北朝遺文・中西国』4-3196	石見	石見国甬〔角カ〕井村、安富彦三郎入道（兼幸・道元）、三隅石見判官
679	萩藩閥閲録43	1363001020	貞治2年1月20日	荒川詮頼渡状写	『南北朝遺文・中西国』4-3200	石見	君谷四郎左衛門尉祐忠、石州安須奈庄、治部少輔（荒川詮頼）
680	尊経閣文庫所蔵文書	1363001917	貞治2年閏1月17日	足利義詮軍勢催促状	『南北朝遺文・中西国』4-3205	出雲~石見~隠岐	中国
681	長門須佐安富文書	1363002018	正平18年2月18日	安富道元兼幸譲状	『南北朝遺文・中西国』4-3212	石見	石見国長野庄安富郷、祖母連阿、彦三郎兼幸法名道元、子息九郎入道智弘、大中蔵、湯屋谷、金地、虫追
682	出雲揖屋神社文書	1363002021	正平18年2月21日	某袖判証文	『南北朝遺文・中西国』4-3215	出雲	揖屋、小田中務
683	石見益田家文書76	1363007025	貞治2年7月25日	益田兼見置文	『南北朝遺文・中西国』4-3238	石見	まつわう、ちやうます、まつー、（益田）兼見
684	南狩遺文4海部郡由良庄門前村興国寺蔵	1363008003	正平18年8月3日	後村上天皇綸旨写	『南北朝遺文・中西国』4-3239	出雲	出雲国楯縫南北庄、雲樹禅寺、知訥（古剱）上人
685	萩藩閥閲録43	1363012014	貞治2年12月14日	足利義詮御教書写	『南北朝遺文・中西国』4-3259	石見	君谷弾正左衛門尉実祐、石州出羽上下郷、荒川弾正少輔（詮頼）
686	長門毛利家文書	1363999999	（貞治2年カ）月日	氏名未詳渡状写	『南北朝遺文・中西国』4-3201	石見	君谷四郎左衛門尉祐忠、石州安須奈郷 （年月日を欠くが本文中に「任貞治二年正月十一日御奉書之旨」とあるので、しばらく貞治2年に掲げる）
687	萩藩閥閲録43	1364001011	貞治3年1月11日	荒河詮頼安堵状写	『南北朝遺文・中西国』4-3265	石見	君谷四郎左衛門尉祐忠、石州君谷村内小谷村、祖父（君谷）実清、（君谷）弾正左衛門入道々祐、祐忠親父、出羽城、弾正少弼（荒河詮頼）
688	周防吉川家文書	1364002001	正平19年2月1日	足利直冬充行状	『南北朝遺文・中西国』4-3267	出雲	出雲国比伊郷、伊北一族、吉川駿河守（経秋）
689	長門益田家文書5	1364002001	正平19年2月1日	足利直冬充行状	『南北朝遺文・中西国』4-3268		（長門益田家文書）
690	萩藩閥閲録121-4	1364002001	正平19年2月1日	足利直冬充行状	『南北朝遺文・中西国』4-3269	石見	内掃部助（周布氏カ）
691	周防吉川家文書	1364004016	正平19年4月16日	足利直冬御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3285	石見	石見国永安別符、益田庄納田郷内小弥富、須津（寸津）、美作（美磨博）、庄窪（庄久保）、吉河（吉川）駿河
692	周防吉川家文書	1364004016	正平19年4月16日	足利直冬御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3286	石見	吉河（吉川）駿河守（経兼）
693	出雲千家家文書	1364005010	貞治3年5月10日	古志義綱寄進状	『南北朝遺文・中西国』4-3289	出雲	杵築大社、出雲国神門郡塩冶郷、国造孝宗、遠江守源朝臣（古志）義綱
694	萩藩閥閲録43	1364007001	貞治3年7月1日	荒河詮頼安堵状写	『南北朝遺文・中西国』4-3301	石見	君谷弾正左衛門尉実祐、（君谷）四郎左衛門尉祐忠、出羽上下郷、弾正少弼（荒河詮頼）
695	出雲鰐淵寺文書	1364007013	貞治3年7月13日	重円譲状	『南北朝遺文・中西国』4-3307	出雲	（鰐淵寺文書）、重円
696	永田秘録所収内田家文	1364008013	貞治3年8月13日	直信書下写	『南北朝遺文・中西国』4-3312	石見	直信、宛所を欠くが石見内田氏宛カ
697	萩藩閥閲録121-4	1364008021	貞治3年8月21日	足利義詮軍勢催促状写	『南北朝遺文・中西国』4-3315	石見	周布因幡守（兼氏）
698	尊経閣文庫所蔵東福寺文書	1364011015	貞治3年11月15日	室町幕府引付頭人奉書	『南北朝遺文・中西国』4-3334	石見	石見国都野郷、波禰五郎左衛門尉、荒川参河前司（頼直）
699	讃岐三木家大野文書	1364011030	貞治3年11月30日	足利義詮安堵状	『南北朝遺文・中西国』4-3336	出雲	大野次郎左衛門尉（光盛）
700	萩藩閥閲録121-4	1364012003	貞治3年12月3日	山名義理安堵状写	『南北朝遺文・中西国』4-3341	石見	弾正少弼（山名義理カ、荒河詮頼カ）、井尻八郎
701	永田秘録所収内田家文	1365001026	貞治4年1月26日	荒河詮頼安堵状写	『南北朝遺文・中西国』4-3349	石見	弾正少弼（荒河詮頼）、内田肥前守
702	出雲秋上文書	1365002002	貞治4年2月2日	足利義詮御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3352	出雲	神魂神社
703	春日神社文書	1365002005	貞治4年□□□□〔2月5日〕	足利義詮御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3359	出雲	出雲国守護
704	春日神社文書	1365002005	貞治4年2月5日	足利義詮御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3360	隠岐	隠岐国、佐々木弾正少弼（直貞）
705	出雲秋上文書	1365002008	貞治4年2月8日	足利義詮御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3368	出雲	社官秋上
706	出雲安国寺文書	1365002008	貞治4年2月8日	足利義詮御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3369	出雲	安国寺

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
707	萩藩閥閲録121-1	1365002017	貞治4年2月17日	山名義理安堵状	『南北朝遺文・中西国』4-3370	石見	石見国周布郷、白上郷、弾正少弼(山名義理)、周布因幡守(兼氏)
708	周防吉川家文書	1365003006	正平20年3月6日	足利直冬充行状	『南北朝遺文・中西国』4-3375	石見	吉河(吉川)次郎左衛門尉(光経)
709	柳原家記録77	1365003030	貞治4年3月30日	後光厳天皇綸旨写	『南北朝遺文・中西国』4-3382	出雲	大原大竹庄(出雲大原郡カ)
710	出雲家原文書	1365004005	貞治4年4月5日	足利義詮安堵状	『南北朝遺文・中西国』4-3383	出雲	大野八郎入道(頼成)
711	石見俣賀文書	1365004028	貞治4年4月28日	守護使長経渡状	『南北朝遺文・中西国』4-3389	石見	石見国長野庄豊田郷内俣賀村、内田左衛門三郎、守護使長経
712	石見俣賀文書	1365004029	貞治4年4月29日	守護使貞遠渡状	『南北朝遺文・中西国』4-3390	石見	石見国長野庄豊田郷横田下村内俣賀、内田左衛門三郎、守護使貞遠
713	萩藩閥閲録121-4	1365005006	貞治4年5月6日	山名義理奉書写	『南北朝遺文・中西国』4-3392	石見	高野院主伊予房、弾正少弼(山名義理カ)、井尻八郎
714	出雲秋上文書	1365005007	貞治4年5月7日	足利義詮御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3393	出雲	神魂社
715	石見俣賀文書	1365008010	貞治4年8月10日	藤原致弘譲状	『南北朝遺文・中西国』4-3411	石見	石見国長野庄豊田郷内俣賀村、横田、道祖丸、熊次郎、藤原(内田)致弘
716	出雲安国寺文書	1365010010	貞治4年10月10日	佐々木高氏書下	『南北朝遺文・中西国』4-3428	出雲	出雲国安国寺、大野庄、薩摩八郎、大野次郎左衛門尉頼成、豊島左衛門尉、(佐々木高氏花押)
717	出雲北島家文書	1365010025	貞治4年10月25日	出雲時孝譲状	『南北朝遺文・中西国』4-3433	出雲	出雲国大庭・田尻保、平内名、神魂、(出雲)時孝、杵築孫二郎殿秀孝
718	出雲北島家文書	1365010099	貞治4年10月日	出雲国造北島資孝代時国支状案	『南北朝遺文・中西国』4-3431	出雲	出雲国造、杵築大社、(北島)資孝、時国、(千家)五郎孝宗、(出雲)孝時(孝宗親父)、吉田肥前房厳覚、神魂社、十二郷
719	出雲北島家文書	1365999999	年月日未詳(貞治4年頃カ)	国造出雲氏系図	『南北朝遺文・中西国』4-3432	出雲	泰孝、覚口〔日カ〕、孝時、妙善、弘乗、清孝、(千家)孝宗、貞孝、(北島)資孝 (年月日未詳だが南北朝遺文の年次比定に従い、しばらく貞治4年・正平20年に掲げ
720	出雲鰐淵寺文書	1366003021	貞治5年3月21日	権少都頼源送進文書目録	『南北朝遺文・中西国』4-3461	出雲一隠岐	鰐淵寺、隠岐国国分寺、三所郷、宇賀庄、杵築木工助景春、伯耆美作、判官(高岡)高重、富田美作守秀貞、阿井郷、頼源、伊福院衛門督律師、法橋範兼
721	長門益田家文書76	1366005006	貞治5年5月6日	益田兼見三隅殿文書請取状	『南北朝遺文・中西国』4-3466	石見	ミすみ(三隅)、さくらい(桜井)、(益田)兼見、しやうゑんの御房
722	出雲雲樹寺文書	1366005020	貞治5年5月20日	沙弥某寄進状	『南北朝遺文・中西国』4-3468	出雲	出雲国宇賀庄、雲樹寺
723	周防久利長阿軍忠状	1366008099	貞治5年8月日	久利長阿軍忠状	『南北朝遺文・中西国』4-3484	石見	久利大郎左衛門入道長阿、石州青龍寺、福屋大石城
724	萩藩閥閲録121-4	1366008099	貞治5年8月日	来原遠盛軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』4-3485	石見	石見国来原新左衛門尉遠盛、金岐城
725	長門益田家文書6	1366009003	貞治5年9月3日	益田兼見軍忠状	『南北朝遺文・中西国』4-3489	石見	益田越中守兼見、三隅城、椛見嶽、大寺、青龍寺、有福城、福屋大石城、中村左衛門五郎、入道弥九郎、重吉又三郎久佐金木(金城)城
726	山城水無瀬神宮文書	1366011014	貞治5年11月14日	室町幕府引付頭人奉書案	『南北朝遺文・中西国』4-3504	出雲	出雲国加賀庄、持田村、佐渡大夫判官入道(導誉)
727	長門益田家文書	1366011018	貞治5年11月18日	掃部助高弘吹挙状	『南北朝遺文・中西国』4-3505	出雲	益田越中守兼見、益田本郷、東北両山道、弥富名、伊甘郷、宅乃別符、掃部助高弘
728	山城水無瀬神宮文書	1366012005	貞治5年12月5日	佐渡判官入道遵行状案	『南北朝遺文・中西国』4-3510	出雲	出雲国加賀庄、持田村、佐渡判官入道、(導誉)、隠岐入道(佐々木清氏)
729	周防吉川家文書	1366012008	正平21年12月8日	足利直冬充行状	『南北朝遺文・中西国』4-3511	石見	石見国内田肥前守、吉川讃岐守
730	長門佐々木文書	1366080010	貞治5年8月10日	足利義詮補任状案	『南北朝遺文・中西国』4-3477	出雲	出雲国守護職、佐々木大夫判官入道(導誉)
731	長門佐々木文書	1366080010	貞治5年8月10日	足利義詮御教書案	『南北朝遺文・中西国』4-3478	出雲	佐渡大夫判官入道(佐々木導誉)
732	石見俣賀文書	1366080019	貞治5年8月19日	守護使上使連署渡状	『南北朝遺文・中西国』4-3479	石見	石見国長野庄豊田郷内俣賀村、吉田郷、内田左衛門三郎、沙弥道源、隼人佑忠基

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
733	出雲迎接寺文書	1367003005	貞治6年3月5日	高真寄進状	『南北朝遺文・中西国』4-3523	出雲	出雲国平浜別宮、下見、槻木、宝光寺、鏡智、高真
734	山城水無瀬神宮文書	1367003021	貞治6年3月21日	高秀書状写	『南北朝遺文・中西国』4-3527	出雲	加賀庄、持田村、高秀、佐々木隠岐入道(清氏)
735	山城水無瀬神宮文書	1367005021	貞治6年5月21日	守護代佐々木隠岐入道施行状写	『南北朝遺文・中西国』4-3536	出雲	出雲国加賀庄、持田村、隠岐入道(佐々木清氏)、吉富新左衛門尉
736	出雲千家文書	1367005025	貞治6年5月25日	足利義詮御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3537	出雲	出雲杵築大社、佐渡大夫判官入道(佐々木導誉)
737	出雲千家文書	1367005025	貞治6年5月25日	足利義詮御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3538	出雲	出雲国杵築社、出雲国造(孝宗)
738	出雲迎接寺文書	1367006001	貞治6年6月1日	寿阿寄進状	『南北朝遺文・中西国』4-3539	出雲	出雲国〔平脱力〕浜八幡宮、観阿、俊泰、光頼、宝光寺、寿阿
739	長門益田家文書6	1367010099	貞治6年10月日	某軍忠状	『南北朝遺文・中西国』4-3565	石見	(益田家文書所収文書)
740	服部玄三氏所蔵文書	1367011004	貞治6年11月4日	足利義詮御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3568	出雲	出雲国飯田養賀村、佐渡判官大夫入道(佐々木導誉)
741	長門益田家文書1	1368004005	応安元年4月5日	道幸書状	『南北朝遺文・中西国』4-3592	石見	益田
742	隠岐億岐家文書	1368004015	貞和7年4月15日	左兵衛尉義親奉書案	『南北朝遺文・中西国』4-3593	隠岐	隠岐国惣国造職、藤原朝臣義介、左兵衛尉義親
743	長門益田家文書1	1368005002	応安元年5月2日	益田祥兼兼見添書	『南北朝遺文・中西国』4-3595	石見	沙弥祥兼(益田兼見)
744	出雲三木家文書	1368005099	応安元年5月日	佐々木高秀安堵状写	『南北朝遺文・中西国』4-3598	出雲	兄市郎左衛門、三木次郎左衛門、(佐々木)高秀
745	出雲大社社家所蔵古文書写平岡家	1368006003	貞治7年6月3日	国造千家孝宗安堵状写	『南北朝遺文・中西国』4-3599	出雲	(杵築大社)国造(千家孝宗)
746	島根県史7所収	1368006908	(応安元年カ)閏6月8日	某御教書写	『南北朝遺文・中西国』4-3608	出雲	杵築大社神主
747	永田秘録所収内田家文	1368008028	応安元年8月28日	大内道階弘世預ヶ状	『南北朝遺文・中西国』4-3636	石見	工藤肥前入道(石見内田氏の関係者カ)
748	出雲千家文書	1368009009	応安元年9月9日	室町幕府御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3639	出雲	出雲国杵築大社、佐々木治部少輔(京極高秀)
749	出雲北島文書	1368009009	応安元年9月9日	室町幕府御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3640	出雲	出雲国杵築大社、佐々木治部少輔(京極高秀)、当社神主(北島資孝)
750	山城二尊院文書	1368009029	応安元年9月29日	佐々木高秀施行状	『南北朝遺文・中西国』4-3645	出雲	出雲国淀新庄、中沢参河入道、(佐々木高秀花押)、隠岐入道(佐々木清氏・自勝)
751	萩藩閥閲録121-4	1368009099	応安元年9月日	来原遠盛軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』4-3646	石見	石見国来原新左衛門尉遠盛、出羽上下
752	山城南禅寺文書	1368010017	応安元年10月17日	南禅寺造営方文書渡状	『南北朝遺文・中西国』4-3659	出雲	出雲国
753	山城二尊院文書	1368010017	応安元年10月17日	佐々木自勝清氏遵行状	『南北朝遺文・中西国』4-3660	出雲	淀新庄、沙弥自勝(佐々木清氏)、中沢参河入道、上村兵庫允、吉冨新左衛門尉
754	出雲千家文書	1368010099	応安元年10月日	杵築弘乗代高守目安案	『南北朝遺文・中西国』4-3663	出雲	杵築弘乗代高守、(北島)資孝、市庭屋敷、亡父国造孝時、一乗院(鰐淵寺)、国造、竹本坊、弘乗、愛洒丸、貞孝、清孝
755	島根県史神社資料八束郡真名井神社	1368011018	応安元年11月18日	山田勝秀大津清守連署奉書写	『南北朝遺文・中西国』4-3674	出雲	伊弉諾・伊弉冉大社、出雲、佐世与三左衛門尉
756	国代考証所引隠岐国分寺文書	1369002003	応安2年2月3日	前肥後守某寄進状写	『南北朝遺文・中西国』4-3688	隠岐	国分寺、四王寺、原田郷、前肥後守花押
757	出雲北島文書	1369002015	応安2年15日	佐々木高秀遵行状	『南北朝遺文・中西国』4-3692	出雲	出雲国杵築大社、治部少輔(佐々木高秀)、国造
758	尊経閣文庫所蔵東福寺文書	1369006022	応安2年6月22日	室町幕府御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3726	石見	石見国都野郷、左兵衛佐入道省堅(吉良満貞)
759	隠岐笠置文書	1369006024	応安2年6月24日	某充行状	『南北朝遺文・中西国』4-3727	隠岐	隠岐国美多庄
760	八坂神社記録下祇園社記続録10	1369009016	応安2年9月16日	佐々木高秀遵行状案	『南北朝遺文・中西国』4-3745	出雲	(佐々木高秀判)、出雲国林木・美談両庄、佐々木隠岐入道(清氏)
761	山城東福寺文書	1369010027	(応安2年カ)10月27日	沙弥某書状	『南北朝遺文・中西国』4-3752	石見	石州都濃郷、大内介入道(弘世)
762	千家古文書写	1369012013	応安2年12月13日	権検校出雲経孝売券写	『南北朝遺文・中西国』4-3761	出雲	大社、きつきのやのゝさかもと(杵築矢野坂本)、大は(大庭)、(出雲)経孝、きつきの孫次郎入道崇盛

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
763	出雲迎接寺文書	1370002009	応安3年2月9日	右衛門尉高資寄進状	『南北朝遺文・中西国』4-3776	出雲	宝光寺、出雲国平浜別宮、住持鏡智上人、金吾清資、元徳居士、右衛門尉高資
764	出雲雲樹寺文書	1370002014	正平25年2月14日	弧峯覚明頂相智訥賛	『南北朝遺文・中西国』4-3777	出雲	雲樹嶺(雲樹寺)、古剣智訥
765	出雲大社社家所蔵古文書写	1370008009	応安3年8月9日	国造千家孝宗書状写	『南北朝遺文・中西国』4-3803	出雲	杵築大社、国造孝宗、杵築権検校
766	長門益田家文書巻76	1370008015	応安3年8月15日	益田祥兼兼見譲状	『南北朝遺文・中西国』4-3804	石見	修理亮兼連、石見国伊甘郷内宇野村、沙弥祥兼(益田兼見)
767	出雲千家文書	1370008028	応安3年8月28日	杵築大社神官等申状	『南北朝遺文・中西国』4-3806	出雲	出雲国杵築大社、(千家)孝宗、(北島)貞孝、(北島)資孝、(出雲)孝時、(出雲)清孝、佐草六郎入道禅光、前守護代吉田肥前房厳覚、杵築大明神、沙弥導意、別火財真吉、勝部清実、出雲盛清、僧導雲、出雲孝忠、権検校出雲経孝、出雲孝氏、僧榮孝、沙弥宗訓
768	出雲宍道文書	1370011020	応安3年11月20日	室町幕府引付頭人奉書	『南北朝遺文・中西国』4-3825		(出雲宍道文書)
769	島根県史所収備中信原文書	1370011020	応安3年11月20日	室町幕府御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3826	出雲	雲州真木村、親家、信原秀朝
770	出雲平岡家文書	1370012003	応安3年12月3日	国造千家孝宗充行状	『南北朝遺文・中西国』4-3831	出雲	大庭田尻、大庭揖屋庄、北嶋、国造孝宗、杵築権検校(経孝力)
771	祇園社記続録10	1370012003	応安3年12月3日	九条経教御教書案	『南北朝遺文・中西国』4-3832	出雲	出雲国美談・林木両庄
772	出雲大社諸社家所蔵古文書平岡家	1370012003	応安3年12月3日	国造孝宗充行状写	『南北朝遺文・中西国』4-3833	出雲	三月会、大庭田尻、大庭揖屋庄、北島、国造孝末〔宗カ〕、杵築権検校(経孝力)
773	周防吉川家文書	1371003021	応安4年3月21日	吉川明阿経兼譲状案	『南北朝遺文・中西国』4-3851	石見	石見の国なかやすのへんふ(永安別符)、ますたのしやう(益田庄)、すつ(寸津)、みまさか(美磨博)、しやうのくほ(庄窪)、母あまりやうかい(尼良海)、ちやくし(嫡子)するかのかミ(駿河守)経見、しなん(次男)しゆりのすけ(修理亮)経春、三なん(三男)てんきう(典厩)丸、さい女、沙弥明阿(吉川経兼)
774	周防吉川家文書	1371003021	応安4年3月21日	吉川明阿経兼自筆譲状案	『南北朝遺文・中西国』4-3852	石見	石見国ますたのしやうのうちかわちのむら(益田庄内河内村)、くろくま女、しゆりのすけつねはる(修理亮経春)、するかのかみつねみ(駿河守経見)、沙弥明阿
775	長門益田家文書82	1371004027	応安4年4月27日	沙弥聖修奉書	『南北朝遺文・中西国』4-3862	石見	石見国、益田越中入道(兼見)
776	長門益田家文書5	1371005021	応安4年5月21日	大内氏奉行人連署奉書	『南北朝遺文・中西国』4-3865	石見	永安周防入道祥永、石見国益田庄内弥富名下村、益田越中入道(兼見)
777	長門益田家文書5	1371006024	応安4年6月24日	益田祥兼兼見請文	『南北朝遺文・中西国』4-3869	石見	永安周防入道祥永、益田庄内弥富名下村、益田左衛門太郎兼長之後家尼阿忍、、遠田村、沙弥祥兼(益田
778	出雲千家文書	1371007012	応安4年7月12日	沙弥道用寄進状	『南北朝遺文・中西国』4-3875	出雲	出雲国杵築大社、母里庄、とよおか、沙弥道用
779	出雲鰐淵寺文書	1371007025	応安4年7月25日	勝部高家寄進状	『南北朝遺文・中西国』4-3879	出雲	先孝〔考〕、定阿、鰐淵寺、左衛門尉勝部高家
780	長門益田家文書5	1371008012	応安4年8月12日	沙弥聖修請文	『南北朝遺文・中西国』4-3883	石見	石見国、益田越中入道祥兼(兼見)
781	出雲千家古文書写丙1	1371008025	応安4年8月25日	別火五郎貞吉起請文写	『南北朝遺文・中西国』4-3887	出雲	(杵築)大社、別火五郎貞吉
782	讃岐三木家大野文書	1371008099	応安4年8月日	大野貞成著到状	『南北朝遺文・中西国』4-3889	出雲	出雲国大野庄西方、大野次郎左衛門入道宗円(頼成)、子息(大野)左衛門二郎貞成、(佐々木高秀花押)
783	出雲千家文書	1371012019	応安4年12月19日	出雲孝宗譲状	『南北朝遺文・中西国』4-3909	出雲	散位出雲直国、杵築大社、供神所兄部国造兼大社惣検校出雲宿禰孝宗
784	島根県平田市河下町常光寺所蔵	1372001027	応安5年1月27日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書(1)	『南北朝遺文・中西国』4-3911	出雲	恵運

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
785	島根県平田市河下町常光寺所蔵	1372002001	応安5年2月1日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書(2)	『南北朝遺文・中西国』4-3911	出雲	雲州須佐郷、波多村地頭所新宅、慧運
786	島根県平田市河下町常光寺所蔵	1372002009	応安5年2月9日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書(3)	『南北朝遺文・中西国』4-3911	出雲	雲州須佐郷、波多村地頭所新宅、慧運
787	島根県平田市河下町常光寺所蔵	1372002029	応安5年2月29日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書(4)	『南北朝遺文・中西国』4-3911	出雲	雲州須佐郷、波多村地頭所新宅、慧運
788	萩藩閥閲録121-1	1372003001	応安5年3月1日	室町幕府御教書	『南北朝遺文・中西国』4-3914	石見	周布因幡入道(兼氏)
789	大野系図	1372004013	(応安5年カ)4月13日	細川頼有書状	『南北朝遺文・中西国』4-3952	出雲	大野十郎左衛門尉(詮直)
790	周防吉川家文書	1372006099	応安5年6月日	吉川経見軍忠状	『南北朝遺文・中西国』4-3931	石見	吉河(吉川)駿河守経見
791	石見荘厳寺文書	1372007001	応安5年7月1日	山城守仏度安堵状	『南北朝遺文・中西国』4-3932	石見	石見国三原郷四ヶ村、山城守仏度
792	萩藩閥閲録121-1	1372009099	応安5年9月日	周布士心軍忠状	『南北朝遺文・中西国』4-3945	石見	石見国周布因幡入道士心(兼氏)、子息(周布)左近将監氏連、舎弟(周布)修理亮兼義、若党長見与一兼俊、中畑五郎兵衛家房、田橋次郎右衛門尉時重、郎従左近太郎、源太郎
793	大野系図	1372011013	応安5年11月13日	細川頼有感状写	『南北朝遺文・中西国』4-3951	出雲	大野十郎左衛門尉(詮直)
794	島根県平田市河下町常	1373004007	応安6年4月7日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書	『南北朝遺文・中西国』4-3969	出雲	雲州飯石郡須佐郷波多村、本覚禅寺、恵運
795	島根県平田市河下町常光寺所蔵	1373004015	応安6年4月15日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書(6)	『南北朝遺文・中西国』4-3969	出雲	雲州飯石郡須佐郷由留間村、妙厳庵
796	島根県平田市河下町常光寺所蔵	1373007002	応安6年7月2日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書(7)	『南北朝遺文・中西国』4-3969	出雲	雲州飯石郡須佐郷由留間村、妙厳庵、恵雲〔運〕
797	出雲迎接寺文書	1373008099	応安6年8月日	氏俊寄進状	『南北朝遺文・中西国』4-3991	出雲	宝光寺、氏俊
798	出雲安国寺文書	1373010017	応安6年10月17日	佐々木高秀書下	『南北朝遺文・中西国』4-4002	出雲	出雲国安国寺、大野庄、薩摩八郎、大野次良左衛門尉頼成、(佐々木高秀花押)、五郎(佐々木氏治)
799	島根県平田市河下町常光寺所蔵	1373011011	応安6年11月2日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書(8)	『南北朝遺文・中西国』4-3969	出雲	妙厳院、恵運
800	長門益田家文書5	1373012015	応安6年12月15日	左衛門尉重氏挙状	『南北朝遺文・中西国』4-4024	石見	石見国、益田越中入道祥兼(兼見)
801	出雲安国寺文書	1373012021	応安6年12月21日	佐々木高秀書下	『南北朝遺文・中西国』4-4025	出雲	出雲国安国寺、禰宇村、禰宇又次郎、禰宇三郎次、古志新左衛門尉(佐々木高秀花押)、五郎(佐々木氏治)
802	国代考証	1374001011	応安7年1月11日	総社造営棟札写	『南北朝遺文・中西国』5-4031	隠岐	当国守護佐々木薩摩守、来海六郎左衛門尉秀重
803	出雲鰐淵寺文書	1374003009	応安7年3月9日	左衛門尉広瀬秀泰請文	『南北朝遺文・中西国』5-4037	出雲	鰐淵寺、漆治郷、左衛〔門脱力〕尉源(広瀬)秀泰
804	出雲安国寺文書	1374005004	応安7年5月4日	佐々木高秀書下	『南北朝遺文・中西国』5-4049	出雲	出雲国安国寺、大野庄、薩摩八郎、大野次郎左衛門入道宗円、(佐々木高秀花押)、五郎(佐々木氏治)
805	島根県平田市河下町常	1374005006	応安7年5月6日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書	『南北朝遺文・中西国』5-4051	出雲	出雲国波多村本覚禅寺
806	出雲安国寺文書	1374005013	応安7年5月13日	佐々木氏治遵行状	『南北朝遺文・中西国』5-4052	出雲	出雲国安国寺、大野庄、薩摩八郎、(佐々木)氏治、箕浦与一
807	長門益田家文書82	1374007028	応安7年7月28日	卜部仲光書下	『南北朝遺文・中西国』5-4064	石見	長野庄、卜部仲光
808	島根県平田市河下町常光寺所蔵	1374008001	応安7年8月1日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書(9)	『南北朝遺文・中西国』5-4051	出雲	鰐淵寺、和多坊常住、伊秩庄栗原邑、無相
809	周防興隆寺文書	1374008010	応安7年8月10日	氷上山上宮上棟御馬注文	『南北朝遺文・中西国』5-4071	石見	益田大炊助(石見益田氏力)
810	島根県安来市清井町	1374010001	応安7年10月1日	雲樹寺朝鮮鐘追銘	『南北朝遺文・中西国』5-4086	出雲	雲州瑞塔山天長雲樹興聖禅寺、宗順
811	石見万福寺文書	1374011026	応安7年11月26日	益田浄阿兼見寄進状	『南北朝遺文・中西国』5-4103	石見	万福寺、石見国益田郷、院内、佐々倉、津村名、沙弥浄阿(益田兼見)
812	島根県益田市万福寺蔵	1374011099	応安7年11月日	石見国万福寺造営棟札	『南北朝遺文・中西国』5-4104	石見	住持師阿弥陀仏、万福寺、大檀那沙弥陀仏(益田兼見)、大工右衛門尉宗遠、四郎五郎苗広

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
813	萩藩閥閲録56	1374012002	応安7年12月2日	足利義満御判御教書	『南北朝遺文・中西国』5-4106	石見	吉見淡路守
814	島根県平田市河下町常光寺所蔵	1374012026	応安7年12月26日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書（11）	『南北朝遺文・中西国』5-4051	出雲	鰐淵寺、和多坊常住
815	国代考証	1374999999	応安7年月日	国府尾八幡棟札写	『南北朝遺文・中西国』5-4114	隠岐	佐々木薩摩守、来海六郎左衛門尉秀重
816	旱霖集疎	1374999999	年月日未詳（応安7年頃カ）	淇澳菴化縁疏	『南北朝遺文・中西国』5-4099	出雲	出雲州仁田郡三沢郷淇澳菴、簸川 （年月日未詳だが南北朝遺文の年次比定に従い、しばらく応安7年・文中3年に掲げる）
817	島根県平田市河下町常光寺蔵	1375001020	応安8年1月20日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書（12）	『南北朝遺文・中西国』5-4128	出雲	沙門恵運
818	石見荘厳寺文書	1375003006	応安8年3月6日	盛光・経氏連署渡状	『南北朝遺文・中西国』5-4133	石見	石見国大家庄内四ヶ村、荘厳寺、盛光、経氏
819	島根県平田市河下町常光寺蔵	1375003009	応安8年3月9日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書（13）	『南北朝遺文・中西国』5-4128	出雲	恵運
820	出雲北島文書	1375003010	永和元年3月10日	直孝充行状	『南北朝遺文・中西国』5-4134	出雲	市目代、直孝、新四郎
821	島根県平田市河下町常光寺蔵	1375003020	応安8年3月20日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書（14）	『南北朝遺文・中西国』5-4128	出雲	雲州飯石郡須佐郷内由留間村、妙厳庵、慧運〔恵運カ〕
822	出雲千家文書	1375004099	永和元年4月日	国造北島資孝代国孝目安状	『南北朝遺文・中西国』5-4143	出雲	国造資孝、国孝、宇料津、（杵築）頼孝、前専当権守入道西光、又次郎信安、左衛門四郎、左近入道、辰法師、奥津屋津、禰宇三郎次郎、三崎検校
823	島根県平田市河下町常光寺蔵	1375005001	永和元年5月1日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書（15）	『南北朝遺文・中西国』5-4128	出雲	沙門恵運
824	島根県八束郡本庄村華蔵寺旧蔵	1375008028	永和元年8月28日	作州瑞応山金剛頂寺銅鐘銘	『南北朝遺文・中西国』5-4183	出雲	（島根県八束郡華蔵寺旧蔵につき収録）
825	島根県平田市河下町常光寺蔵	1375009005	永和元年9月5日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書（16）	『南北朝遺文・中西国』5-4128	出雲	鰐淵寺和多坊常住、雲州飯石郡須佐郷
826	長門益田家文書6	1375011020	（永和元年）11月20日	細川頼之書状	『南北朝遺文・中西国』5-4243	石見	益田孫次郎（兼見）
827	島根県平田市河下町常光寺蔵	1376002013	永和2年2月13日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書（18）	『南北朝遺文・中西国』5-4256	出雲	須佐郷波多村本覚寺、阿闍梨（尚増カ）
828	島根県平田市河下町常光寺蔵	1376002099	永和2年4月日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書（23）	『南北朝遺文・中西国』5-4256	出雲	鰐淵寺、雲州須佐郷内波多村本覚寺
829	島根県平田市河下町常光寺蔵	1376003021	永和2年3月21日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書（19）	『南北朝遺文・中西国』5-4256	出雲	須佐郷波多村本覚寺、阿闍梨尚増
830	島根県平田市河下町常光寺蔵	1376003030	永和2年3月30日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書（20）	『南北朝遺文・中西国』5-4256	出雲	雲州須佐郷波多村本覚寺、阿闍梨尚増

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
831	長門益田家文書第80軸	1376004022	永和2年4月22日	石見国益田本郷御年貢并田数目録帳	『南北朝遺文・中西国』5-4263	石見	(益田祥兼花押)、石見国益田本郷、丸毛左衛門入道、小野、志目遅奥、波多原、津村、丸□、小橋、高橋、中垣内、野坂、横野、得原、波田原大郎大夫、大谷新大夫入道、平田三郎太郎、志目遅、波田原権介、借屋三郎大夫片山井ノ尻尼、志目遅了願、波田原五郎入道、古川、波田原右馬亮、乙子、野坂橘次、波田原江渕弥藤大夫、田倉、井本猪名、医光寺、寺戸九郎三郎、大谷左衛門尉、中原、高崎、山寺、大寺、奥、木鷺、土井、針袋、宮家赤法師、藤三郎入道、左近太郎、曽阿、金吾入道、下大山今右馬允、鍛冶屋垣内朝尾、久々毛右馬允、大夫房矢田、サハリ、久々毛、大山、伏谷彦次郎入道、窪田源三郎、崇観寺、志貞御房、得原弥藤次入道、堀池、(伏谷)弥七、唐河、小屻下、金山出田、上田、丸竹、波田原西運、別当御房、民部房、左近大夫、妙観房、大浜、浦大谷浦、(寺戸)雅楽助宣武、主計允兼生
832	長門益田家文書第81軸	1376004022	永和2年4月22日	石見国益田本郷御年貢并目録帳	『南北朝遺文・中西国』5-4264	石見	(益田祥兼花押)、石見国益田本郷、得原、波田原、小土井、佐々倉、妙観房、下波田祥珍、大山、志目遅、丸毛左衛門入道、一松、医光寺、入野、山崎、妙観房、野坂、四郎大夫入道、左近入道、古川并助太郎、子つノ木、番匠大夫入道、敷□、斎藤弾正左衛門尉、檜壇ソへ、河原田、水落、供米田、倉守明神森、大歳前、波田原津刀禰、大中洲、本郷、定覚、大和久、十郎三郎、介次郎、紀藤三、大谷六郎四郎、六郎左衛門尉、大屋形、竹仁新左衛門尉、下佐々倉、久々毛孫七、朝尾入道、飯迫船谷窪垣内、久々毛弥六、西向寺又次郎、兵部房、中嶋森入道、山寺薬師寺、尊道房、窪田源三郎衛門尉、亀千代、長葉山大炊烝、大屋形内窪田、市河原右衛門三郎、西谷六郎三郎、大谷左衛門尉、小□、中原、八道弥九郎、中原小橋、伏谷弥七、寺戸雅楽助、覚道、寺戸、坂上、杤山、右杤、柚木田、篠田原、瀧谷、三丁山、笛大夫屋敷、篠杤、秀連、宇佐井河原、朝倉、七郎次郎、瀧ヶ瀬太郎兵衛尉、上墨阿刀禰、介入道、物三郎、次郎大夫、長尾原、王大夫、山崎家原、西道、佐奈平原、五郎四郎、供村、(寺戸)雅楽助宣武、主計允兼生
833	島根県平田市河下町常光寺蔵	1376004099	永和2年4月下旬	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書(22)	『南北朝遺文・中西国』5-4256	出雲	雲州飯石郡須佐郷波多村本覚寺
834	島根県平田市河下町常光寺蔵	1376005030	永和2年5月30日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書(17)	『南北朝遺文・中西国』5-4256	出雲	雲州飯石郡須佐郷内由留間村、妙厳庵、鰐淵寺、和多坊常住
835	島根県平田市河下町常光寺蔵	1376005099	永和2年5月日	鰐淵寺旧蔵大般若経奥書(21)	『南北朝遺文・中西国』5-4256	出雲	雲州飯石郡波多村本覚寺

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
836	出雲鰐淵寺文書	1376006029	永和2年6月29日	京極高秀遵行状	『南北朝遺文・中西国』5-4274	出雲	若槻弥五郎清頼、出雲国漆治郷内津々志村、若槻七郎左衛門尉、（京極高秀花押）、隠岐入道（山名義幸）
837	石見庵原文書	1376007024	永和2年7月24日	細川頼之感状	『南北朝遺文・中西国』5-4280	石見	石州河本城、武田修理亮
838	長門益田家文書6	1376007025	永和2年7月25日	室町幕府御教書	『南北朝遺文・中西国』5-4281	石見	石州
839	日本大学総合図書館所蔵俣賀文書	1376007908	永和2年閏7月8日	室町幕府御教書	『南北朝遺文・中西国』5-4285	石見	石州益田城、内田俣賀新三郎
840	室町幕府御教書写	1376007908	永和2年閏7月8日	室町幕府御教書	『南北朝遺文・中西国』5-4286	石見	石州、高房、得屋遠江入道
841	長門益田家文書52	1376007929	永和2年閏7月29日	室町幕府御教書	『南北朝遺文・中西国』5-4291	石見	益田孫次郎、石州、江津
842	萩藩閥閲録121-4	1376007929	永和2年閏7月29日	室町幕府御教書写	『南北朝遺文・中西国』5-4292	石見	石州、江津、角井駿河二郎「吉田家人欤」
843	中川四郎氏所蔵文書	1376008009	永和2年8月9日	足利義満袖判下文	『南北朝遺文・中西国』5-4295	出雲	佐波善隼人正実連法師（法名賢義）、出雲国赤穴庄
844	松雲公採集遺編類纂136	1376009006	永和2年9月6日	足利義満袖判下文写	『南北朝遺文・中西国』5-4299	出雲	御梅局、出雲国飯田養賀村、御櫛局（法名貞顕）
845	中川四郎氏所蔵文書	1376009022	永和2年9月22日	室町幕府御教書	『南北朝遺文・中西国』5-4303	出雲	出雲赤穴庄、佐波善隼人正入道賢義、佐々木大膳大夫（高秀）
846	萩藩閥閲録43	1376011006	永和2年11月6日	沙弥道恵荒川詮頼挙状写	『南北朝遺文・中西国』5-4315	石見	君谷出羽四郎左衛門尉祐忠、石見国、沙弥道恵（荒川詮頼）
847	大野系図	1376012026	永和2年12月26日	細川頼之感状写	『南北朝遺文・中西国』5-4325	出雲	大野左衛門次郎
848	周防吉川家文書	1377001099	永和3年1月日	吉川経見軍忠状	『南北朝遺文・中西国』5-4335	石見	吉河駿河守経見
849	長門益田家文書	1377003003	永和3年3月3日	益田祥兼兼見書状	『南北朝遺文・中西国』5-4343	石見	ますたのかう（益田郷）、ちやうしゆ丸、祥兼（益田兼見）、しやうゑんの御房
850	出雲迎接寺文書	1377003010	永和3年3月10日	某寺領安堵状	『南北朝遺文・中西国』5-4344	出雲	平浜別宮観音寺浜屋敷、観音寺（本ハ号阿弥陀寺）
851	萩藩閥閲録121-1	1377003018	（永和3年カ）3月18日	道口書状写	『南北朝遺文・中西国』5-4350	石見	道口〔荒川詮頼カ〕、周布因幡入道（兼氏・士心）（年未詳史料だが南北朝遺文掲載順に従い、しばらく永和3年に掲げる）
852	萩藩閥閲録121-1	1377003020	永和3年3月20日	沙弥道兼〔恵カ〕挙状写	『南北朝遺文・中西国』5-4349	石見	石見国周布因幡入道士心、周布郷、沙弥道兼〔恵カ〕
853	中川四郎氏所蔵文書	1377003023	永和3年3月23日	佐波賢義実連譲状	『南北朝遺文・中西国』5-4351	出雲	（佐波）掃部助常連、出雲国赤穴庄、沙弥賢義（佐波実
854	中川四郎氏所蔵文書	1377003023	永和3年3月23日	佐波賢義実連譲状	『南北朝遺文・中西国』5-4352	石見	（佐波）かもんのすけ常連、石見国佐波郷、沙弥賢義（沙弥実連）
855	周防吉川家文書	1377003099	永和3年3月日	吉川経見軍忠状	『南北朝遺文・中西国』5-4353	石見	吉河駿河守経見
856	出雲千家文書	1377008011	永和3年8月11日	自勝相伝文書預ヶ状	『南北朝遺文・中西国』5-4374	出雲	（出雲）孝宗、満孝、自勝、平岡
857	島根県那賀郡三隅町龍雲寺蔵	1377009099	永和3年9月日	大般若経奥書	『南北朝遺文・中西国』5-4381	石見	石州長野庄市原郷ノ辰玉宮、大檀那沙弥禅秀
858	出雲家原暉男氏所蔵	1377010020	永和3年10月20日	沙弥自勝請文	『南北朝遺文・中西国』5-4386	出雲	大野四郎信実、出雲大野庄東之郷箕内・石塚両村、経円、沙弥自勝、若宮掃部助入道
859	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1377012020	永和3年12月20日	山名師義禁制	『南北朝遺文・中西国』5-4397	出雲	（岩屋寺文書）
860	長門益田家文書巻9	1378002003	永和4年2月3日	益田祥兼兼見譲状	『南北朝遺文・中西国』5-4401	石見	（益田）次郎兼世、いわみの国ますたの庄本郷（石見国益田庄本郷）、いやとミ名（弥富名）、祥兼（益田兼見）
861	長門益田家文書巻9	1378002003	永和4年2月3日	益田祥兼兼見譲状	『南北朝遺文・中西国』5-4402	石見	（益田）次郎兼世、いわみの国なかのゝ庄内いひたの郷たくのゝ別符（石見国長野庄飯田郷宅野別符）、祥兼（益田兼見）
862	長門益田家文書巻52	1378002003	永和4年2月3日	益田祥兼兼見譲状	『南北朝遺文・中西国』5-4403	石見	（益田）孫次郎兼弘、いわみの国ますたの庄（石見国益田庄）内東北両山道、ますたの庄本郷内いちたのむら・いかミ（伊甘）の郷、祥兼（益田兼見）、（益田）いや（弥）

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
863	石見岡本文書	1378012003	永和4年12月3日	仁くれ谷のしんしさく所当のみす注文	『南北朝遺文・中西国』5-4463	石見	仁くれ谷、(石見岡本文書)
864	萩藩閥閲録121-4	1378012013	永和4年12月13日	荒川道恵詮頼安堵状写	『南北朝遺文・中西国』5-4465	石見	石見国大家庄西郷井尻村、高野寺、沙弥(荒川道恵力)、井尻千代松
865	萩藩閥閲録121-4	1378012013	永和4年12月13日	荒川道恵詮頼遵行状写	『南北朝遺文・中西国』5-4466	石見	石見国大家庄西郷内井尻村、井尻千代松、沙弥(荒川道恵力)、治部少輔
866	萩藩閥閲録121-4	1378012015	永和4年12月15日	散位某遵行状写	『南北朝遺文・中西国』5-4467	石見	石見国大家庄内井尻村、井尻千代松、松本弾正忠
867	萩藩閥閲録121-4	1378012018	永和4年12月18日	松本弾正忠打渡状写	『南北朝遺文・中西国』5-4469	石見	石見国大家西郷内井尻村、井尻千代松、(松本)弾正
868	萩藩閥閲録43	1379002003	永和5年2月3日	荒川道恵詮頼安堵状写	『南北朝遺文・中西国』5-4473	石見	君谷(出羽)四郎左衛門尉祐忠、石見国出羽上下郷、沙弥(荒川詮頼)
869	出雲神門寺文書	1379003099	康暦元年3月日	出雲国司庁宣	『南北朝遺文・中西国』5-4487	出雲	岡本保、神門寺
870	出雲安国寺文書	1379003099	永和5年3月日	足利義満禁制	『南北朝遺文・中西国』5-4488	出雲	安国寺
871	島根県大原郡加茂町大	1379004005	康暦元年4月5日	光明寺鐘追銘	『南北朝遺文・中西国』5-4491	出雲	(島根県大原郡加茂町光明寺所蔵につき収録)
872	出雲迎接寺文書	1379004099	康暦元年4月日	足利義満禁制	『南北朝遺文・中西国』5-4498	出雲	宝光寺
873	出雲朝山系図勘記	1379005027	康暦元年5月27日	足利義満袖判下文	『南北朝遺文・中西国』5-4508	出雲	朝山次郎左衛門尉師綱、出雲国三津郷長田東郷
874	隠岐笠置文書	1379006001	康暦元年6月1日	某充行状	『南北朝遺文・中西国』5-4510	隠岐	隠州美多庄、円助
875	隠岐笠置文書	1379006001	康暦元年6月1日	某充行状	『南北朝遺文・中西国』5-4511	隠岐	隠州美多庄、公文円助
876	祇園社記続録10	1379006027	康暦元年6月27日	九条経教御教書案	『南北朝遺文・中西国』5-4517	出雲	出雲国美談・材木両庄
877	隠岐副本億岐久麻呂所	1379007020	康暦元年7月20日	前豊前守源頼清寄進状	『南北朝遺文・中西国』5-4522	隠岐	(隠岐)惣社、前豊前守源頼清
878	永田秘録所収内田家文	1379007026	康暦元年7月26日	大内義弘安堵書下写	『南北朝遺文・中西国』5-4525	石見	内田肥前入道
879	石見俣賀文書	1379007026	康暦元年7月26日	大内義弘安堵書下	『南北朝遺文・中西国』5-4526	石見	内田新三郎
880	出雲岩屋寺文書	1379007099	康暦元年7月日	山名時氏寄進状	『南北朝遺文・中西国』5-4527	出雲	出雲国横田庄下中村内下宮、円通寺殿(山名時義)、(山名時氏花押)、来福寺大夫法師
881	周防吉川家文書	1379008023	康暦元年8月23日	大内氏奉行人連署奉書	『南北朝遺文・中西国』5-4535	石見	石見国市木因幡入道、吉河駿河守(経見)
882	周防吉川家文書	1379008029	康暦元年8月29日	問田直義・曽原弘光連署打渡状	『南北朝遺文・中西国』5-4540	石見	石見国市木因幡入道、吉河駿河守(経見)
883	石見荘厳寺文書	1379009012	康暦元年9月12日	大内氏奉行人連署奉書	『南北朝遺文・中西国』5-4543	石見	石見国大家庄四ヶ村荘厳寺住持持祖、佐木下白地、大家右馬助、山田弾正左衛門尉、波多野蔵人次郎
884	長門益田家文書82	1379010011	康暦元年10月11日	大内氏奉行人連署奉書	『南北朝遺文・中西国』5-4551	石見	波多野五郎義秀、下黒谷内并美濃路、吉田駿河太郎、末盛三郎左衛門入道、三和若狭守
885	諸家文書纂所収三刀屋文書	1379012016	康暦元年12月16日	佐々木高秀書状写	『南北朝遺文・中西国』5-4567	石見	佐々木(高秀)、諏方部(諏訪部)兵衛三郎
886	周防吉川家文書	1379012018	康暦元年12月18日	大内氏奉行人連署奉書	『南北朝遺文・中西国』5-4568	石見	益成孫次郎重義、市木庶子分内麦尾・宇生賀、吉河駿河守(経見)
887	周防吉川家文書	1380002027	康暦2年2月27日	大内氏奉行人連署奉書	『南北朝遺文・中西国』5-4581	石見	石見国市木、益成孫次郎、吉河駿河守(経見)
888	長門益田家文書5	1380004002	康暦2年4月2日	美作権守某挙状	『南北朝遺文・中西国』5-4594	石見	石見国益田越中入道祥兼、美作権守口
889	隠岐副本億岐久麻呂所	1380004002	康暦2年4月2日	前豊前守寄進状	『南北朝遺文・中西国』5-4595	隠岐	(隠岐国)惣社、高田大明神、忠道名、前豊前守、国造
890	周防吉川家文書	1380004028	康暦2年4月28日	大内義弘預ヶ状	『南北朝遺文・中西国』5-4601	石見	吉河駿河守(経見)
891	石見庵原文書	1380004028	康暦2年4月28日	大内義弘判物写	『南北朝遺文・中西国』5-4602	石見	石見国井原左近将監、小笠原右京入道
892	長門益田家文書5	1380005014	康暦2年5月14日	大内義弘書下	『南北朝遺文・中西国』5-4608	石見	益田越中入道祥兼
893	萩藩閥閲録121-1	1380006007	(康暦2年カ)6月7日	大内義弘書状写	『南北朝遺文・中西国』5-4612	石見	三隅(直連)、周布入道
894	萩藩閥閲録121-4	1380006008	康暦2年6月8日	大内満弘安堵状写	『南北朝遺文・中西国』5-4614	石見	越生掃部助
895	萩藩閥閲録121-1	1380006024	(康暦2年)6月24日	大内義弘書状写	『南北朝遺文・中西国』5-4621	石見	三隅(直連)、福屋、周布入道(兼氏・士心)
896	萩藩閥閲録121-1	1380007019	康暦2年7月19日	室町幕府御教書写	『南北朝遺文・中西国』5-4623	石見	石州、周布入道(兼氏・士心)

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
897	朝山系図勘記	1380008003	康暦2年8月3日	出雲国司庁宣写	『南北朝遺文・中西国』5-4625	出雲	出雲国朝山郷内林八幡宮、大介藤原朝臣
898	萩藩閥閲録121-1	1380008010	康暦2年8月10日	美作権守某書下写	『南北朝遺文・中西国』5-4628	石見	石見国周布郷、美作権守、周布因幡入道(兼氏・士心)
899	萩藩閥閲録121-1	1380008015	(康暦2年)8月15日	大内義弘書状写	『南北朝遺文・中西国』5-4633	石見	益田(兼見)、御息(周布兼仲)、周布入道(兼氏・士心)
900	萩藩閥閲録121-1	1380008015	(康暦2年)8月15日	大内義弘書状写	『南北朝遺文・中西国』5-4634	石見	三隅(直連)、周布弾正少弼(兼仲)
901	石見久利文書	1380008022	康暦2年8月22日	美作権守某安堵状	『南北朝遺文・中西国』5-4636	石見	石見国久利赤波、美作権守、久利赤波
902	萩藩閥閲録121-1	1380008027	(康暦2年)8月27日	大内義弘書状写	『南北朝遺文・中西国』5-4637	石見	益田辺、周布入道(兼氏・士心)
903	萩藩閥閲録121-1	1380009002	(康暦2年)9月2日	大内義弘書状写	『南北朝遺文・中西国』5-4638	石見	益田之堺辺、周布入道(兼氏・士心)
904	萩藩閥閲録121-1	1380009012	康暦2年9月12日	大内義弘書状写	『南北朝遺文・中西国』5-4640	石見	石見国周布郷、周布因幡入道(兼氏・士心)
905	萩藩閥閲録121-1	1380009012	(康暦2年)9月12日	大内義弘書状写	『南北朝遺文・中西国』5-4641	石見	周布因幡入道(兼氏・士心)
906	石見安国寺文書	1380009099	康暦2年9月日	石見安国寺雑掌源照申状案	『南北朝遺文・中西国』5-4644	石見	石見国安国寺雑掌源照、金子五郎左衛門入道誓阿、河合南村
907	萩藩閥閲録121-1	1380010008	(康暦2年)10月8日	大内義弘書状写	『南北朝遺文・中西国』5-4646	石見	益田辺、周布入道(兼氏・士心)
908	永田秘録所収内田家文	1380010013	康暦2年10月13日	大内満弘宛行状写	『南北朝遺文・中西国』5-4647	石見	内田肥前入道
909	永田秘録所収内田家文	1380010026	康暦2年10月26日	大内満弘宛行状写	『南北朝遺文・中西国』5-4648	石見	内田肥前三郎
910	萩藩閥閲録121-2	1380012014	(康暦2年)12月14日	平井道助書状写	『南北朝遺文・中西国』5-4653	石見	市原城、益田辺、吉井、周布(兼仲)
911	周防吉川家文書	1380012025	康暦2年12月25日	足利義満袖判御教書	『南北朝遺文・中西国』5-4655	石見	石見国永安別符、吉河駿河入道法秀(経見)
912	周防吉川家文書	1380012027	康暦2年12月27日	足利義満袖判御教書	『南北朝遺文・中西国』5-4657	石見	石見国永安別符、吉河駿河守(経見)
913	萩藩閥閲録121-1	1381002007	康暦3年2月7日	盛澄打渡状写	『南北朝遺文・中西国』5-4675	石見	石見国大家庄西郷内井尻村、盛澄、周布因幡入道(兼氏・士心)
914	出雲安国寺文書	1381002029	康暦3年2月29日	沙弥道項安堵状	『南北朝遺文・中西国』5-4677	出雲	安国寺、佐草社、沙弥道項(京極高詮力)
915	出雲安国寺文書	1381002029	康暦3年2月29日	沙弥道項書下	『南北朝遺文・中西国』5-4684	出雲	安国寺、佐草社、沙弥道項(京極高詮力)
916	萩藩閥閲録121-1	1381003016	(永徳元年)3月16日	大内義弘書状写	『南北朝遺文・中西国』5-4687	石見	福屋、周布入道(兼氏・士心)
917	萩藩閥閲録121-1	1381003017	(永徳元年)3月17日	大内義弘書状写	『南北朝遺文・中西国』5-4688	石見	益田、須布(周布)
918	萩藩閥閲録121-1	1381003021	(康暦3年カ)3月21日	細川頼之書状写	『南北朝遺文・中西国』5-4678	石見	須布(周布)因坊〔幡〕入道(兼氏・士心) (年未詳だが南北朝遺文掲載順に従い、しばらく康暦3年に掲げる)
919	出雲北島家文書	1381004002	永徳元年4月2日	山名義幸書下	『南北朝遺文・中西国』5-4691	出雲	出雲国杵築大社、讃岐守(山名義幸)、国造北嶋(資
920	長門益田家文書巻82	1381006009	(永徳元年カ)6月9日	大内氏奉行人連署書状	『南北朝遺文・中西国』6-5171	石見	益田、七尾、遠田、長野庄安富入道、永安左近将監(年未詳だが、『史料集・益田兼見とその時代』(益田市教育委員会、1994)p155の記述に従い、しばらく永徳元
921	出雲北島家文書	1381006027	永徳元年6月27日	出雲資孝注進状	『南北朝遺文・中西国』5-4708	出雲	国造孝時、国造兼大社神主惣検校散位従五位出雲宿禰資孝
922	摂津水無瀬神宮文書	1381007018	永徳元年7月18日	後円融天皇綸旨写	『南北朝遺文・中西国』5-4713	出雲	出雲国加賀庄并持田村
923	大隈禰寝文書	1381007025	(永徳元年)7月25日	名和慈冬書状	『南北朝遺文・中西国』5-4716	石見	石見、ふくや(福屋)
924	古証文巻7	1381011003	永徳元年11月3日	大内満弘安堵状写	『南北朝遺文・中西国』5-4726	石見	石見国都野郷内加久志村、和田士口〔貞力〕御房
925	萩藩閥閲録121-4	1381011006	永徳元年11月6日	沙弥某渡状写	『南北朝遺文・中西国』5-4728	石見	石見国角井村、須子駿河次郎
926	摂津水無瀬神宮文書	1381011010	永徳元年11月10日	室町幕府御教書案	『南北朝遺文・中西国』5-4729	出雲	出雲国加賀庄并持田村、山名讃岐守(義幸)
927	長門益田家文書5	1382001912	(永徳2年)後1月12日	大内義弘挙状	『南北朝遺文・中西国』5-4736	石見	石見国益田越中入道祥兼(兼見)
928	長門益田家文書5	1382001929	(永徳2年)閏1月29日	森良智書状	『南北朝遺文・中西国』5-4738	石見	益田入道(兼見)
929	諸家文書纂所収三刀屋文書	1382003099	永徳2年3月日	須波部新左衛門入道軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』5-4749	石見	出雲国須波部(諏訪部)新左衛門入道
930	石見安国寺蔵国苑掌鑑	1382005007	永徳2年5月7日	室町幕府御教書写	『南北朝遺文・中西国』5-4751	石見	石見国安国寺
931	山城二尊院文書	1382005026	永徳2年5月26日	室町幕府御教書案	『南北朝遺文・中西国』5-4753	出雲	出雲国淀新庄、中澤三川入道、山名讃岐守(義幸)
932	長門益田家文書5	1382006020	(永徳2年カ)6月20日	大内氏奉行人連署奉書	『南北朝遺文・中西国』5-4756	石見	(益田家文書)
933	出雲安国寺文書	1382009024	永徳2年9月24日	室町幕府御教書	『南北朝遺文・中西国』5-4768	出雲	雲州安国寺

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
934	長門益田家文書5	1382012008	永徳2年12月8日	大内義弘書状	『南北朝遺文・中西国』5-4776	石見	益田越中入道祥兼、石見国
935	長門益田家文書3	1383002015	永徳3年2月15日	足利義満袖判御教書	『南北朝遺文・中西国』6-4783	石見	石見国益田庄本郷、益田郷、東北両山道、弥富名、乙吉土田両村、岡見村、飯田村、伊甘郷、宅野別符、益田越中入道祥兼
936	長門益田家文書53	1383002030	(永徳3年)2月30日	平井道助書状	『南北朝遺文・中西国』6-4784	石見	益田、下野殿
937	長門益田家文書53	1383003004	(永徳3年)3月4日	平井道助書状	『南北朝遺文・中西国』6-4787	石見	益田
938	長門益田家文書5	1383003015	永徳3年3月15日	大内満弘書下	『南北朝遺文・中西国』6-4791	石見	益田越中入道祥兼
939	長門益田家文書76	1383003015	永徳3年3月15日	大内満弘書下写	『南北朝遺文・中西国』6-4792	石見	益田越中入道祥兼、益田又次郎尹兼、利勝亭全田
940	長門益田家文書53	1383004009	(永徳3年)4月9日	森良智書状	『南北朝遺文・中西国』6-4796	石見	下野殿、馬場殿、益田
941	周防吉川家文書	1383004017	永徳3年4月17日	大内氏奉行人連署奉書	『南北朝遺文・中西国』6-4797	石見	吉河駿河守、安光又三郎
942	萩藩閥閲録121-1	1383006001	永徳3年6月1日	周布士心兼氏譲状写	『南北朝遺文・中西国』6-4803	石見	(周布)次郎兼仲〔童名延命丸〕、石見国周布郷、士心(周布兼氏)、「兼仲をちやくしにたてゝ」
943	萩藩閥閲録121-1	1383006003	永徳3年6月3日	周布士心兼氏譲状写	『南北朝遺文・中西国』6-4804	石見	弾正少弼(兼仲)〔童名延命丸〕、石見国長野庄白上郷
944	長門益田家文書9	1383008010	永徳3年8月10日	益田祥兼兼見譲状	『南北朝遺文・中西国』6-4812	石見	(益田)次郎兼世、石見国益田本郷、弥富名、納田郷内岡見村、長野庄内飯田村、虫追河[ ]〔関所〕、祥兼(益田兼見)、長寿丸
945	長門益田家文書73	1383008010	永徳3年8月10日	益田祥兼兼見置文条々	『南北朝遺文・中西国』6-4813	石見	祥兼(益田兼見)、(御神本)兼栄兼高父子、(益田)次郎兼世、石見国益田本郷、納田郷内岡見村〔号三隅〕、弥富名、長野庄内飯田郷、虫追河関所、(益田)孫次郎兼弘、東山道郷、益田本郷内久々毛村、大谷平原加浦、伊甘郷、国符、乙吉土田両村、(益田)弥次郎兼政、北山道郷、益田本郷内得原右近允名、崇観寺、熙春庵、庄厳蔵院、医光寺、山寺、高崎、得原、伊甘郷安国寺〔本寺号福園寺〕、泰林寺、阿忍、圭昌庵、臼口大明神〔号御神本大明神〕、瀧蔵、春日、八幡宮、総社大明神、東山道八幡宮、
946	東京大学史料編纂所所蔵岩屋寺文書	1383008024	永徳3年8月24日	山名時義安堵状	『南北朝遺文・中西国』6-4817	出雲	出雲国横田庄内岩屋寺、故正受院殿(山名師義)、前伊予守(山名時義)
947	出雲千家文書	1383010028	永徳3年10月28日	国造北島資孝起請文	『南北朝遺文・中西国』6-4826	出雲	国造出雲(北島)資孝、直国
948	出雲千家古文書写丙	1384001011	永徳4年1月11日	出雲孝綱去状写	『南北朝遺文・中西国』6-4840	出雲	大庭田尻保、出雲孝綱、持忠、崇訓
949	紀伊米良文書	1384002007	永徳4年2月7日	旦那等譲状	『南北朝遺文・中西国』6-4843	出雲-石見-隠岐	出雲、石見国小石見護摩堂僧宗俊門弟
950	紀伊米良文書	1384002009	永徳4年2月9日	旦那等譲状	『南北朝遺文・中西国』6-4844	出雲-石見-隠岐	出雲、石見国小石見護摩堂僧宗俊門弟
951	肥前河上神社目録	1384002015	元徳2年2月15日	今川了俊書状	『南北朝遺文・中西国』6-4905	石見	石州
952	長門益田家文書	1384003016	永徳4年3月16日	室町幕府奉行人連署奉書	『南北朝遺文・中西国』6-4851	石見	石見国宅野別符、益田、通津左衛門大夫入道、堀伊賀
953	中川四郎氏所蔵文書	1384008003	至徳元年8月3日	足利義満袖判下文	『南北朝遺文・中西国』6-4873	石見	佐波掃部助常連、石見国佐波郷内猪子田河、亡父(佐波)隼人正実連法師〔法名賢喜〕
954	長門益田家文書	1384011013	至徳元年11月13日	益田祥兼兼見譲状	『南北朝遺文・中西国』6-4888	石見	いわミのくにたくのゝ別符(石見国宅野別符)、祥兼(益田兼見)、たけたの右馬のすけ、きやうふのせう兼信、そく女□(いカ)やうつる□(めカ)
955	出雲成相寺文書	1385004027	至徳2年4月27日	室町幕府御教書	『南北朝遺文・中西国』6-4917	出雲	出雲国成相寺、河野駿河守信益、山名讃岐守
956	石見俣賀文書	1385007011	至徳2年7月11日	大内義弘安堵状書下	『南北朝遺文・中西国』6-4934	石見	石見国長野庄俣賀、俣賀新三郎

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
957	萩藩閥閲録121-1	1385007022	至徳2年7月22日	大内弘茂書下写	『南北朝遺文・中西国』6-4935	石見	石見国白上郷、周布因幡入道(兼氏・士心)
958	萩藩閥閲録121-1	1385007022	至徳2年7月22日	大内弘茂書下写	『南北朝遺文・中西国』6-4936	石見	石見国長野庄新白上〔号小坂〕、周布因幡入道(兼氏・士心)
959	萩藩閥閲録121-1	1385007022	至徳2年7月22日	大内弘茂書下写	『南北朝遺文・中西国』6-4937	石見	石見国井尻村、周布因幡入道(兼氏・士心)
960	萩藩閥閲録121-1	1385007022	至徳2年7月22日	大内弘茂書下写	『南北朝遺文・中西国』6-4938	石見	石見国永野(長野)庄白上郷内田村、周布因幡入道(兼氏・士心)
961	萩藩閥閲録121-1	1385007022	至徳2年7月22日	大内弘茂預ヶ状写	『南北朝遺文・中西国』6-4939	石見	石見国永野(長野)庄内新白上〔号小坂〕、田村、周布因幡入道(兼氏・士心)
962	萩藩閥閲録121-1	1385007022	至徳2年7月22日	大内弘茂預ヶ状写	『南北朝遺文・中西国』6-4940	石見	石見国有福村、宇豆郷、佐野別府、周布因幡入道(兼氏・士心)
963	萩藩閥閲録121-1	1385007022	至徳2年7月22日	大内弘茂預ヶ状写	『南北朝遺文・中西国』6-4941	石見	石見国長野庄新白上〔郷小坂〕、周布因幡入道(兼氏・士心)
964	萩藩閥閲録121-1	1385007022	至徳2年7月22日	大内弘茂奉書写	『南北朝遺文・中西国』6-4942	石見	石見国周布郷、周布因幡入道(兼氏・士心)
965	萩藩閥閲録121-1	1385008001	至徳2年8月1日	大内弘茂安堵書下写	『南北朝遺文・中西国』6-4946	石見	石見国来原別府、周布弾正少弼(兼仲)
966	萩藩閥閲録121-1	1385008007	至徳2年8月7日	大内弘茂書下写	『南北朝遺文・中西国』6-4950	石見	石見国周布郷内末元別府、周布因幡入道(兼氏・士
967	萩藩閥閲録121-1	1385008007	至徳2年8月7日	大内弘茂書下写	『南北朝遺文・中西国』6-4951	石見	石見国周布郷内貞松名、周布因幡入道(兼氏・士心)
968	萩藩閥閲録121-1	1385008007	至徳2年8月7日	大内弘茂安堵書下写	『南北朝遺文・中西国』6-4952	石見	石見国阿田・福井・青葛原、周布因幡入道(兼氏・士
969	萩藩閥閲録121-1	1385008007	至徳2年8月7日	大内弘茂安堵書下写	『南北朝遺文・中西国』6-4953	石見	石見国周布郷内松本村、周布因幡入道(兼氏・士心)
970	萩藩閥閲録121-1	1385008007	至徳2年8月7日	大内弘茂安堵書下写	『南北朝遺文・中西国』6-4954	石見	石見国周布郷内安田・福井、荏原、周布因幡入道(兼氏・士心)
971	萩藩閥閲録121-1	1385008007	至徳2年8月7日	大内弘茂預ヶ状写	『南北朝遺文・中西国』6-4955	石見	石見国井上郷内宇野村、周布弾正少弼(兼仲)
972	萩藩閥閲録121-1	1385008009	至徳2年8月9日	大内満弘預ヶ状写	『南北朝遺文・中西国』6-4956	石見	石見国長野庄河上豊田左衛門尉、内田肥前入道
973	島根県仁田郡横田町	1385008010	至徳2年8月10日	馬場八幡宮棟札銘	『南北朝遺文・中西国』6-4957	石見	八幡宮神主藤原朝臣沙弥持栄、惣検校長慶、供僧別当律師湛慶、御代官左衛門尉紀朝臣宗綱、大工田中兵衛尉家次
974	長府毛利家所蔵文書	1385008013	至徳2年8月13日	大内義弘預ヶ状	『南北朝遺文・中西国』6-4959	石見	石見国得屋、得屋入道
975	出雲千家古文書写	1385008025	至徳2年8月25日	足利義満御判御教書写	『南北朝遺文・中西国』6-4961	出雲	出雲国杵築大社国造直国
976	萩藩閥閲録121-1	1385009006	至徳2年9月6日	大内弘茂預ヶ状写	『南北朝遺文・中西国』6-4965	石見	石見国市木郷、周布因幡入道(兼氏・士心)
977	周防吉川家文書	1385010019	至徳2年10月19日	大内弘茂預ヶ状	『南北朝遺文・中西国』6-4975	石見	石見国市木郷、仁万石川、吉川駿河守(経見)
978	周防吉川家文書	1385010019	至徳2年10月19日	右田弘直打渡状	『南北朝遺文・中西国』6-4976	石見	石見国市木郷、仁万石川、吉川駿川守(経見)
979	萩藩閥閲録121-1	1385011026	至徳2年11月26日	足利義満袖判御教書写	『南北朝遺文・中西国』6-4983	石見	石見国周布郷、周布因幡入道士心(兼氏)
980	出雲千家文書	1385012026	至徳2年12月26日	国孝証状	『南北朝遺文・中西国』6-4985	出雲	出雲国大庭田尻保、藤三大夫名、国造孝宗、国孝
981	出雲千家文書	1385012026	至徳2年12月26日	国造直国安堵状	『南北朝遺文・中西国』6-4986	出雲	出雲国大庭田尻保、藤三大夫名、亡父(出雲)孝宗、黒田弥五郎、孝氏、杵築七郎入道持忠、国孝、国造直国
982	石見内田家文書	1386004008	至徳3年4月8日	大内義弘預ヶ状	『南北朝遺文・中西国』6-5000	石見	石見国豊田郷内菅谷中谷、内田肥前入道
983	出雲北島文書	1386009023	至徳3年9月23日	弾正少弼源某寄進状	『南北朝遺文・中西国』6-5034	出雲	杵築社、出雲国稲岡、弾正少弼源朝臣
984	石見内田家文書	1386011003	(至徳3年カ)11月3日	益田祥兼兼見書状写	『南北朝遺文・中西国』6-5038	石見	祥兼(益田兼見)、内田肥前五郎
985	長門出羽家文書	1386012007	至徳3年12月7日	大内義弘挙状	『南北朝遺文・中西国』6-5048	石見	君谷駿河守祐忠、石見国出羽上下
986	萩藩閥閲録121-1	1387005028	至徳4年5月28日	大内義弘挙状写	『南北朝遺文・中西国』6-5066	石見	周布弾正少弼兼仲、石見国来原別符
987	出雲岩屋寺文書	1387006007	至徳4年6月7日	前伊予守寄進状	『南北朝遺文・中西国』6-5075	出雲	出雲国横田庄下中村、岩屋寺、前伊予守(山名時義)
988	萩藩閥閲録121-1	1387011025	嘉慶元年11月25日	足利義満袖判安堵状写	『南北朝遺文・中西国』6-5102	石見	石見国来原別符、高津西方、周布弾正少弼兼仲
989	山城東福寺文書	1388005025	嘉慶2年5月25日	太政官牒	『南北朝遺文・中西国』6-5146	出雲-石見	出雲国法喜・末次、石見国都野郷
990	山城東福寺文書	1388005025	嘉慶2年5月25日	官宣旨	『南北朝遺文・中西国』6-5147	出雲-石見	出雲国法喜・末次、石見国都野郷
991	山城東福寺文書	1388005025	嘉慶2年5月25日	官宣旨	『南北朝遺文・中西国』6-5149	出雲	出雲国、法喜・末次

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
992	山城東福寺文書	1388005025	嘉慶2年5月25日	官宣旨	『南北朝遺文・中西国』6-5150	石見	石見国、都野郷
993	出雲雲樹寺文書	1388009026	嘉慶2年年9月26日	山名氏之寄進状案	『南北朝遺文・中西国』6-5164	出雲	出雲国宇賀庄雲樹寺、右馬守源(山名)氏之
994	長門益田家文書巻83	1388011019	嘉慶2年11月19日	大内氏奉行人連署奉書	『南北朝遺文・中西国』6-5170	石見	遠田城、永安左近将監
995	長門出羽家文書	1388012099	嘉慶2年12月日	足利義満袖判安堵御教書	『南北朝遺文・中西国』6-5181	石見	石見国出羽上下郷、君谷駿河守祐忠
996	田中繁三氏所蔵文書	1389002007	嘉慶3年2月7日	室町幕府御教書	『南北朝遺文・中西国』6-5188	石見	石見国都野郷
997	出雲岩屋寺文書	1389007099	康応元年7月日	山名満幸寄進状	『南北朝遺文・中西国』6-5212	出雲	出雲国横田庄下中村内下宮、円通寺(山名持義)、山名満幸、来福寺大夫法印
998	萩藩閥閲録121-1	1389008013	康応元年8月13日	大内義弘挙状写	『南北朝遺文・中西国』6-5213	石見	石見国周布弾正少弼兼仲
999	萩藩閥閲録121-1	1389008013	康応元年8月13日	大内義弘書下写	『南北朝遺文・中西国』6-5214	石見	周布弾正少弼(兼仲)
1000	萩藩閥閲録121-1	1389010005	康応元年10月5日	大内義弘挙状写	『南北朝遺文・中西国』6-5223	石見	石見国周布弾正少弼兼仲、和田原井須々井村
1001	萩藩閥閲録121-1	1389011002	康応元年11月2日	室町幕府御教書写	『南北朝遺文・中西国』6-5227	石見	石見国周布郷、周布弾正少弼(兼仲)
1002	萩藩閥閲録121-1	1389011003	康応元年11月3日	大内義弘遵行状写	『南北朝遺文・中西国』6-5228	石見	石見国周布郷、周布弾正少弼(兼仲)
1003	萩藩閥閲録121-1	1389011019	康応元年11月19日	足利義満袖判御教書写	『南北朝遺文・中西国』6-5233	石見	石見国白上庄新本、周布弾正少弼兼仲
1004	萩藩閥閲録121-1	1389011019	康応元年11月19日	足利義満袖判御教書写	『南北朝遺文・中西国』6-5234	石見	石見国周布郷、和田原井須々井村、周布弾正少弼兼
1005	出雲北島文書	1389011020	康応元年11月20日	山名満幸願文	『南北朝遺文・中西国』6-5235	出雲	出雲国杵築大明神、播磨守従五位下源(山名)満幸
1006	周防吉川家文書	1389099099	嘉慶3年月日	吉川しんてん譲状	『南北朝遺文・中西国』6-5243	石見	いわミのくになかやすのへんふ(石見国永安別符)、いしいたに(石井谷カ)、うはりやうかい(伯母カ良海)、かいのゝこせ(甲斐野御前)、きんかハ(吉川)のしんてん
1007	出雲千家文書	1390002005	明徳元年2月5日	後小松天皇綸旨写	『南北朝遺文・中西国』6-5245	出雲	出雲国十二郷、浦浜市津大社宮、柳原宮
1008	石見岡本文書	1390002025	康応2年2月25日	某袖判給分預ヶ状写	『南北朝遺文・中西国』6-5247	石見	すきやま、小石見やまとう
1009	隠岐億伎家文書	1390004002	康応2年4月2日	前豊前守某寄進状案	『南北朝遺文・中西国』6-5262	隠岐	高田大明神、忠道名、前豊前守、国造
1010	石見庵原文書	1390004010	明徳元年4月10日	大内義弘遵行状写	『南北朝遺文・中西国』6-5263	石見	石見国河合郷、吉永郷、右田伊豆守(弘直)
1011	広島県東広島市志和町志和堀	1390004012	康応2年4月12日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石見州安須那庄正法庵、無照光公禅師、祖珊
1012	広島県東広島市志和町	1390004015	康応2年4月結夏日	大宮神社蔵大方広仏華厳	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石見国内安須那庄正法菴、無照光公禅師、沙門祖珊
1013	広島県東広島市志和町志和堀	1390004017	康応2年4月17日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石見国安須那庄内正法庵、無照光公禅師、祖珊
1014	広島県東広島市志和町志和堀	1390004019	康応2年4月19日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石見国安須那庄内正法菴、無照光公禅師、比丘祖珊
1015	広島県東広島市志和町志和堀	1390004021	康応2年4月21日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石見国安須那庄内正法菴、無照光公禅師、沙門祖珊
1016	広島県東広島市志和町志和堀	1390004025	康応2年4月25日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石見国安須那庄戸河内村正法禅菴、無照光公禅師、比丘祖珊
1017	広島県東広島市志和町志和堀	1390004027	康応2年4月27日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石見国安須那庄内正法庵、無照光公禅師、比丘祖珊
1018	広島県東広島市志和町志和堀	1390004028	康応2年4月28日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石見国安須那庄戸河内村正法庵、無照光公禅師、沙門祖珊
1019	広島県東広島市志和町志和堀	1390004030	康応2年4月30日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石見国安須那庄戸河内村正法庵、無照光公禅師、比丘祖珊
1020	広島県東広島市志和町志和堀	1390005002	康応2年5月2日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石見国安須那庄戸河内村正法菴、無照光公禅師、祖珊
1021	広島県東広島市志和町志和堀	1390005004	康応2年5月4日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石見国安須那庄戸河内村正法菴、無照光公禅師、祖珊

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
1022	広島県東広島市志和町志和堀	1390005006	康応2年5月6日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石見州安須那庄於正法東軒宇、無照光公禅師、祖珊
1023	広島県東広島市志和町志和堀	1390005011	康応2年5月11日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石見国安須那庄於正法禅院、無照光公庵主、沙門祖珊
1024	広島県東広島市志和町志和堀	1390005016	康応2年5月16日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那戸河内村於正法東軒、無照光公菴主、比丘祖珊
1025	広島県東広島市志和町志和堀	1390005018	康応2年5月18日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那戸河内村於正法東軒、無照光公庵主、祖珊
1026	広島県東広島市志和町志和堀	1390005020	康応2年5月20日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法東軒、無照光公菴主、祖珊
1027	広島県東広島市志和町志和堀	1390005020	康応2年5月23日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法東軒、無照光菴主、祖珊
1028	広島県東広島市志和町志和堀	1390005028	康応2年5月28日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法菴東軒、無照光公菴主、祖珊
1029	広島県東広島市志和町志和堀	1390005099	康応2年5月上旬	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石見国安須那庄戸河内村於正法客欄、無照光公禅師、祖珊
1030	広島県東広島市志和町志和堀	1390005099	康応2年5月中旬	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石見国安須那庄於正法東軒、無照光公庵主、祖珊
1031	広島県東広島市志和町志和堀	1390006003	康応2年6月3日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法東軒、無照光庵主、祖珊
1032	広島県東広島市志和町志和堀	1390006006	康応2年6月6日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法東軒、無照光庵頭、祖珊
1033	広島県東広島市志和町志和堀	1390006006	康応2年6月6日	大宮神社所蔵摩訶般若波羅密経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5274	出雲	(雲洲比丘)提智、原文の年号は「康応瀧集」とあり、ひとまず康暦年間最末年に掲げる。
1034	広島県東広島市志和町志和堀	1390006009	康応2年6月9日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法東軒、無照光菴頭、祖珊
1035	広島県東広島市志和町志和堀	1390006009	康応2年6月9日	大宮神社所蔵摩訶般若波羅密経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5274	出雲	雲洲比丘提智、原文の年号は「康応瀧集」とあり、ひとまず康暦年間最末年に掲げる。
1036	広島県東広島市志和町志和堀	1390006011	康応2年6月11日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法寺東軒、無照光庵頭、祖珊
1037	広島県東広島市志和町志和堀	1390006014	康応2年6月14日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法寺東軒、光公菴頭、祖珊
1038	広島県東広島市志和町志和堀	1390006017	明徳元年6月17日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄於正法東軒、無照光公菴頭、祖珊
1039	広島県東広島市志和町志和堀	1390006026	明徳元年6月26日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄於正法東軒、無照光菴頭、祖珊
1040	広島県東広島市志和町志和堀	1390006029	明徳元年6月29日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄於正法東軒、無照光菴頭、祖珊
1041	広島県東広島市志和町志和堀	1390007003	明徳元年7月3日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法東軒、無照光庵主、祖珊
1042	広島県東広島市志和町志和堀	1390007007	明徳元年7月7日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法東軒、無照光公庵主、祖珊
1043	広島県東広島市志和町志和堀	1390007010	明徳元年7月10日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法東軒、無照禅師、祖珊

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
1044	広島県東広島市志和町志和堀	1390007018	明徳元年7月18日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法禅院、光公菴主、祖珊
1045	広島県東広島市志和町志和堀	1390007022	明徳元年7月22日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄於正法東軒、光公菴主、祖珊
1046	広島県東広島市志和町志和堀	1390007025	明徳元年7月25日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄於正法東軒、無照光公菴頭、祖珊
1047	広島県東広島市志和町志和堀	1390007029	明徳元年7月29日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄於正法東軒、光菴主、祖珊
1048	広島県東広島市志和町志和堀	1390007030	明徳元年7月30日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄於正法東軒、無照光庵主、祖珊
1049	広島県東広島市志和町志和堀	1390008006	明徳元年8月6日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄於正法東軒、無照光菴頭、祖珊
1050	長門出羽家文書	1390008021	明徳元年8月21日	大内氏奉行人連署奉書	『南北朝遺文・中西国』6-5288	石見	出羽上下、君谷駿河守(祐忠)、高橋、君谷孫次郎(祐直)、右田伊豆守(弘直)
1051	広島県東広島市志和町志和堀	1390008025	明徳元年8月25日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法東軒、無照光菴主、祖珊
1052	広島県東広島市志和町志和堀	1390008099	明徳元年7月下澣日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄、無照光公菴頭禅師、比丘祖珊
1053	広島県東広島市志和町志和堀	1390009004	明徳元年9月4日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄於正法東軒、無照光菴主、祖珊
1054	広島県東広島市志和町志和堀	1390009021	明徳元年9月21日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄於正法東軒、無照光菴主、祖珊
1055	広島県東広島市志和町志和堀	1390009025	明徳元年9月25日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法東軒、無照光庵主、祖珊
1056	広島県東広島市志和町志和堀	1390009030	明徳元年9月30日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法東軒、光公菴頭、祖珊
1057	広島県東広島市志和町志和堀	1390010002	明徳元年10月2日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法東軒、無照光菴主、祖珊
1058	広島県東広島市志和町志和堀	1390010003	明徳元年10月3日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法東軒、無照光公菴主、祖珊
1059	広島県東広島市志和町志和堀	1390010016	明徳元年10月16日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法東軒、無照光菴主、祖珊
1060	長門出羽家文書	1390010017	明徳元年10月17日	大内氏奉行人連署奉書	『南北朝遺文・中西国』6-5305	石見	出羽上下、君谷駿河次郎(祐直)、右田伊豆守(弘直)
1061	広島県東広島市志和町志和堀	1390010020	明徳元年10月20日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法庵東軒、光庵主、祖珊
1062	広島県東広島市志和町志和堀	1390010027	明徳元年10月27日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法庵東軒、無照光庵頭、祖珊
1063	広島県東広島市志和町志和堀	1390011002	明徳元年11月2日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法東軒、無照光庵主、祖珊
1064	長府毛利家所蔵文書	1390011002	明徳元年11月2日	足利義満袖判御教書	『南北朝遺文・中西国』6-5311	石見	石見国大家庄東郷、佐記上下白地両村内[借家形鋳物迫大窪風破恵権守屋石井迫越多和]名(ママ)、井田上村、大家太郎左衛門尉公兼
1065	広島県東広島市志和町志和堀	1390011006	明徳元年11月6日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄於正法禅菴、無照光公菴頭禅師、祖珊

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
1066	広島県東広島市志和町志和堀	1390011009	明徳元年11月9日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄於正法禅院、無照光公禅師、沙門祖珊
1067	広島県東広島市志和町志和堀	1390011018	明徳元11月18日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法東軒、持光禅人、沙門祖珊
1068	広島県東広島市志和町志和堀	1390012001	明徳元年12月1日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄於正法東軒、無照光菴頭、祖珊
1069	広島県東広島市志和町志和堀	1390012013	明徳元年12月13日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄正法禅菴、祖珊、無照光公菴頭
1070	広島県東広島市志和町志和堀	1390012025	明徳元年12月25日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸川内村於正法東軒、持光禅人、小比丘祖珊
1071	萩藩閥閲録121-4	1390012029	明徳元年12月29日	足利義満袖判御教書写	『南北朝遺文・中西国』6-5326	石見	石見国鳥居郷内鳥越村・仁万郷内八田村、鳥越左京亮兼家
1072	広島県東広島市志和町志和堀	1391001028	明徳2年1月28日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸川内村於正法菴、無照光公庵頭禅師、比丘祖珊
1073	広島県東広島市志和町志和堀	1391002006	明徳2年2月6日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸川内村於正法菴、無照光公禅師、沙門祖珊
1074	長門益田家文書巻5	1391002025	(明徳2年カ)2月25日	右田弘直書状	『南北朝遺文・中西国』6-4977	石見	益田越中入道、益田庄内弥富上下村、永安、永安太郎(年未詳だが、『史料集・益田兼見とその時代』(益田市教育委員会、1994)p187の記述に基づき、ひとまず明徳2年に掲げる。
1075	広島県東広島市志和町志和堀	1391002025	明徳2年2月25日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄於正法庵、無照光公菴主禅師、比丘祖珊
1076	広島県東広島市志和町志和堀	1391002028	明徳2年2月28日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法庵、無照光公菴頭禅師、小比丘祖珊
1077	広島県東広島市志和町志和堀	1391003002	明徳2年3月2日	大宮神社蔵大方広仏華厳経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5264	石見	石州安須那庄戸河内村於正法衆寮東軒、無照光菴頭、沙門祖珊
1078	国代考証	1391004010	明徳2年4月10日	富田義時寄進状写	『南北朝遺文・中西国』6-5342	隠岐	国分寺、四王寺、原田郷、(富田)前駿河守義時
1079	石見庵原文書	1391004010	明徳2年4月10日	大内義弘書下写	『南北朝遺文・中西国』6-5343	石見	石見国河合郷、吉永郷、小笠原下総守長弘、右田伊豆守(弘直)
1080	出雲雲樹寺文書	1391005027	明徳2年5月27日	某寄進状	『南北朝遺文・中西国』6-5348	出雲	口〔雲カ〕樹寺
1081	長門益田家文書巻76	1391005028	(明徳2年カ)5月28日	益田祥兼兼見書状	『南北朝遺文・中西国』6-5351	石見	安国寺、黄梅院、桂昌院、高津、祥兼(益田兼見)、益田孫二郎 (年未詳だが南北朝遺文の掲載順に従い、しばらく明徳2年に掲げる)
1082	石見安国寺所蔵国苑掌鑑	1391006001	明徳2年6月1日	益田祥兼兼見住持職定書写	『南北朝遺文・中西国』6-5350	石見	福園安国禅寺、石門長老、曹渓菴門、沙弥祥兼(益田兼見)
1083	出雲千家文書	1391008003	明徳2年8月3日	後小松天皇綸旨	『南北朝遺文・中西国』6-5366	出雲	出雲国十二郷
1084	長門出羽家文書	1391008021	明徳元年8月21日	大内義弘書下	『南北朝遺文・中西国』6-5287	石見	君谷(出羽)孫次郎祐直、石見国出羽上下郷、右田伊豆守(弘直)
1085	極楽寺文書	1391009028	明徳2年9月28日	西大寺末寺帳	『南北朝遺文・中西国』6-5375	石見	三角、正法寺
1086	出雲多久和文書	1391011015	明徳2年11月15日	竹中貞昌譲状	『南北朝遺文・中西国』6-5379	出雲	出雲国島根郡佐陀庄、屋形様(京極高詮)、多久和五郎左衛門、竹たい、江すミみなミ衛門、こ浦次郎、竹中越中守貞昌
1087	備後古志文書	1391012026	明徳2年12月26日	足利義満御判御教書	『南北朝遺文・中西国』6-5384	出雲	佐々木古志佐渡守(義綱)
1088	出雲三木家文書	1391012026	明徳2年12月26日	足利義満御判御教書写	『南北朝遺文・中西国』6-5385	出雲	三木太郎兵衛

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
1089	諸家文書纂所収三刀屋文書	1392001010	明徳3年1月10日	足利義満御判御教書写	『南北朝遺文・中西国』6-5391	出雲	須〔和脱力〕部一族中
1090	出雲千家古文書写	1392001023	明徳3年1月23日	日御崎神宮連署起請文写	『南北朝遺文・中西国』6-5394	出雲	たいおくはう殿、きつき大明神、みさき十らせち
1091	出雲千家文書	1392002021	明徳3年2月21日	向秀孝譲状	『南北朝遺文・中西国』6-5404	出雲	出雲国大庭之保、孝時国造、向孫二郎秀孝、慶雄
1092	諸家文書纂所収三刀屋文書	1392002022	(明徳3年カ)2月22日	京極高詮書状写	『南北朝遺文・中西国』6-5405	出雲	(京極)高詮、三刀屋左京入道 (年未詳だが、明徳の乱(明徳2年12月)に係る資料の可能性があるので、しばらく明徳3年に掲げる)
1093	出雲鰐淵寺文書	1392002024	明徳3年2月24日	山名義幸安堵状	『南北朝遺文・中西国』6-5408	出雲	出雲国出東郡漆治郷内津々志村、隠岐守(山名義幸)、若槻孫兵衛尉
1094	出雲春日文書	1392003002	明徳3年3月2日	神西性通譲状	『南北朝遺文・中西国』6-5410	出雲	出雲国そのやまのしやう(園山庄)、神西のそうりやうしき(惣領職)、(神西)性通、六郎清通
1095	長門佐々木寅介文書	1392003002	明徳3年3月2日	足利義満御判御教書写	『南北朝遺文・中西国』6-5411	出雲-隠岐	佐々木治部少輔高詮、出雲国、隠岐
1096	長門佐々木文書	1392004023	明徳3年4月23日	室町幕府御教書	『南北朝遺文・中西国』6-5420	出雲	佐々木治部少輔高詮
1097	出雲北島文書	1392006008	明徳3年6月8日	京極高詮寄進状	『南北朝遺文・中西国』6-5430	出雲	出東郡千家・北嶋、杵築太〔大〕社、治部少輔(京極高
1098	国立国会図書館所蔵佐々木文書	1392007005	明徳3年7月5日	京極高詮所領充行状	『南北朝遺文・中西国』6-5434	出雲	大原郡内近松庄、(京極)高詮、六郎左衛門尉(尼子持久カ)、能仁寺殿
1099	肥後佐方文書	1392007011	明徳3年7月11日	京極高詮安堵状	『南北朝遺文・中西国』6-5435	出雲	飯石郡多禰郷内戸野賀、(京極高詮花押)、佐方九郎左衛門尉
1100	諸家文書纂所収三刀屋文書	1392007029	明徳3年7月29日	京極高詮安堵書下写	『南北朝遺文・中西国』6-5439	出雲	飯石郡三刀屋郷、(京極高詮花押)、三刀屋菊松(詮扶)
1101	出雲日御碕神社文書	1392008017	明徳3年8月17日	前信濃守貞季立券状	『南北朝遺文・中西国』6-5446	出雲	御崎、粟津村、前信濃守貞季、見けう(日置直政)
1102	出雲北島文書	1392008021	明徳3年8月21日	京極高詮安堵状	『南北朝遺文・中西国』6-5448	出雲	杵築社、(京極高詮花押)、杵築国造(資孝)
1103	出雲千家文書	1392008027	明徳3年8月27日	京極高詮書下	『南北朝遺文・中西国』6-5451	出雲	杵築大社三月会、(京極高詮花押)、隠岐守
1104	出雲平岡家文書	1392010008	明徳3年10月8日	隠岐守某施行状	『南北朝遺文・中西国』6-5467	出雲	杵築大社権検校職、大庭田尻保、口〔揖〕屋庄、崎田村、平岡藤太郎、隠岐守、多賀弾正右衛門入道
1105	出雲出雲大社文書	1392010028	明徳3年10月28日	京極高詮書下	『南北朝遺文・中西国』6-5473	出雲	杵築社内佐木浦(鷺浦)、(京極高詮花押)、杵築国造(資孝)
1106	出雲鰐淵寺文書	1392010028	明徳3年10月28日	阿闍梨慶應売渡状	『南北朝遺文・中西国』6-5474	出雲	鰐淵寺南院桜本坊、阿闍梨慶應、川内公観鎮
1107	出雲北島文書	1392010907	明徳3年壬10月7日	京極高詮安堵書下	『南北朝遺文・中西国』6-5476	出雲	杵築社、佐木浦(鷺浦)、(京極高詮花押)、杵築国造(資孝)
1108	出雲北島文書	1392010909	明徳3年後10月9日	玄紹打渡状	『南北朝遺文・中西国』6-5477	出雲	杵築社、佐木浦(鷺浦)、玄紹、北嶋
1109	出雲北島文書	1392010913	(明徳3年)壬10月13日	沙弥某書状	『南北朝遺文・中西国』6-5479	出雲	佐木浦(鷺浦)、沙弥口寿、北嶋(資孝)
1110	出雲鰐淵寺文書	1392010916	明徳3年壬10月16日	京極高詮安堵書下	『南北朝遺文・中西国』6-5480	出雲	鰐淵寺、高浜郷、遥勘郷、杵築内経所経田、(京極高詮花押)
1111	長門益田家文書	1392011013	明徳3年11月13日	蔵人中御門宣俊奉口宣案	『南北朝遺文・中西国』6-5486	石見	藤原兼顕(兼世)
1112	山城九条家文書	1392011026	明徳3年11月26日	西堂聖潔請文	『南北朝遺文・中西国』6-5493	出雲	東福寺領出雲国法喜庄、奈子左京亮、西堂聖潔
1113	諸家文書纂所収三刀屋文書	1393001024	明徳4年1月24日	足利義満袖判安堵状写	『南北朝遺文・中西国』6-5506	出雲	出雲国三部〔刀〕屋郷、三刀屋菊松丸(詮扶)
1114	隠岐村尾国人蔵	1393001030	明徳4年1月30日	源左衛門尉満重寄進状	『南北朝遺文・中西国』6-5514	隠岐	宇須賀大明神、源左衛門尉満重
1115	出雲日御碕神社文書	1393002005	明徳4年2月5日	某禁制	『南北朝遺文・中西国』6-5516	出雲	(日御崎神社)
1116	諸家文書纂所収三刀屋文書	1393003002	(明徳4年)3月2日	京極高詮書状写	『南北朝遺文・中西国』6-5521	出雲	三刀屋、(京極)高詮、三刀屋菊松(諏訪部詮扶)

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
1117	諸家文書纂所収三刀屋文書	1393003020	明徳4年3月20日	京極高詮書下	『南北朝遺文・中西国』6-5525	出雲	下熊谷、逸見弥六、（京極）高詮、三刀屋菊松（諏訪部詮扶）
1118	諸家文書纂所収三刀屋文書	1393003021	明徳4年3月21日	須和部菊松丸軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』6-5526	出雲	須和部菊松丸（諏方部詮扶）、山名播州（満幸）、塩冶遠江入道（師高カ）、三刀屋城、古志高、（京極高詮花
1119	諸家文書纂所収三刀屋文書	1393003021	明徳4年3月21日	須方部扶久軍忠状写	『南北朝遺文・中西国』6-5527	出雲	須方部雅楽助扶久、山名播州（満幸）、塩冶遠江入道（師高カ）、三刀屋城、（京極高詮判）
1120	肥後佐方文書	1393003021	明徳4年3月21日	須和部信扶軍忠状	『南北朝遺文・中西国』6-5528	出雲	須和部勘解由左衛門尉信扶、山名播州（満幸）、塩冶遠江入道（師高カ）、三刀屋城、（京極高詮花押）
1121	出雲春日文書	1393006006	明徳4年6月6日	京極高秀書下	『南北朝遺文・中西国』6-5536	出雲	神門郡朝山郷、蒔原左京亮、蒔原、（京極高秀花押影）、神西三川六郎
1122	広島県東広島市志和町志和堀	1393007007	明徳4年7月7日	大宮神社所蔵摩訶般若波羅密経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5274	出雲	（雲洲比丘）提智、原文の年号は「明徳瀧集」とあり、ひとまず明徳年間最末年に掲げる。
1123	広島県東広島市志和町志和堀	1393007007	明徳4年7月7日	大宮神社所蔵摩訶般若波羅密経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5274	出雲	禅竜寺、（雲洲比丘）提智、原文の年号は「明徳瀧集」とあり、ひとまず明徳年間最末年に掲げる。
1124	広島県東広島市志和町志和堀	1393007012	明徳4年7月12日	大宮神社所蔵摩訶般若波羅密経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5274	出雲	禅竜寺、（雲洲比丘）提智、原文の年号は「明徳瀧集」とあり、ひとまず明徳年間最末年に掲げる。
1125	広島県東広島市志和町志和堀	1393007019	明徳4年7月19日	大宮神社所蔵摩訶般若波羅密経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5274	出雲	禅竜寺、（雲洲比丘）提智、原文の年号は「明徳瀧集」とあり、ひとまず明徳年間最末年に掲げる。
1126	千家古証文写	1393008006	明徳4年8月6日	京極高詮寄進状写	『南北朝遺文・中西国』6-5547	出雲	杵築社、竹黒孫三郎孝綱、黒田浦、治部少輔（京極高詮）、杵築国造（北島資孝）
1127	隠岐村尾国人蔵	1393008018	明徳4年8月18日	源左衛門尉満重寄進状	『南北朝遺文・中西国』6-5550	隠岐	宇須賀宮、岩崎里、源源左衛門満重
1128	出雲千家文書	1393008098	□〔明カ〕徳4年8月□8日	佐々木高詮寄進状	『南北朝遺文・中西国』6-5554	出雲	杵築社、竹黒孫三郎孝綱、黒田、治部□□〔少輔カ〕（佐々木高詮）、□□〔杵築カ〕国造（北島資孝）
1129	出雲岩屋寺文書	1393012011	明徳4年12月11日	藤原親清奉書	『南北朝遺文・中西国』6-5574	出雲	出雲国横田庄岩屋寺、山本、藤原親清
1130	長門益田家文書巻11	1393012027	明徳4年12月27日	大内義弘書下	『南北朝遺文・中西国』6-5579	石見	石見国益田庄、益田次郎（兼世）
1131	長門益田家文書巻11	1393012027	明徳4年12月27日	大内氏奉行人連署奉書	『南北朝遺文・中西国』6-5580	石見	益田、右田伊豆守（弘直）
1132	益田家文書巻86	1393012027	明徳4年12月27日	大内氏奉行人連署奉書写	『南北朝遺文・中西国』6-5581	石見	益田、益田城衆
1133	石見岡本文書	1394001022	明徳5年1月22日	行光谷水九郎三郎名渡状	『南北朝遺文・中西国』6-5585	石見	谷水山九郎三郎名、山頭三郎五郎、行光
1134	長門益田家文書巻11	1394001022	明徳5年1月22日	右田弘直打渡状	『南北朝遺文・中西国』6-5586	石見	石見国益田、伊豆守（右田弘直）、益田次郎（兼家）（益田次郎の人物比定は大日本古文書益田家文書に拠っ
1135	長門益田家文書巻11	1394003028	明徳5年3月28日	大内氏奉行人連署奉書	『南北朝遺文・中西国』6-5594	石見	益田次郎（兼家）、益田庄内弥富名上下村、永安太郎、益田方、右田伊豆守（弘直）（益田次郎の人物比定は大日本古文書益田家文書に拠った）
1136	長門益田家文書巻11	1394003028	明徳5年3月28日	大内氏奉行人連署奉書	『南北朝遺文・中西国』6-5595	石見	益田次郎（兼家）、益田庄内大草村、右田伊豆守（弘直）（益田次郎の人物比定は大日本古文書益田家文書に拠った）
1137	広島県東広島市志和町志和堀	1394006016	明徳5年6月16日	大宮神社所蔵摩訶般若波羅密経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5274	出雲	（雲洲比丘）提智、原文の年号は「明徳瀧集」とあり、ひとまず明徳年間最末年に掲げる。
1138	広島県東広島市志和町志和堀	1394006019	明徳5年6月19日	大宮神社所蔵摩訶般若波羅密経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5274	出雲	禅竜寺、（雲洲比丘）提智、原文の年号は「明徳瀧集」とあり、ひとまず明徳年間最末年に掲げる。
1139	広島県東広島市志和町志和堀	1394006022	明徳5年6月22日	大宮神社所蔵摩訶般若波羅密経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5274	出雲	智心山、原文の年号は「明徳瀧集」とあり、ひとまず明徳年間最末年に掲げる。
1140	広島県東広島市志和町志和堀	1394008026	明徳5年8月26日	大宮神社所蔵摩訶般若波羅密経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5274	出雲	（雲洲比丘）提智、原文の年号は「明徳瀧集」とあり、ひとまず明徳年間最末年に掲げる。

No.	史料群名	西暦年月日	和暦年月日	史料名	掲載箇所	国名	備考
1141	広島県東広島市志和町志和堀	1394909099	明徳5年月日	大宮神社所蔵摩訶般若波羅密経奥書	『南北朝遺文・中西国』6-5274	出雲	(雲洲比丘)提智、原文の年月日標記は「明徳瀧集瀧華日」とあり、ひとまず康暦年間最末年に掲げる。

平成27年12月25日　公開

島根県古代文化センター